

富山湾沿岸海岸保全基本計画

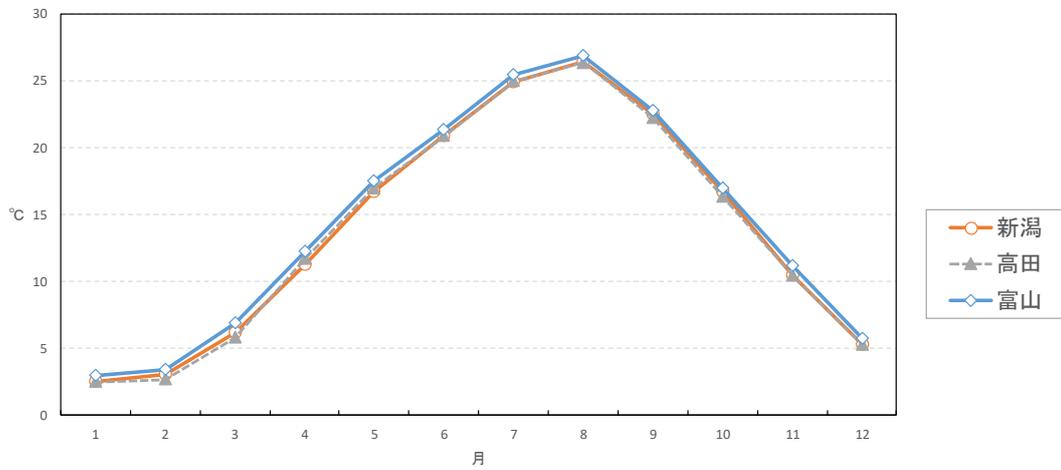
— (新潟県エリア) 資料編 —



新 潟 県

平成 15 年 3 月
令和 8 年 〇 月 (一部変更)

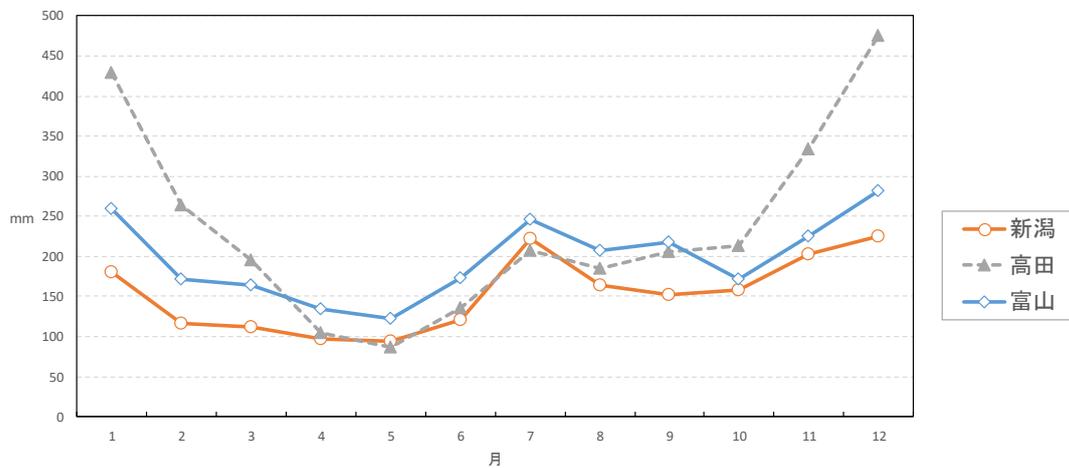
													(単位:℃)
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
新潟	2.5	3.1	6.2	11.3	16.7	20.9	24.9	26.5	22.5	16.7	10.5	5.3	13.9
高田	2.5	2.7	5.8	11.7	17	20.9	25	26.4	22.3	16.4	10.5	5.3	13.9
富山	3	3.4	6.9	12.3	17.5	21.4	25.5	26.9	22.8	17	11.2	5.7	14.5



図－ 1 新潟・高田・富山の月別平均気温(1991～2020年の30年平均値)

(資料：気象庁HP)

													(単位:mm)
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
新潟	180.9	115.8	112	97.2	94.4	121.1	222.3	163.4	151.9	157.7	203.5	225.9	1845.9
高田	429.6	263.3	194.7	105.3	87	136.5	206.8	184.5	205.8	213.9	334.2	475.5	2837.1
富山	259	171.7	164.6	134.5	122.8	172.6	245.6	207	218.1	171.9	224.8	281.6	2374.2



図－ 2 新潟・高田・富山の月別平均降水量(1991～2020年の30年平均値)

(資料：気象庁HP)

													(単位:日)
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
新潟	26.8	23.5	15.8	2.3	0	0	0	0	0	0	2.7	19.5	90.5
高田	25.2	21.1	13.7	1.8	0	0	0	0	0	0	1.6	16.6	81.3
富山	23.4	19.4	12.1	1.8	0	0	0	0	0	0	0.6	13.1	71.8

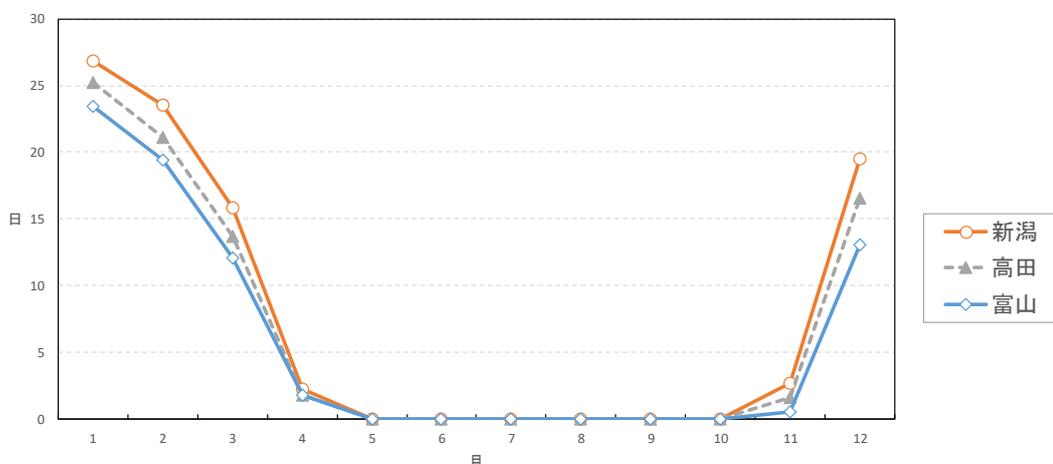


図-3 新潟・高田・富山の月別降雪日数(1991~2020年の30年平均値)

(資料: 気象庁 HP)

表-1 姫川港における風向風速別発生頻度

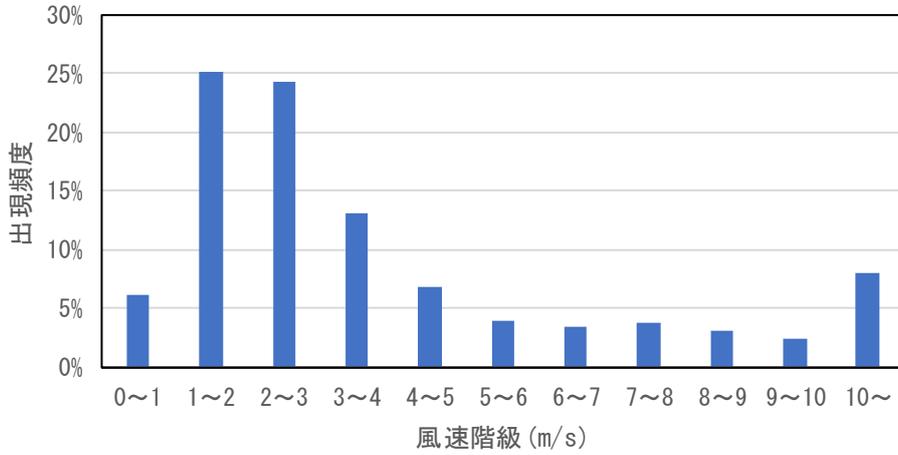
年	風速階級(m/s)											計
	0~1	1~2	2~3	3~4	4~5	5~6	6~7	7~8	8~9	9~10	10~	
2022年	521	2085	1911	1035	507	311	271	337	224	198	612	8012
2023年	477	1998	2007	1073	568	326	262	244	248	184	629	8016
2024年	5	36	63	41	25	15	12	21	15	15	55	303
合計	1003	4119	3981	2149	1100	652	545	602	487	397	1296	16331
頻度	6%	25%	24%	13%	7%	4%	3%	4%	3%	2%	8%	

年	風向(全データ)																計
	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	
2022年	342	529	586	192	305	1374	828	561	380	275	345	664	693	404	283	251	8012
2023年	316	495	446	189	285	1411	881	577	360	363	404	544	704	444	323	274	8016
2024年	8	1	1	2	13	70	23	11	11	23	46	35	16	16	13	14	303
合計	666	1025	1033	383	603	2855	1732	1149	751	661	795	1243	1413	864	619	539	16331
頻度	4%	6%	6%	2%	4%	17%	11%	7%	5%	4%	5%	8%	9%	5%	4%	3%	

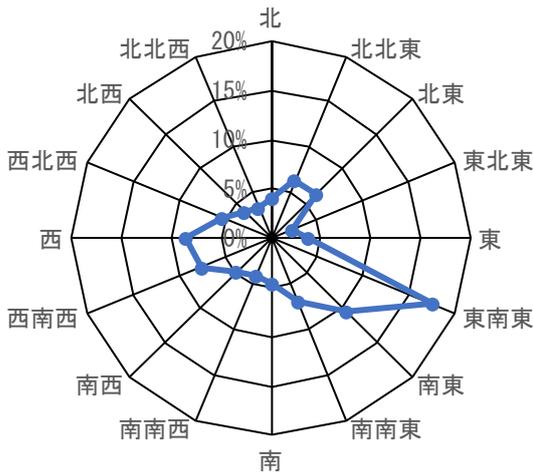
年	風向(風速8m/s以上)																計
	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	
2022年	21	8	41	0	0	0	1	51	0	0	44	300	320	154	63	31	1034
2023年	15	8	21	0	0	0	15	55	0	64	110	225	282	160	76	30	1061
2024年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	27	13	16	8	5	85
合計	37	16	62	0	0	0	16	106	0	64	169	552	615	330	147	66	2180
頻度	2%	1%	3%	0%	0%	0%	1%	5%	0%	3%	8%	25%	28%	15%	7%	3%	

地点 姫川港
 期間 2022年1月～2024年12月（3年間）

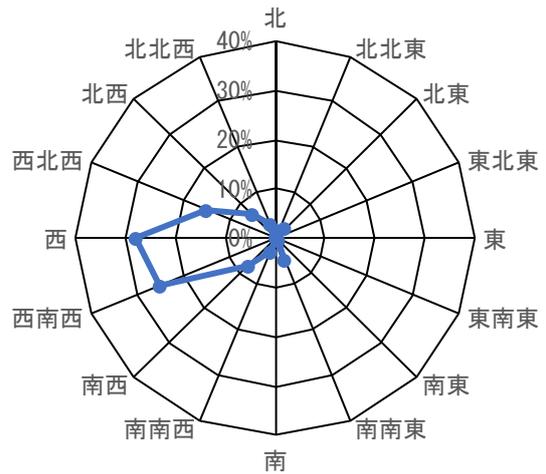
姫川港 風速



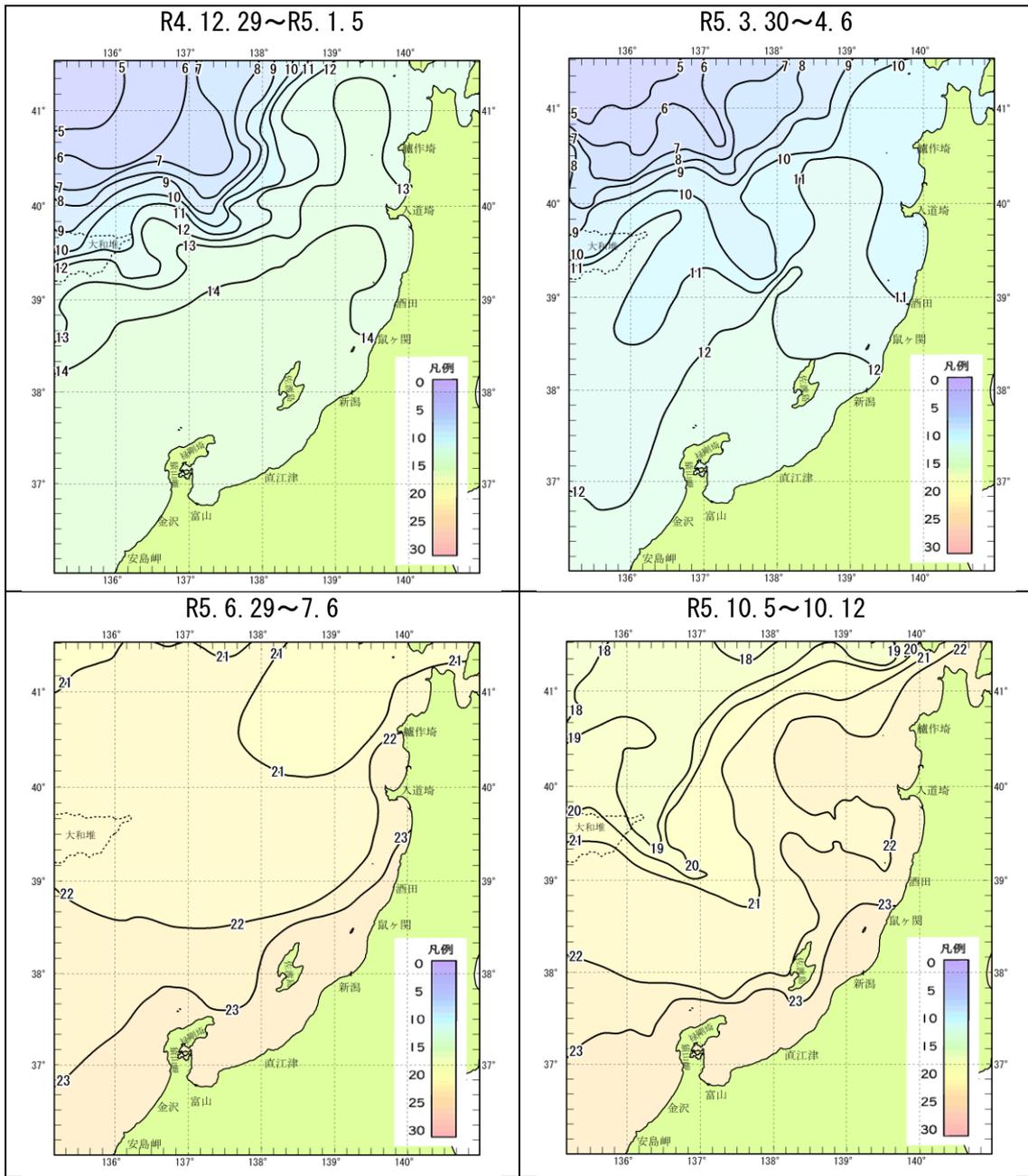
姫川港 風向（全データ）



姫川港 風向（8m/s以上）



図ー 4 姫川港における風速別出現頻度グラフ・風配図



図－ 5 富山湾における水温水平分布 (R5)

(資料：九管区海洋速報 HP)

観測地点：姫川港
 統計期間：2022年 1月 1日 ~ 2024年12月31日
 (出現頻度)

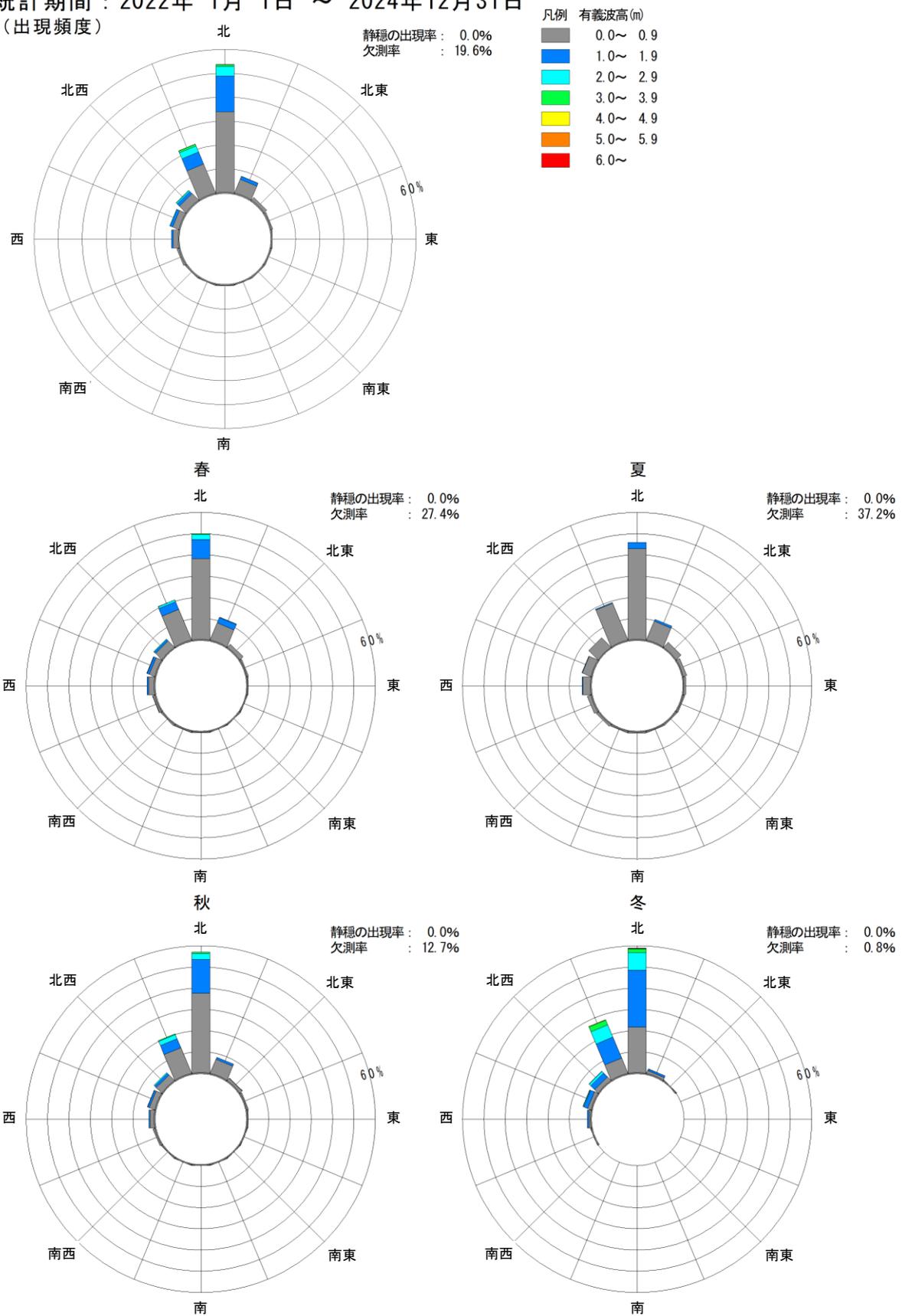


図-6 姫川港における波向別波高出現頻度

表－ 2 姫川港における波向別波高出現頻度

		規定回数： 26304		測定回数： 21141 (80.4%)			欠測： 5163 (19.6%)		
有義波高 波向	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	合計	
	0.9	1.9	2.9	3.9	4.9	5.9	6.9		
北	7165 33.9	3211 15.2	817 3.9	154 0.7	23 0.1	4 0.0		11374 53.8	
北北東	1280 6.1	273 1.3	16 0.1	2 0.0				1571 7.4	
北東	299 1.4	7 0.0						306 1.4	
東北東	130 0.6	1 0.0						131 0.6	
東	68 0.3							68 0.3	
東南東	35 0.2							35 0.2	
南東	36 0.2							36 0.2	
南南東	23 0.1							23 0.1	
南	34 0.2							34 0.2	
南南西	43 0.2							43 0.2	
南西	73 0.3	1 0.0						74 0.4	
西南西	164 0.8	6 0.0						170 0.8	
西	455 2.2	117 0.6	2 0.0					574 2.7	
西北西	561 2.7	243 1.1	32 0.2	7 0.0				843 4.0	
北西	779 3.7	273 1.3	121 0.6	15 0.1	1 0.0			1189 5.6	
北北西	2743 13.0	1159 5.5	577 2.7	173 0.8	18 0.1			4670 22.1	
合計	13888 65.7	5291 25.0	1565 7.4	351 1.7	42 0.2	4 0.0	0.0	21141 100.0	

※注 表中の上段は出現回数、下段は出現率 (%)

表－ 3 姫川港における周期別波高出現頻度

規定回数： 26304, 測定回数： 26196 (99.6%), 欠測： 108 (0.4%)

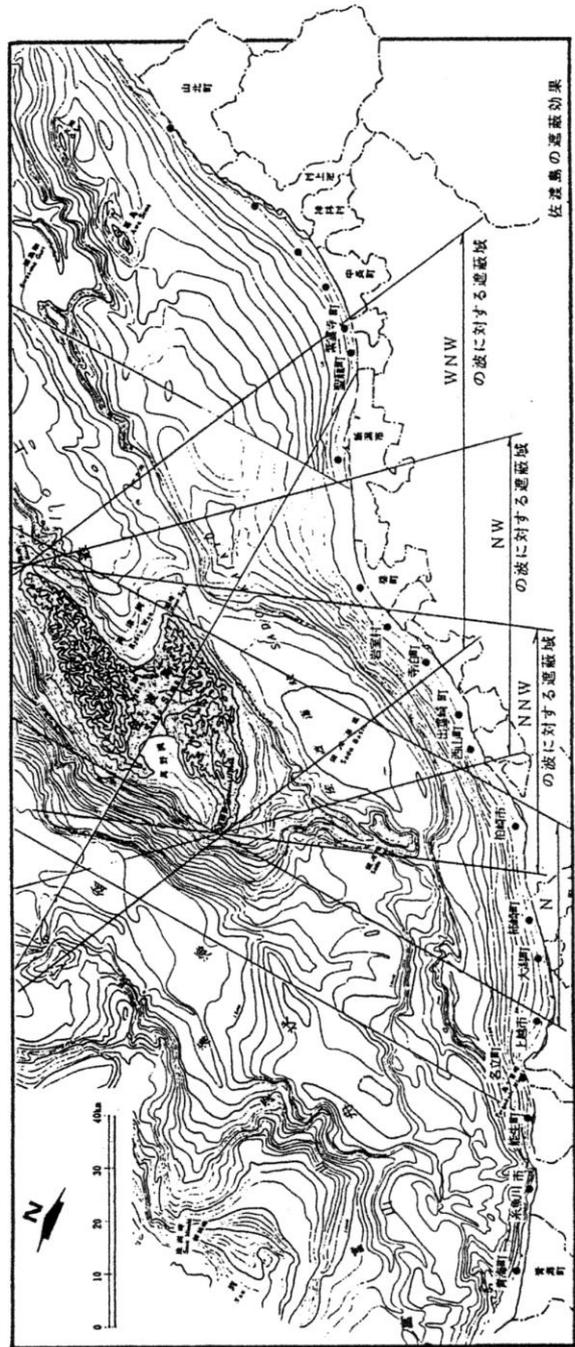
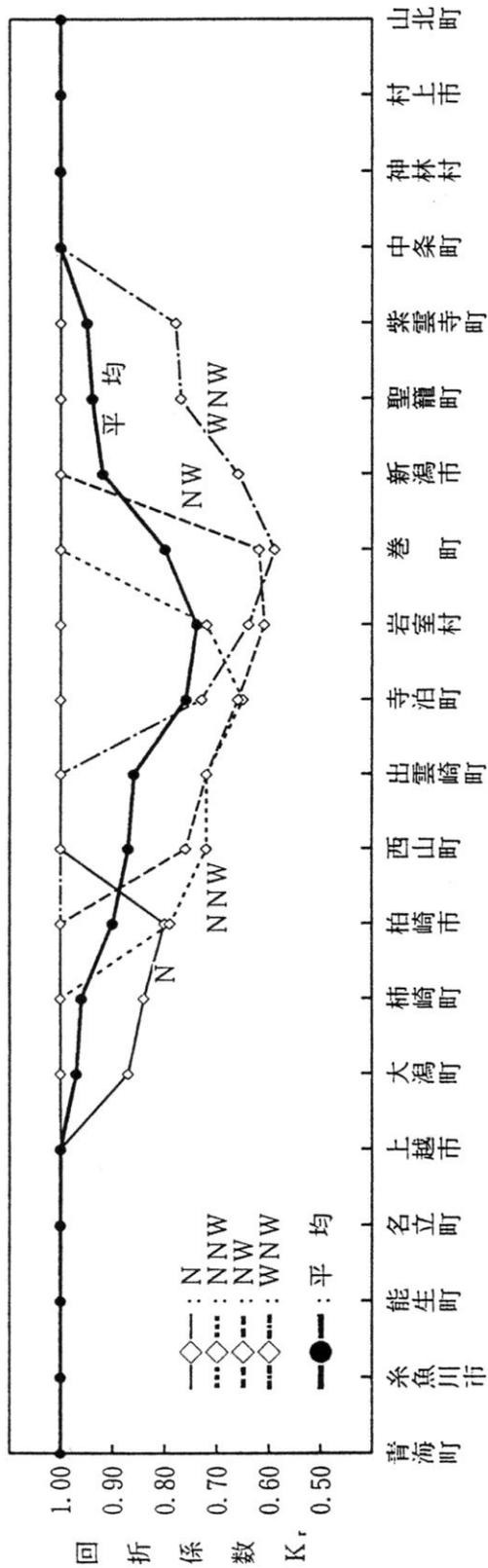
有義波高 周期	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	合計
	0.9	1.9	2.9	3.9	4.9	5.9	6.9	
2.0 ~ 2.9	86 0.3							86 0.3
3.0 ~ 3.9	4185 16.0	5 0.0						4190 16.0
4.0 ~ 4.9	5721 21.8	313 1.2						6034 23.0
5.0 ~ 5.9	4507 17.2	1045 4.0	37 0.1					5589 21.3
6.0 ~ 6.9	3007 11.5	1442 5.5	286 1.1	5 0.0				4740 18.1
7.0 ~ 7.9	1161 4.4	1485 5.7	480 1.8	65 0.2				3191 12.2
8.0 ~ 8.9	245 0.9	805 3.1	366 1.4	98 0.4	5 0.0			1519 5.8
9.0 ~ 9.9	29 0.1	175 0.7	228 0.9	87 0.3	14 0.1	3 0.0		536 2.0
10.0 ~ 10.9	2 0.0	18 0.1	143 0.5	47 0.2	11 0.0	1 0.0		222 0.8
11.0 ~ 11.9		3 0.0	24 0.1	37 0.1	5 0.0			69 0.3
12.0 ~			1 0.0	12 0.0	7 0.0			20 0.1
合計	18943 72.3	5291 20.2	1565 6.0	351 1.3	42 0.2	4 0.0	0.0	26196 100.0

※注 表中の上段は出現回数、下段は出現率 (%)

表－ 4 姫川港における年次別年間最大波高

年	最高波 (H_{max})			有義波高 ($H_{1/3}$)		
	波高 (m)	周期 (s)	発生日	波高 (m)	周期 (s)	発生日
H24	7.76	10.7	11/2	4.68	10.6	11/2
H25	8.68	10.5	4/8	4.60	10.0	10/16
H26	8.50	9.3	10/14	4.95	10.6	12/17
H27	7.51	10.5	3/11	4.18	11.4	3/11
H28	—	—	—	—	—	—
H29	—	—	—	—	—	—
H30	6.86	10.8	8/17	4.44	8.6	2/17
R1	10.31	9.9	10/13	5.22	9.9	10/13
R2	7.76	11.6	1/31	4.50	11.5	1/31
R3	7.65	9.1	12/17	5.06	9.8	12/17

(資料：新潟県)

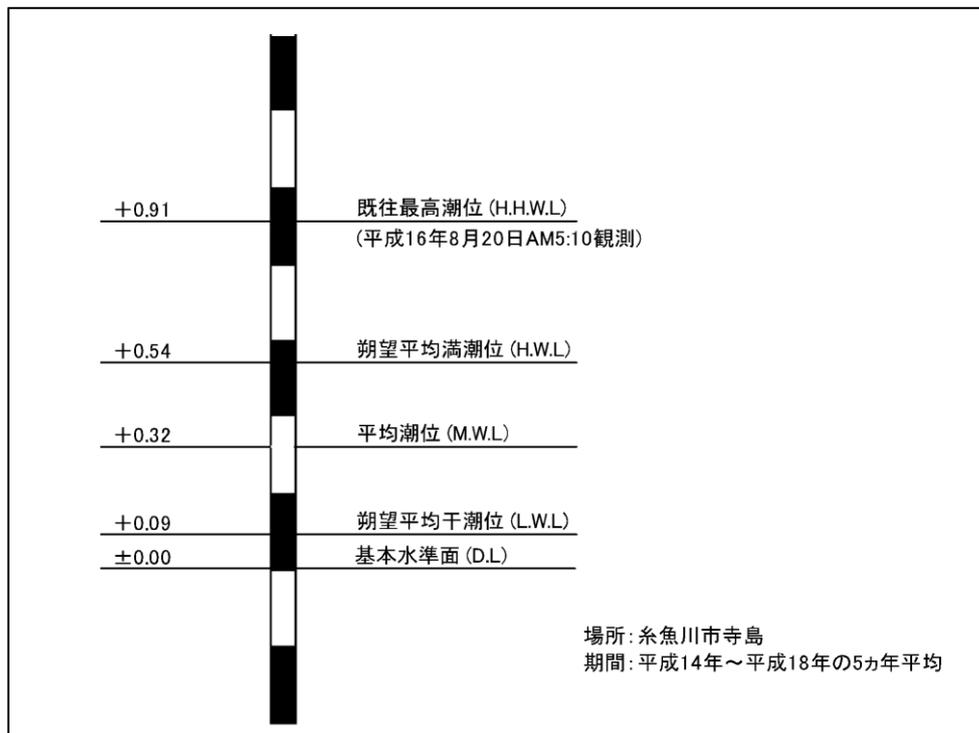


図一 7 回折係数の沿岸分布

(資料：日本全国海洋誌 東海大学出版会 昭和 63 年)

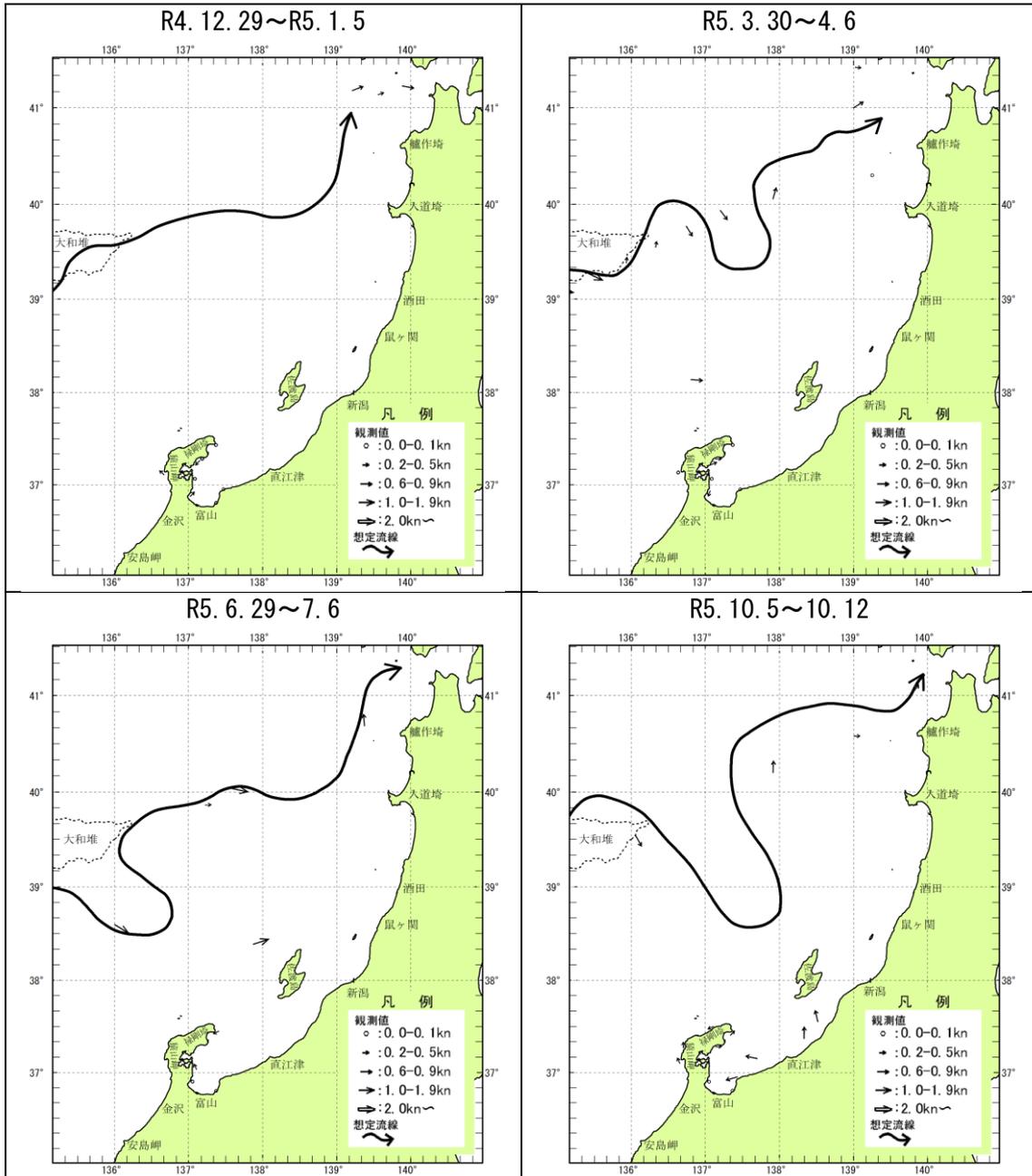


潮位観測地点位置図



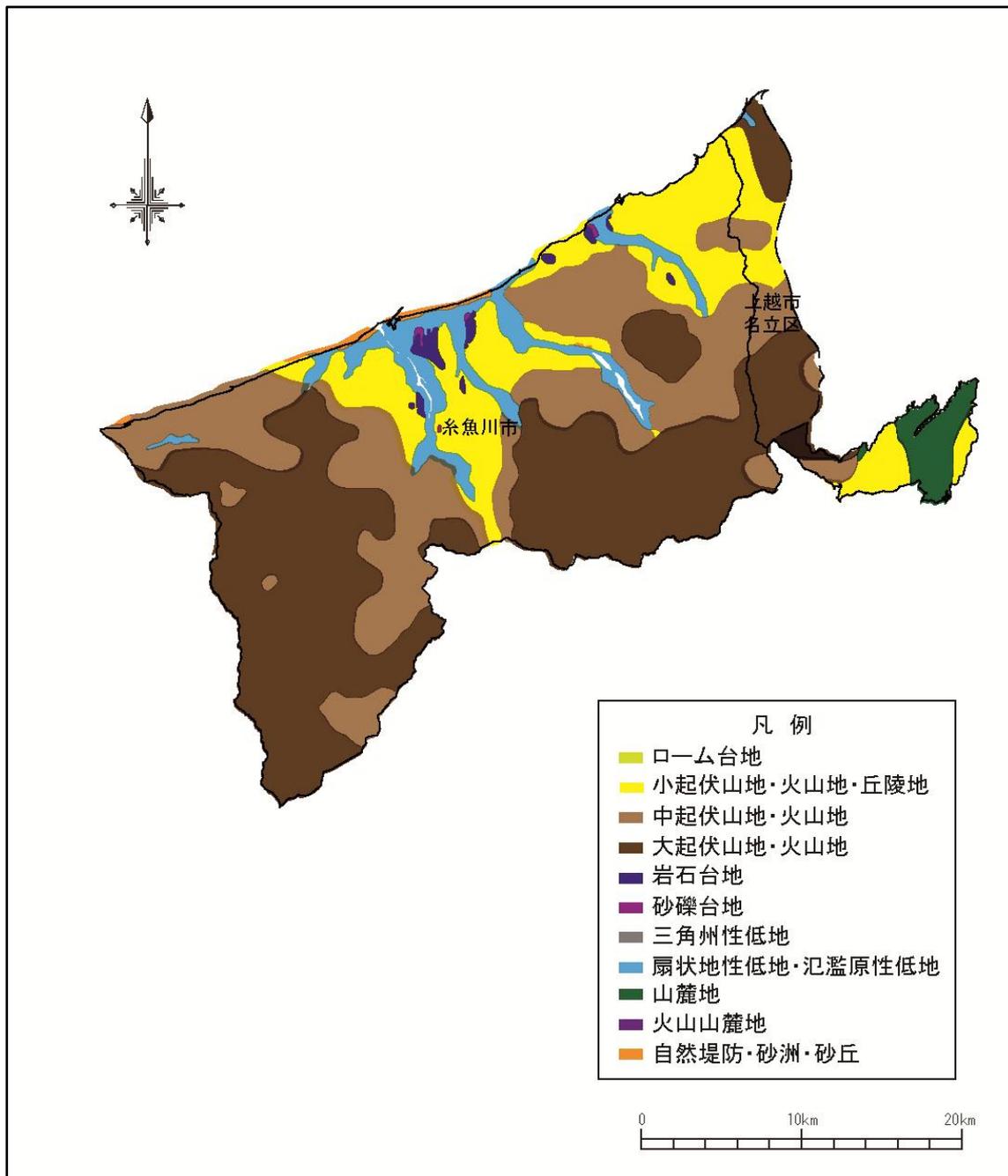
図－ 8 姫川港における潮位

(資料: 姫川港港湾計画 平成20年)



図一 9 富山湾沿岸周辺における季節別海流図(R5)

(資料：九管区海洋速報 HP)



図一 10 富山湾沿岸（新潟県エリア）の地形

（資料：土地分類基本調査 地形分類図 国土交通省国土情報課）

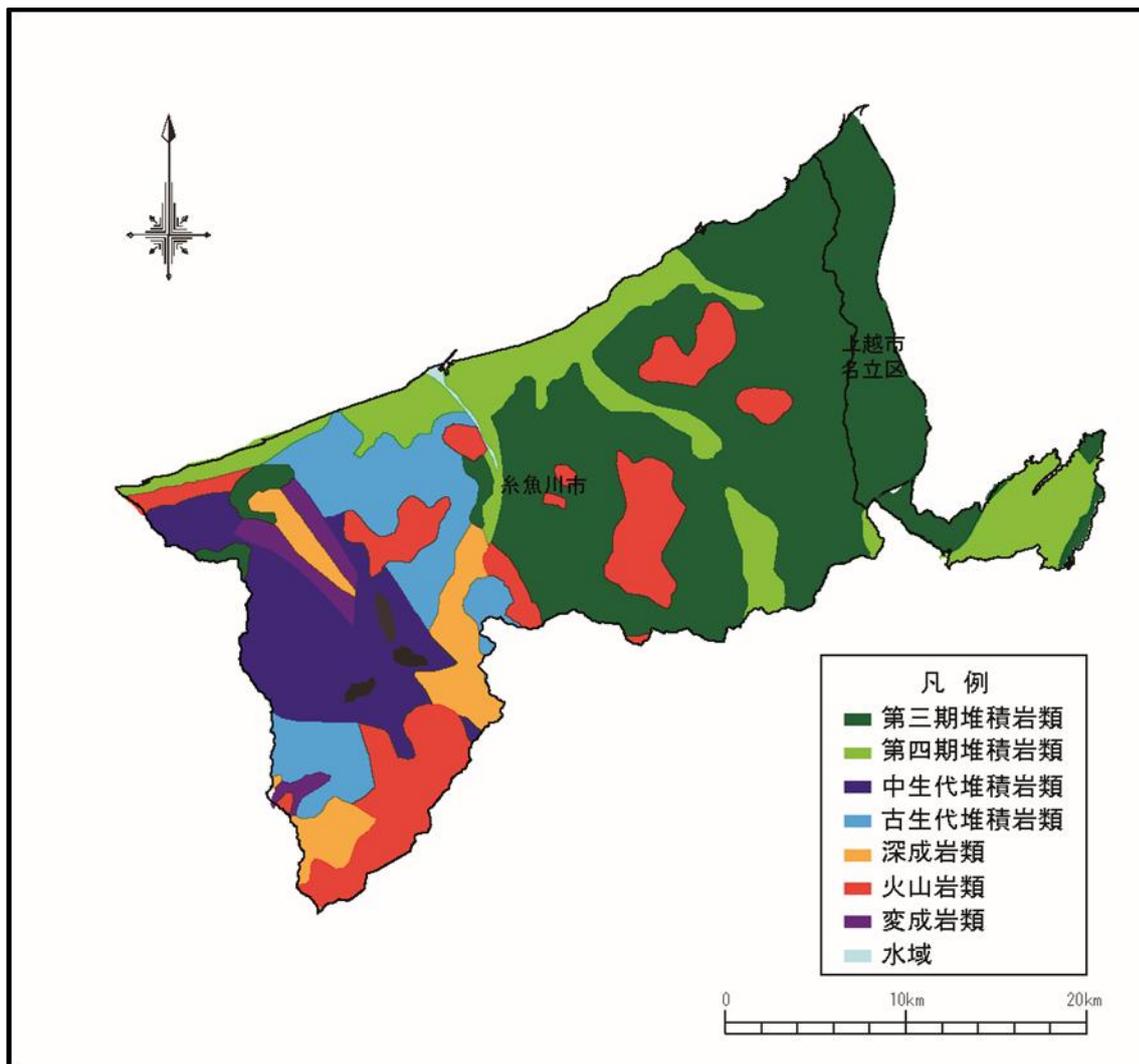


図- 11 富山湾沿岸（新潟県エリア）の地質

(資料：土地分類基本調査 表層地質図 国土交通省国土情報課)

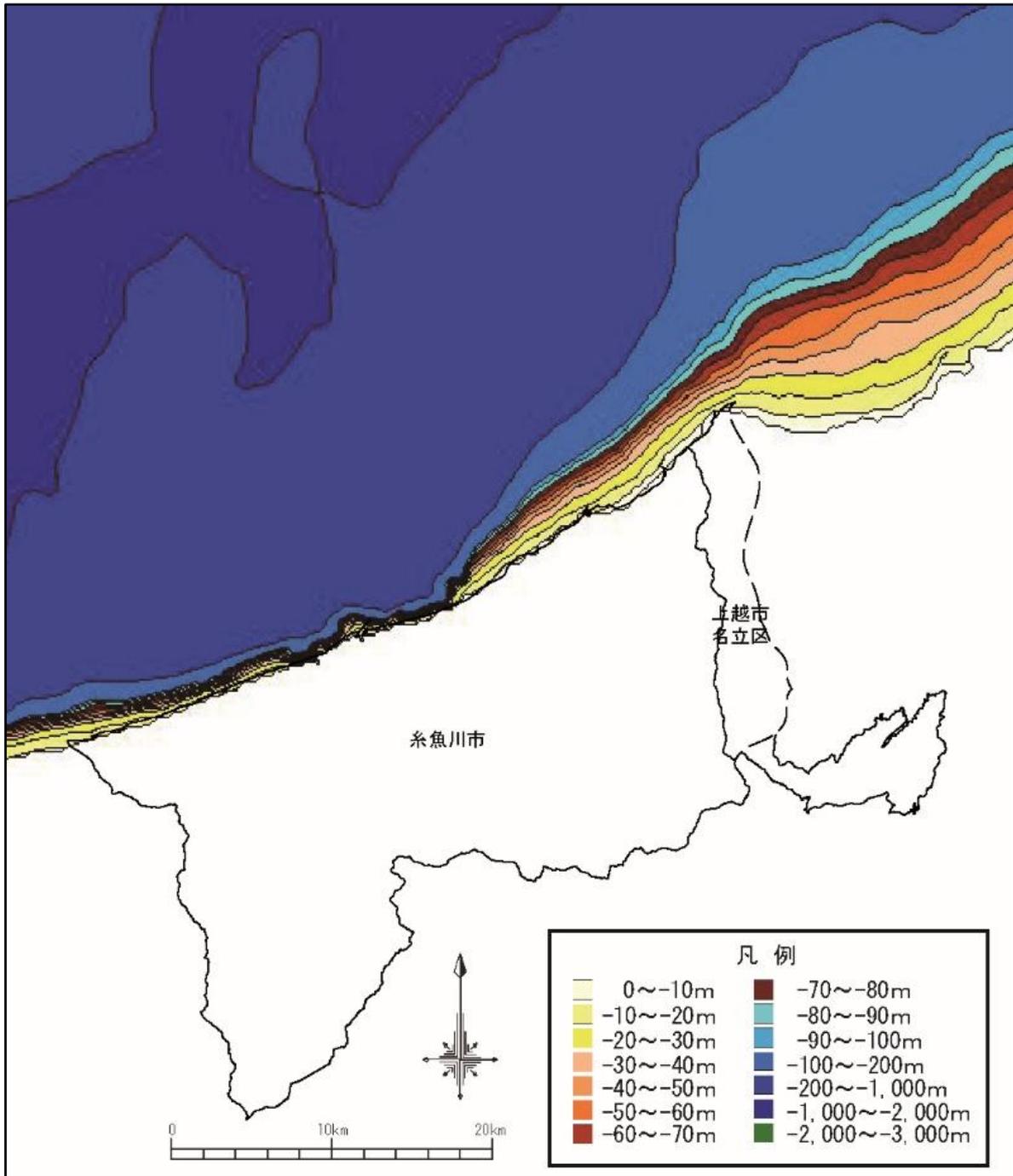
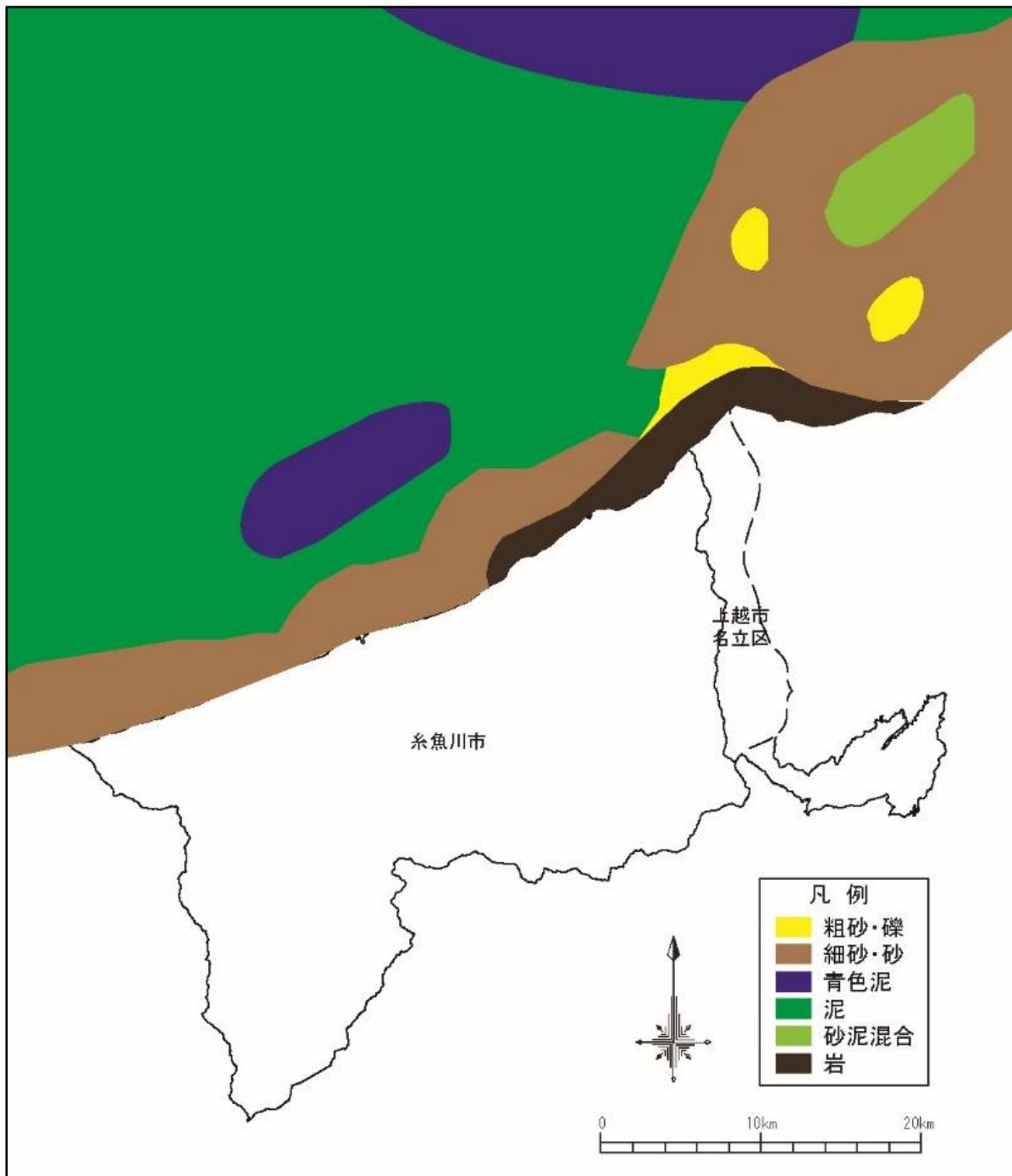


図-12 富山湾沿岸（新潟県エリア）周辺の海底地形

（資料：新潟県防災局（津波解析用データ））



図一 13 富山湾沿岸（新潟県エリア）周辺の海底底質

（資料：日本国勢地図帳 昭和52年）

表－ 5 富山湾沿岸（新潟県エリア）（海域）の水質基準達成状況（R5）

（資料：新潟県 HP 公共用水域の水質測定結果）

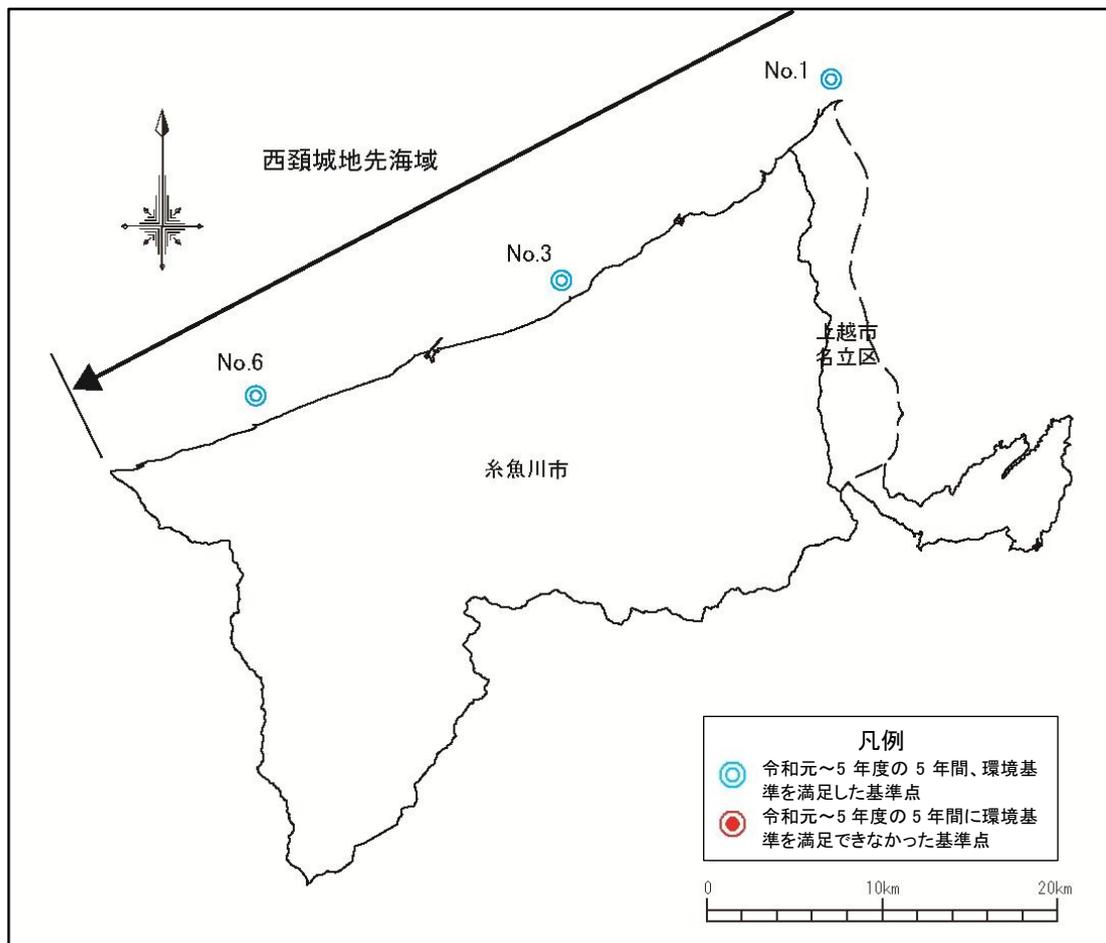
(mg/L)

水域名	測定地点名	類型	R元	R2	R3	R4	R5
西頸城地先海域	No. 1	A	1.7	1.6	1.5	1.7	1.7
西頸城地先海域	No. 3	A	0.5	0.8	1	1.1	1.4
西頸城地先海域	No. 6	A	0.5	1	1.5	1.1	1.4

環境基準評価指標

類型	COD75%値	指標となる魚類
A	2mg/リットル以下	マダイ、ブリ、ワカメ等
B	3mg/リットル以下	ボラ、ノリ等

■	: 環境基準達成
■	: 環境基準未達成



表－ 6 富山湾沿岸（新潟県エリア）（河川）の水質基準達成状況（R5）

（資料：新潟県 HP 公共用水域の水質測定結果）

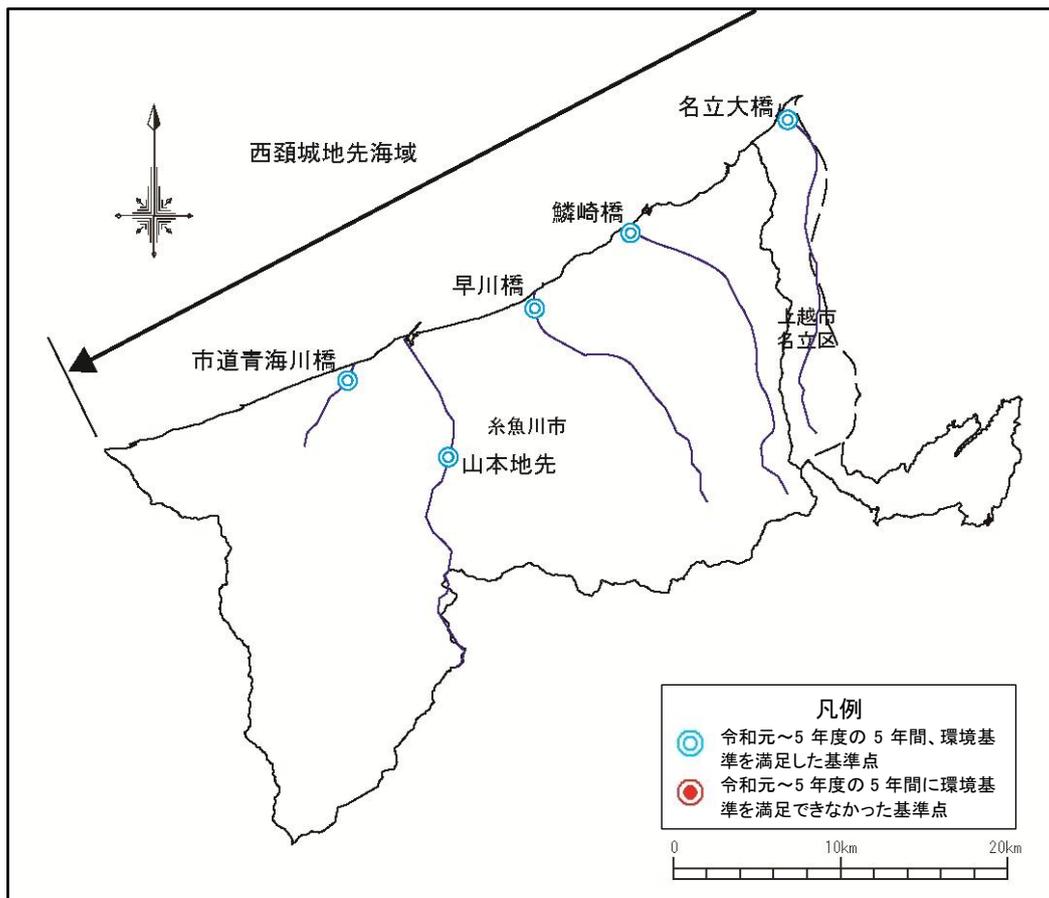
（mg/L）

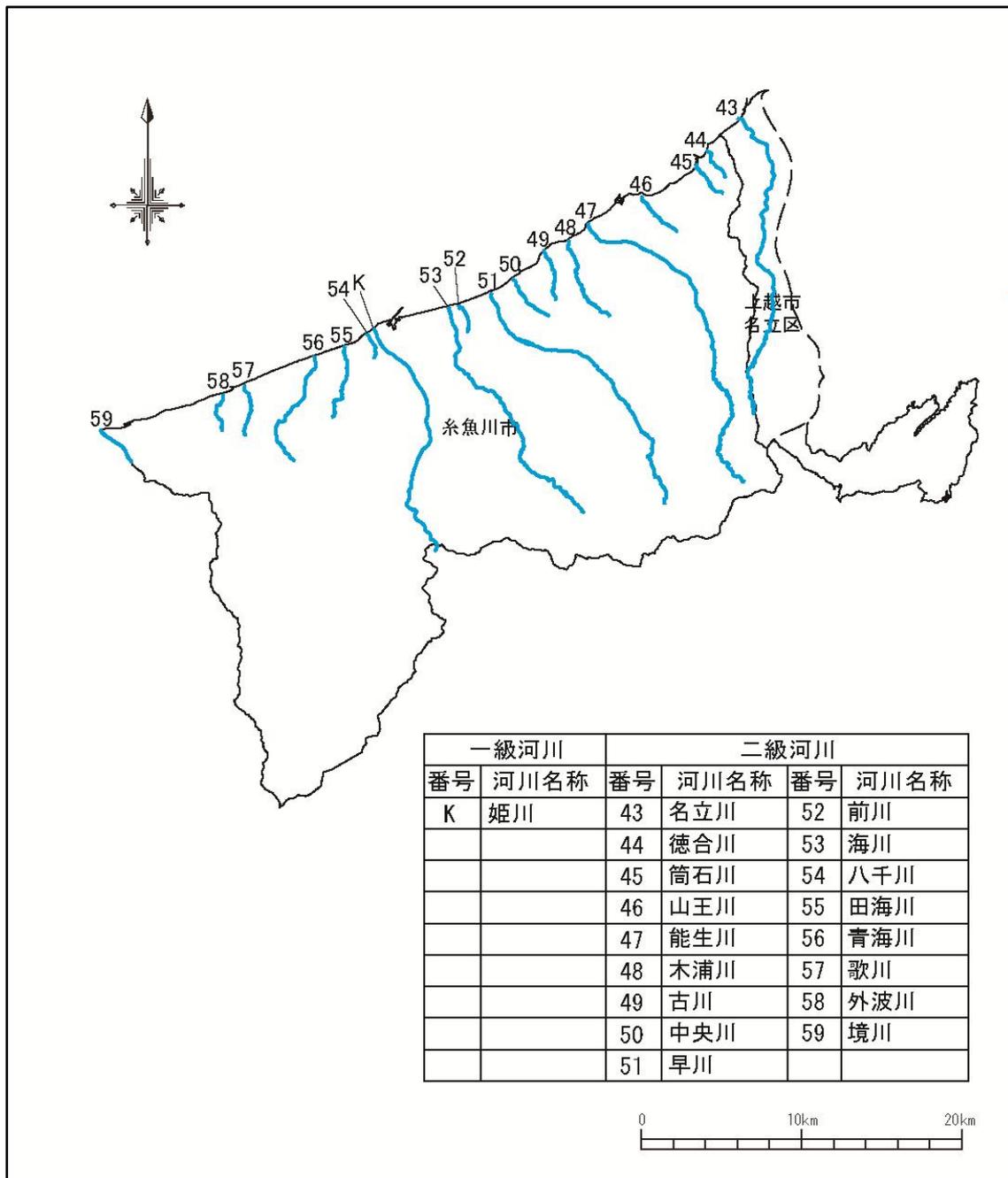
河川名	測定地点名	類型	R1	R2	R3	R4	R5
名立川	名立橋	A	0.8	0.9	0.7	0.8	0.7
能生川	鱗崎橋	A	1.1	0.9	0.6	0.6	1.1
早川	早川橋	A	1	0.7	0.7	0.7	0.9
姫川	山本地先	AA	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8
青海川	市道青海川橋	C	1.3	1	1	0.6	1.5

表 環境基準評価指標

類型	BOD75%値	指標となる魚類
AA	1mg/リットル以下	イワナ
A	2mg/リットル以下	アユ
B	3mg/リットル以下	オイカワ
C	5mg/リットル以下	シマドジョウ
E	10mg/リットル以下	ドジョウ

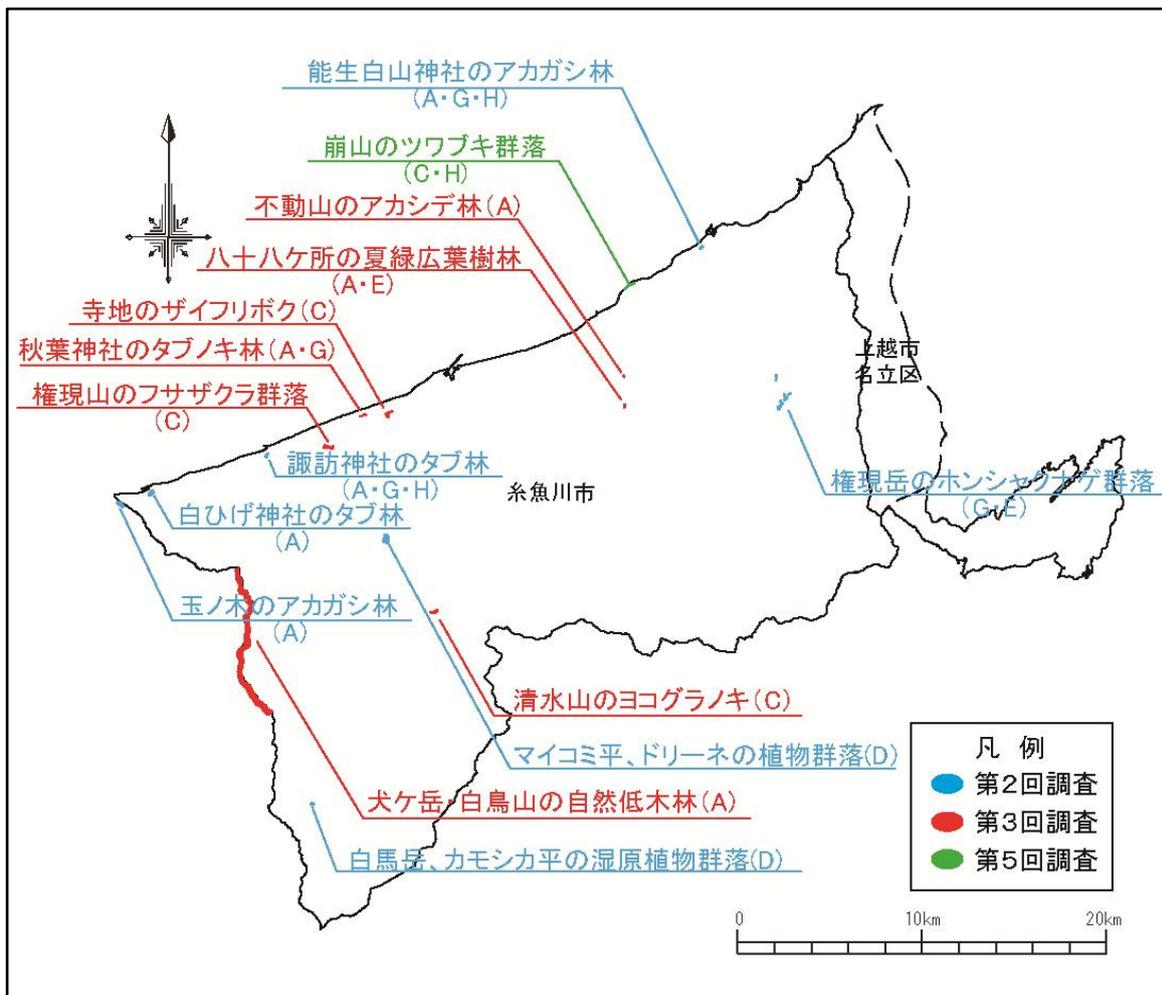
: 環境基準達成
 : 環境基準未達成





図一 14 富山湾沿岸（新潟県エリア）に流入する河川

（資料：新潟県 HP 新潟県の河川一覧）



特定植物群落選定基準

記号	理由
A	原生林もしくはそれに近い自然林
B	国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群
C	比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群
D	砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
E	郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
F	過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
G	乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
H	その他、学術上重要な植物群落または個体群

図－ 15 富山湾沿岸（新潟県エリア）における貴重な植物群落

（資料：自然環境保全基礎調査 環境省自然環境局
 第 2 回 自然環境保全基礎調査特定植物群落一覧表（昭和 54 年）
 第 3 回 特定植物群落調査報告書（昭和 63 年）
 第 5 回 特定植物群落調査報告書（平成 12 年）

絶滅の恐れのある貴重な植物(維管束植物)

(資料)

レッドデータブックにいがた ―新潟県の保護上重要な野生生物―

平成13年3月 新潟県環境生活部環境企画課

スミシ科

イソスミレ(セナミスミレ) *Viola grayi* Franch. et Savat.

新潟県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類
環境庁カテゴリー

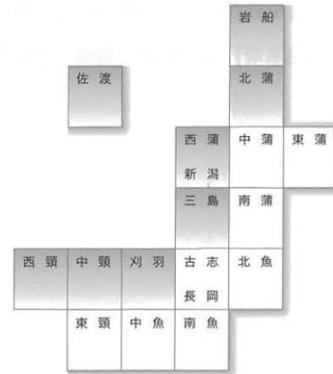
【選定理由】 減少

【形態と近似種】 海岸の砂地に生育する。茎はそう生し、高さ5~10cm。葉は扁円心形、幅1.5~3.5cm、先は尖り、基部は心形、低い鋸歯がある。初夏に紫色の花が咲き、やや大きく、花弁の長さ6~8mm、距の長さ5mm。タチツボスミレやオオタチツボスミレに似るが、本種は地下茎が木化、肥大し、著しく深く伸びる。

【分布の状況】 国内では北海道西南部、本州日本海沿岸に分布する。県内では海岸沿いに分布する。

【生育を脅かしている原因】 海岸砂地の開発、廃棄物投棄、観光、海水浴客による踏圧や採取などが本種の生育を脅かす。

【特記事項】 指定植物（瀬波）。



セリ科

ハマゼリ *Cnidium japonicum* Miq.

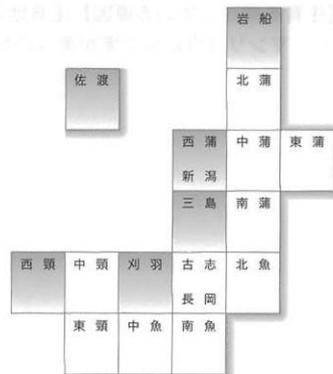
新潟県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類
環境庁カテゴリー

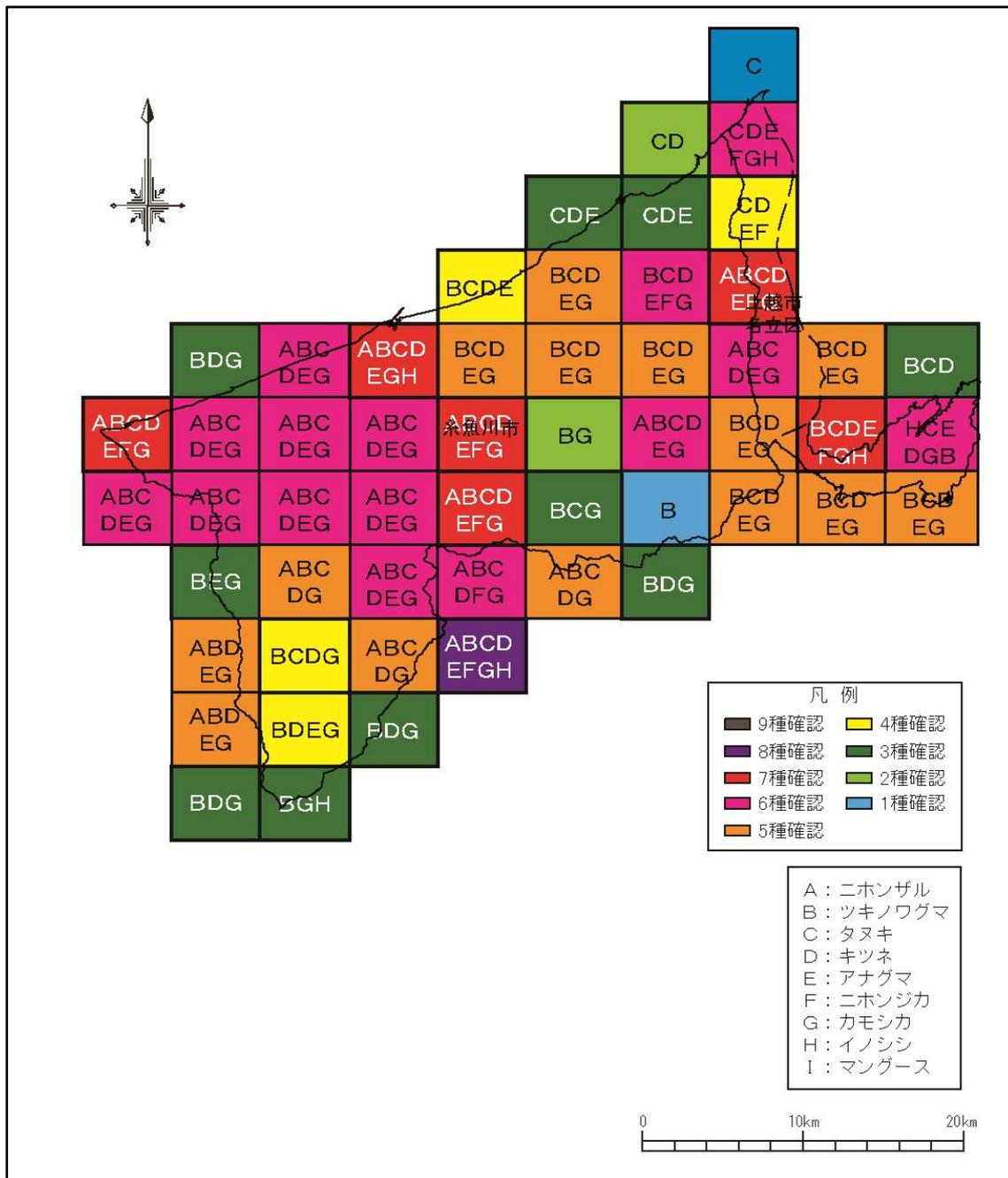
【選定理由】 減少

【形態と近似種】 海浜に接する畑地の防風柵やそで垣、船小屋の風背面などに群生する。越年草。やや多肉質で茎は根元から多数そう生し、斜上する。草丈は10~50cm。葉は単羽状複葉、上部の葉は3裂し、下部の葉は5裂して葉柄がある。8~10月に複散形花序をつけて開花する。

【分布の状況】 国内全域の海岸に分布し、県内では北部、中部、西部、佐渡の海岸砂丘に分布する。最近は個体数が激減している。

【生育を脅かしている原因】 港湾造成のための海浜の掘削、波浪による海岸浸食、その防止のための防波堤建設などで地形や植生が破壊され、個体数の減少が著しい。



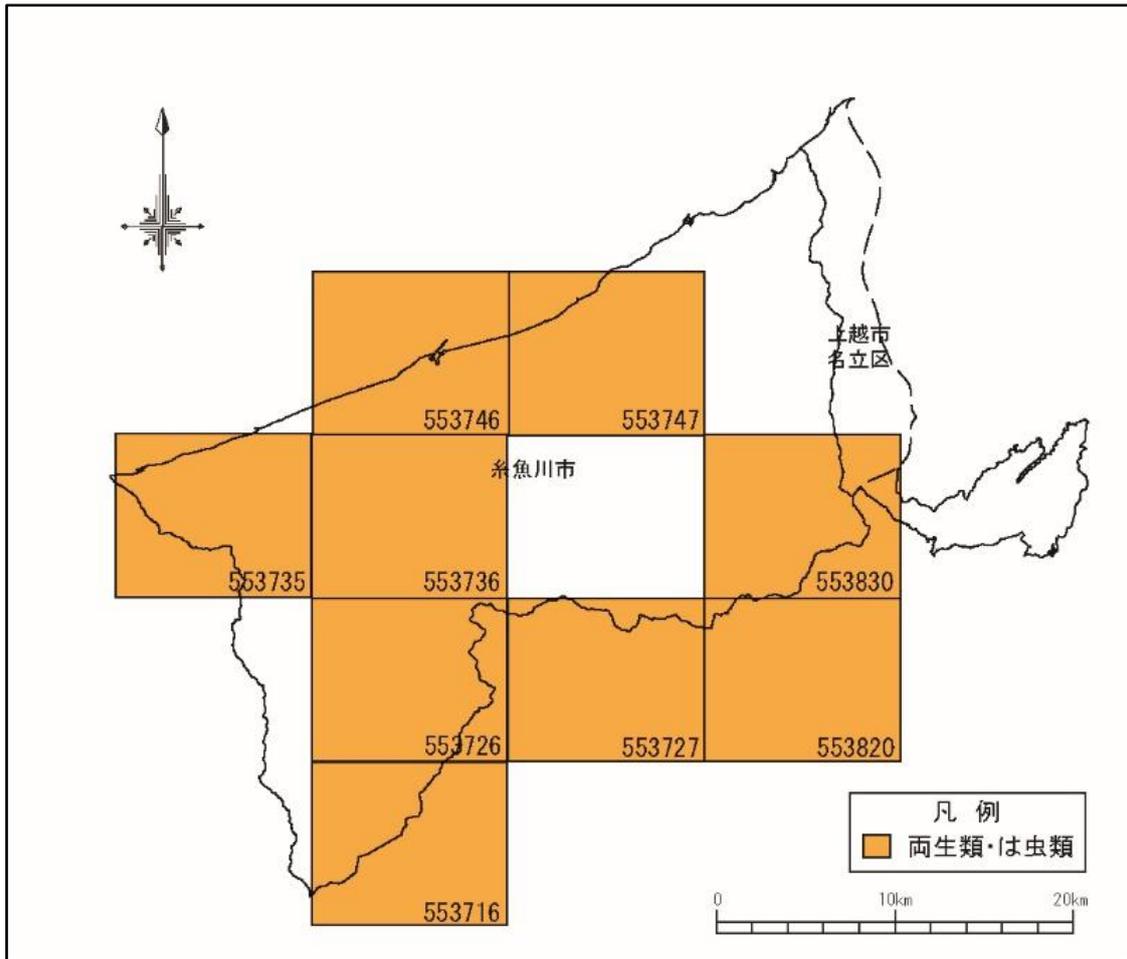


図一 16 富山湾沿岸（新潟県エリア）における哺乳類の分布状況

（資料：第6回自然環境保全基礎調査 哺乳類分布調査報告書 環境省自然環境局 平成16年）

環境省レッドリスト2017のカテゴリ(ランク)

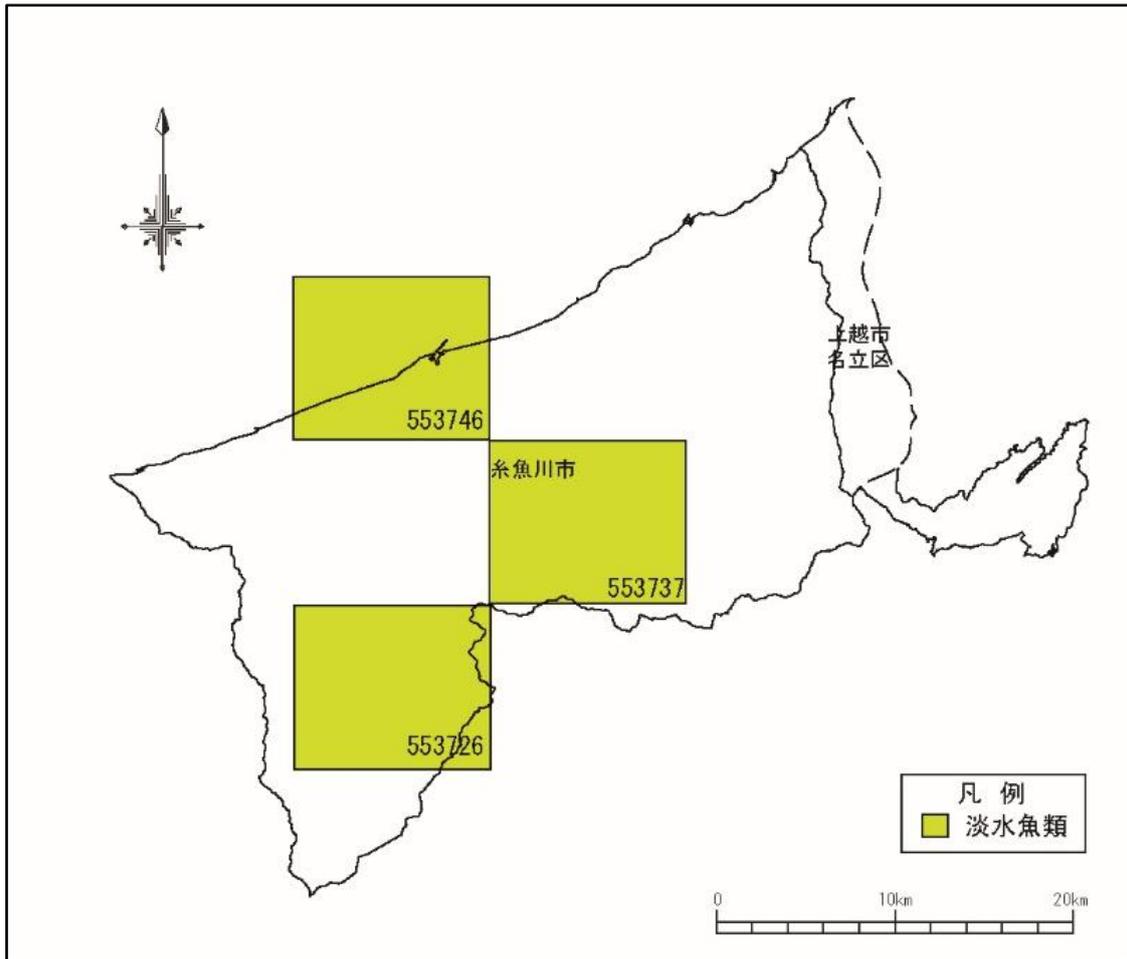
カテゴリ	概要
絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
(調査対象種)	「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997), 環境省自然環境局



図一 17(1) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（両生類・爬虫類）

（資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 両生類・爬虫類
環境省自然環境局 平成13年）

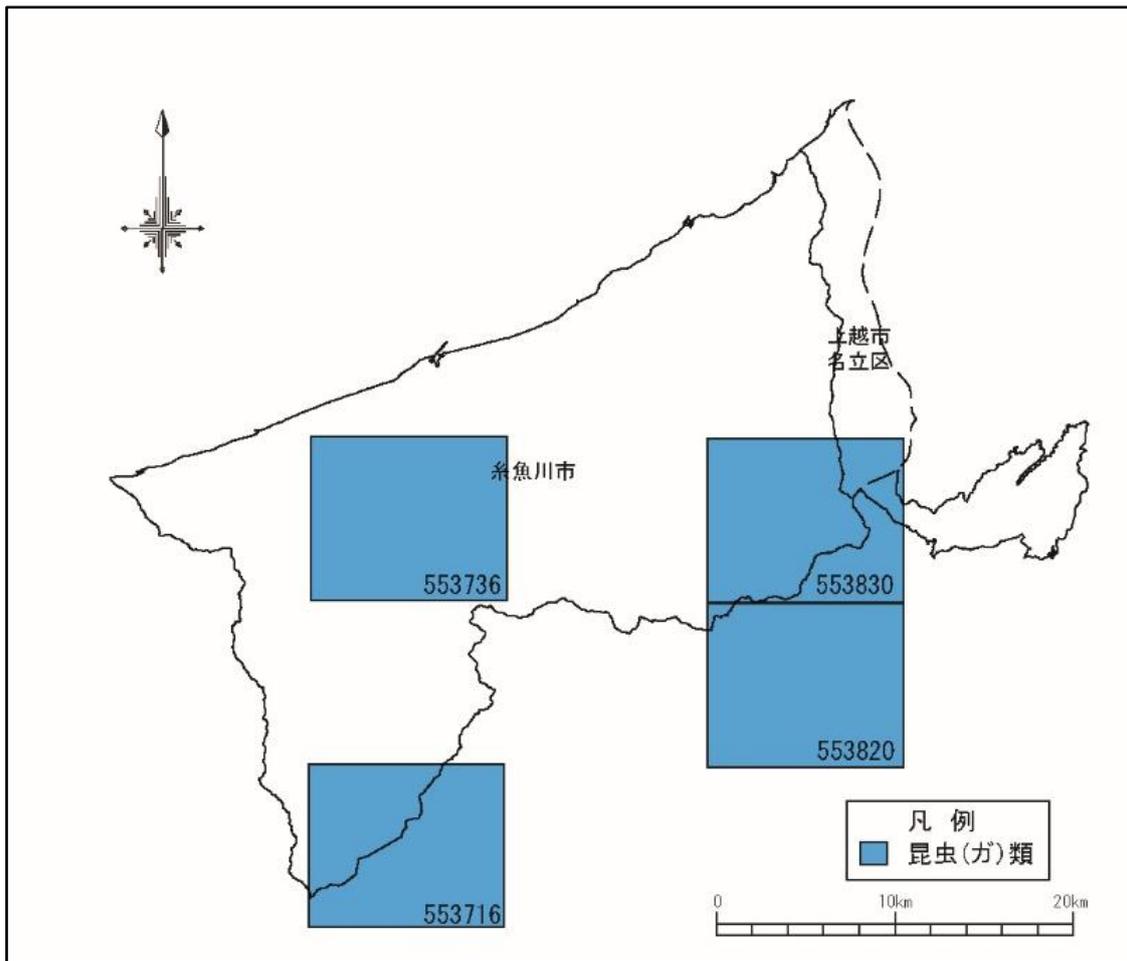
メッシュコード	種名	カテゴリ
553716	アズマヒキガエル	(調査対象種)
	マムシ	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
553726	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハクバサンショウウオ	絶滅危惧IB類(EN)
	ヤマカガシ	(調査対象種)
	カナヘビ	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
553727	アオダイショウ	(調査対象種)
	ヤマカガシ	(調査対象種)
	マムシ	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
553735	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)
	アズマヒキガエル	(調査対象種)
	アマガエル	(調査対象種)
	ヤマアカガエル	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
	トカゲ(ニホントカゲ)	(調査対象種)
	カナヘビ	(調査対象種)
	アオダイショウ	(調査対象種)
	ヤマカガシ	(調査対象種)
	マムシ	(調査対象種)
	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)
	イモリ	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
553736	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)
	カジカガエル	(調査対象種)
	カナヘビ	(調査対象種)
	カジカガエル	(調査対象種)
	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)
	アズマヒキガエル	(調査対象種)
	ヤマアカガエル	(調査対象種)
	モリアオガエル	(調査対象種)
	トカゲ(ニホントカゲ)	(調査対象種)
	カナヘビ	(調査対象種)
	アオダイショウ	(調査対象種)
	ヤマカガシ	(調査対象種)
553746	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)
	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
553747	ツチガエル	(調査対象種)
553820	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
553830	クロサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧(NT)
	ハコネサンショウウオ	(調査対象種)



図一 17(2) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（淡水魚類）

（資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 淡水魚類
環境省自然環境局 平成14年）

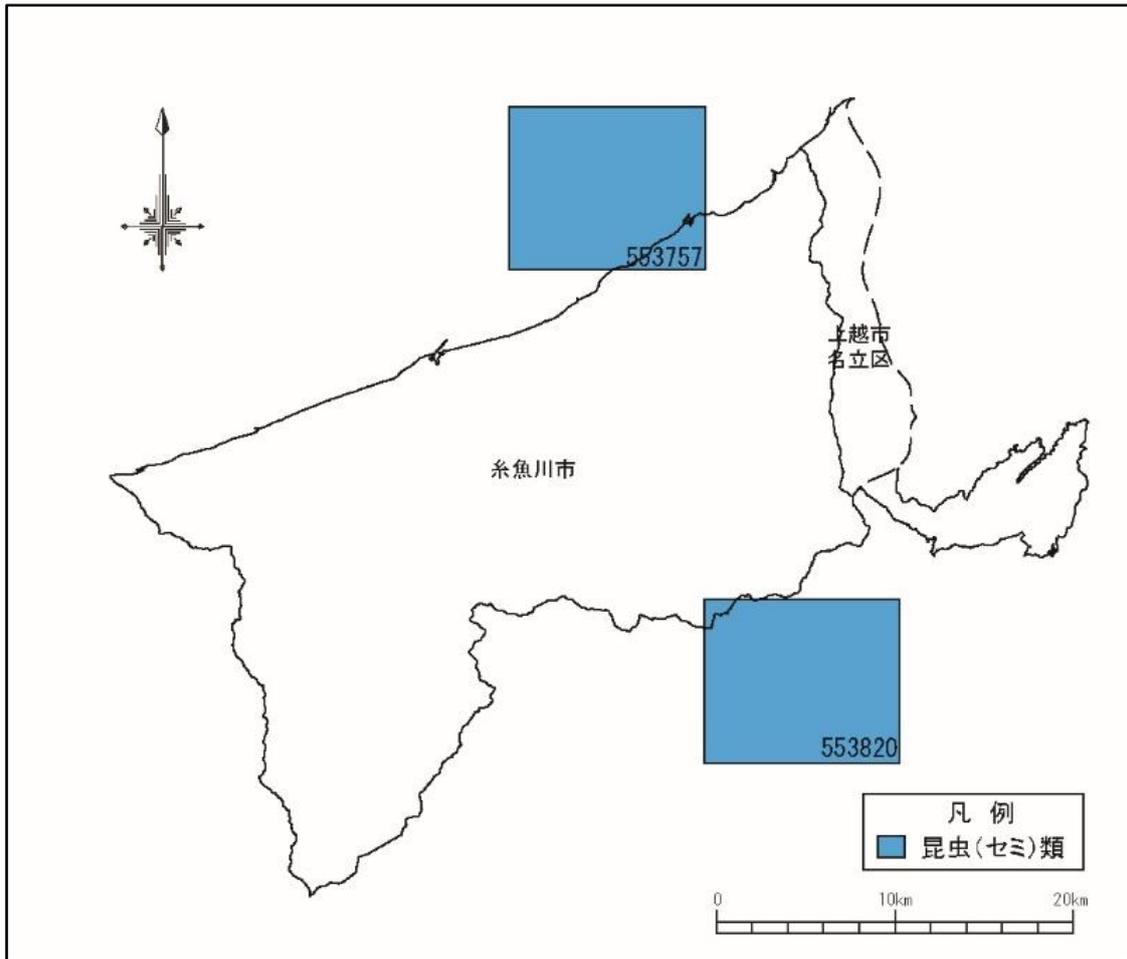
メッシュコード	種名	カテゴリ
553726	ニッコウイワナ	情報不足 (DD)
553737	ニッコウイワナ	情報不足 (DD)
553746	ハナカジカ	(調査対象種)
	メダカ	(調査対象種)



図一 17(3) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（昆虫（ガ）類）

（資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 昆虫（ガ）類
環境省自然環境局 平成14年）

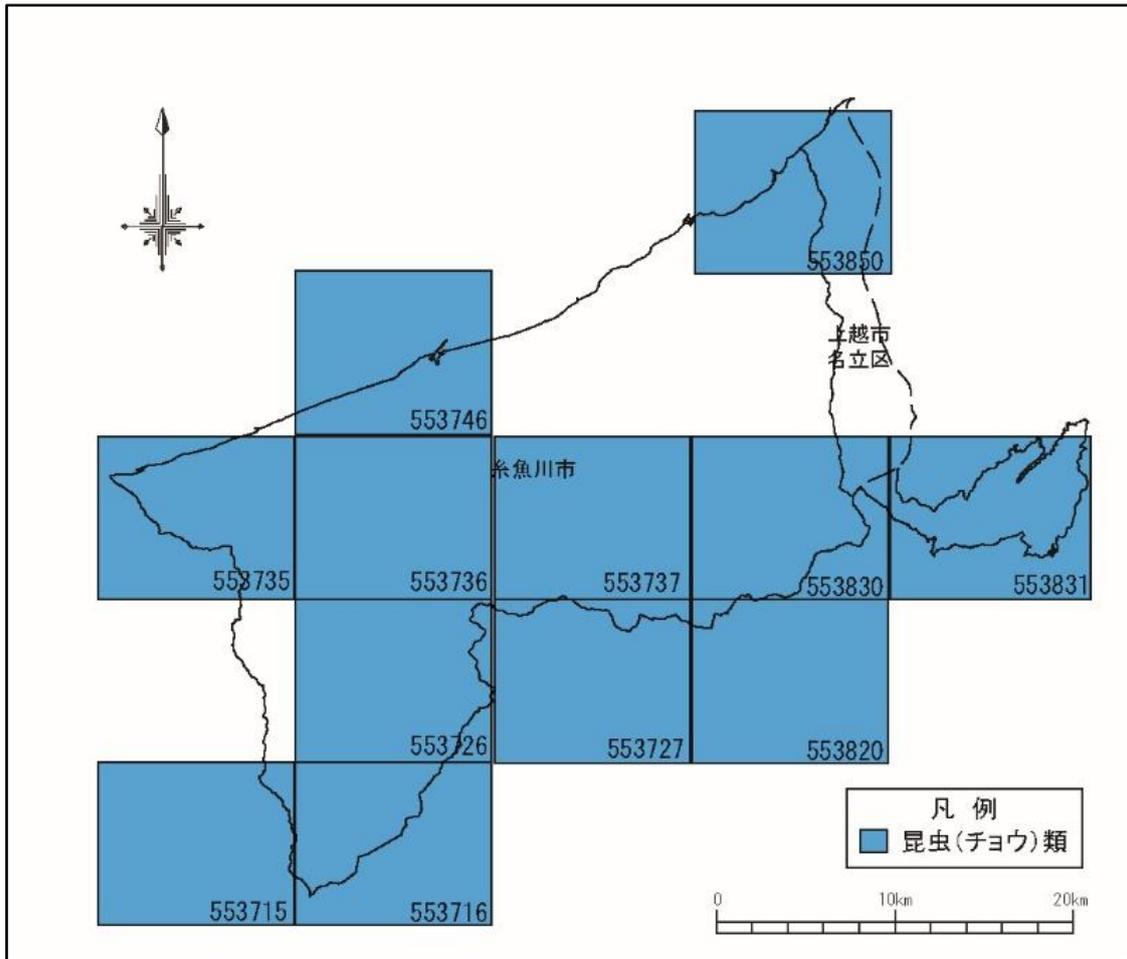
メッシュコード	種名	カテゴリ
553716	オオシロシタバ	(調査対象種)
553736	ヒサゴスズメ	(調査対象種)
	オオミズアオ	(調査対象種)
553820	ヒメヤママユ	(調査対象種)
	クロウスタビガ	(調査対象種)
	ムラサキシタバ	(調査対象種)
	オオシロシタバ	(調査対象種)
	エゾベニシタバ	(調査対象種)
	シロシタバ	(調査対象種)
	ケンモンキシタバ	(調査対象種)
	エゾシロシタバ	(調査対象種)
	ゴマシオキシタバ	(調査対象種)
	ヨシノキシタバ	(調査対象種)
	キシタバ	(調査対象種)
	ジョナスキシタバ	(調査対象種)
	ヒメヤママユ	(調査対象種)
	クスサン	(調査対象種)
	ウスタビガ	(調査対象種)
	コスズメ	(調査対象種)
	ムラサキシタバ	(調査対象種)
	オオシロシタバ	(調査対象種)
	エゾベニシタバ	(調査対象種)
	ベニシタバ	(調査対象種)
	オニベニシタバ	(調査対象種)
	シロシタバ	(調査対象種)
	ケンモンキシタバ	(調査対象種)
	ノコメキシタバ	(調査対象種)
	マメキシタバ	(調査対象種)
	エゾシロシタバ	(調査対象種)
	ゴマシオキシタバ	(調査対象種)
	ヨシノキシタバ	(調査対象種)
	キシタバ	(調査対象種)
	ジョナスキシタバ	(調査対象種)
	ヤママユ	(調査対象種)
	ヒメヤママユ	(調査対象種)
	ムラサキシタバ	(調査対象種)
	オオシロシタバ	(調査対象種)
	エゾベニシタバ	(調査対象種)
	ベニシタバ	(調査対象種)
	オニベニシタバ	(調査対象種)
	シロシタバ	(調査対象種)
	ケンモンキシタバ	(調査対象種)
	ワモンキシタバ	(調査対象種)
	マメキシタバ	(調査対象種)
	エゾシロシタバ	(調査対象種)
	ゴマシオキシタバ	(調査対象種)
	ヨシノキシタバ	(調査対象種)
	キシタバ	(調査対象種)
	ジョナスキシタバ	(調査対象種)
	クルマズメ	(調査対象種)
	クロテンケンモンスズメ	(調査対象種)
	ヒメサザナミスズメ	(調査対象種)
	エゾシモフリスズメ	(調査対象種)
	エビガラスズメ	(調査対象種)
	クロウスタビガ	(調査対象種)
	ウチスズメ	(調査対象種)
	モモスズメ	(調査対象種)
	ヒメサザナミスズメ	(調査対象種)
	サザナミスズメ	(調査対象種)
	ミヤマキシタバ	準絶滅危惧 (NT)
	エゾベニシタバ	(調査対象種)
	オオシロシタバ	(調査対象種)
	ムラサキシタバ	(調査対象種)
	ジョナスキシタバ	(調査対象種)
	ヨシノキシタバ	(調査対象種)
	ゴマシオキシタバ	(調査対象種)
	エゾシロシタバ	(調査対象種)
	ノコメキシタバ	(調査対象種)
	マメキシタバ	(調査対象種)
	ハイモンキシタバ	(調査対象種)
	ワモンキシタバ	(調査対象種)
	ケンモンキシタバ	(調査対象種)
	ノコメキシタバ	(調査対象種)
	クロウスタビガ	(調査対象種)
	クスサン	(調査対象種)
	ヤママユ	(調査対象種)
553830	エゾシモフリスズメ	(調査対象種)
	オオシロシタバ	(調査対象種)



図一 17(4) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（昆虫（セミ）類）

（資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 昆虫（セミ・水生半翅）類
環境省自然環境局 平成14年）

メッシュコード	種名	カテゴリ
553757	ヒメハルゼミ	(調査対象種)
553820	コエゾゼミ	(調査対象種)
	エゾハルゼミ	(調査対象種)

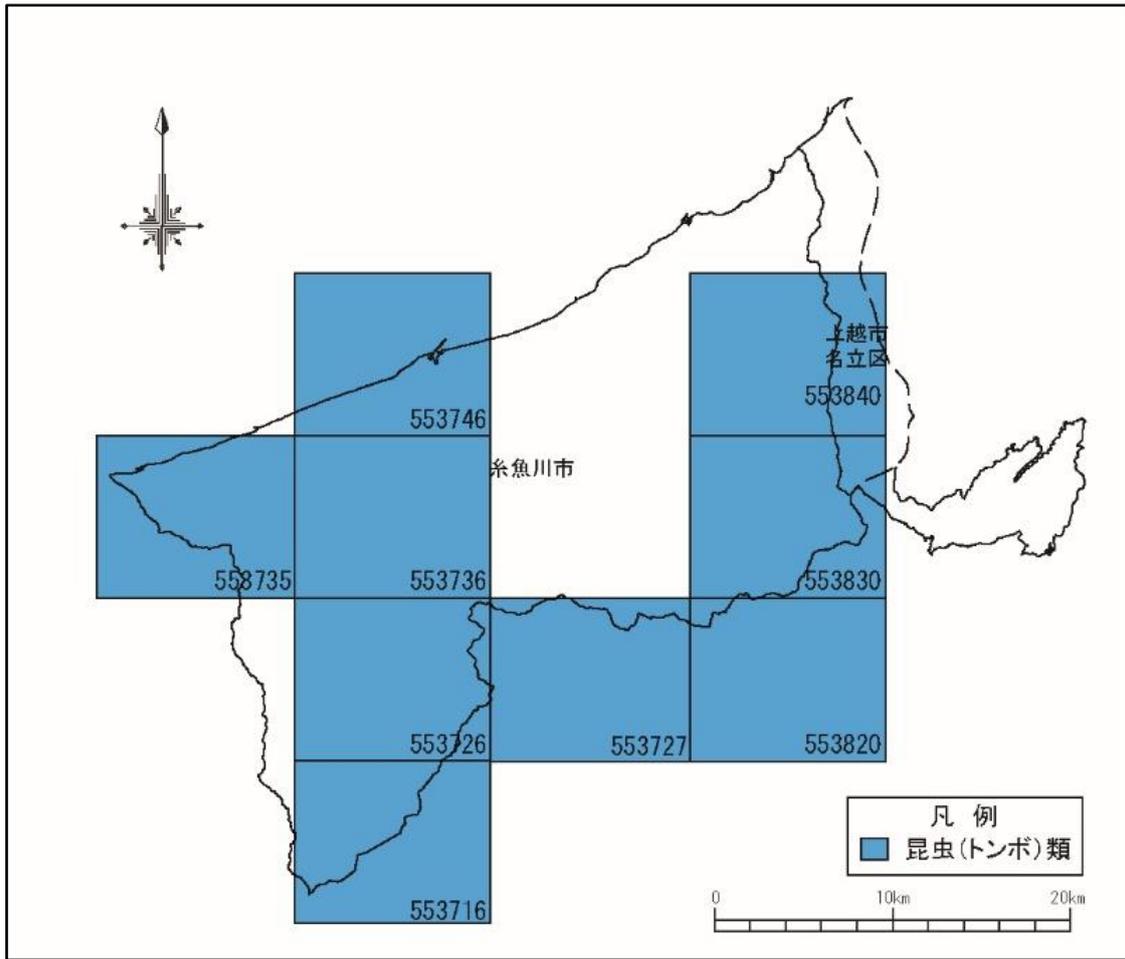


図一 17(5) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（昆虫（チョウ）類）
 （資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 昆虫（チョウ）類
 環境省自然環境局 平成14年）

メッシュコード	種名	カテゴリ	
553715	ゴマシジミ	(調査対象種)	
553716	クジャクチョウ	(調査対象種)	
	コヒオドシ(ヒメヒオドシ)	(調査対象種)	
	ベニヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	タカネヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	コヒオドシ(ヒメヒオドシ)	(調査対象種)	
	ベニヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	アサギマダラ	(調査対象種)	
	コヒオドシ(ヒメヒオドシ)	(調査対象種)	
	ベニヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	アサギマダラ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	ミヤマカラスアゲハ	(調査対象種)	
	モンキチョウ	(調査対象種)	
	ヒメシジミ	(調査対象種)	
	アサギマダラ	(調査対象種)	
	コヒオウモン	(調査対象種)	
	サカハチチョウ	(調査対象種)	
	ツマシロウラジャノメ	(調査対象種)	
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	クロヒカゲ	(調査対象種)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	タカネヒカゲ	(調査対象種)	
	アサマシジミ	(調査対象種)	
	タカネヒカゲ	(調査対象種)	
	ケバリラテハ	(調査対象種)	
	クモマベニヒカゲ	(調査対象種)	
	ツマシロヒヨウモン	(調査対象種)	
	553726	ヒメギフチョウ	(調査対象種)
		クモマツマキチョウ	(調査対象種)
ヒメキマダラセセリ		(調査対象種)	
ミヤマカラスアゲハ		(調査対象種)	
エソスジグロシロチョウ		(調査対象種)	
テングチョウ		(調査対象種)	
サカハチチョウ		(調査対象種)	
シータテハ		(調査対象種)	
ヒメキマダラヒカゲ		(調査対象種)	
クロヒカゲ		(調査対象種)	
モンキチョウ		(調査対象種)	
ルリシジミ		(調査対象種)	
サカハチチョウ		(調査対象種)	
ヒメギフチョウ		(調査対象種)	
553727		キアゲハ	(調査対象種)
		ウラクロシジミ	(調査対象種)
		フジドリシジミ	(調査対象種)
	エゾドリシジミ	(調査対象種)	
	フタスジチョウ	(調査対象種)	
553735	ヒメギフチョウ	(調査対象種)	
	ヒサマツミドリシジミ	(調査対象種)	
	オナガシジミ	(調査対象種)	
	ウラゴマダラシジミ	(調査対象種)	
	ヒサマツミドリシジミ	(調査対象種)	
553736	ウラゴマダラシジミ	(調査対象種)	
	オナガシジミ	(調査対象種)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	ギフチョウ	絶滅危惧II類 (VU)	
	ヒサマツミドリシジミ	(調査対象種)	
	ウラゴマダラシジミ	(調査対象種)	
553737	ヒサマツミドリシジミ	(調査対象種)	
	ギフチョウ	絶滅危惧II類 (VU)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	ツマキチョウ	(調査対象種)	
	ルリシジミ	(調査対象種)	
	スギタニルリシジミ	(調査対象種)	
553746	ギフチョウ	絶滅危惧II類 (VU)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	ヒサマツミドリシジミ	(調査対象種)	
	アオスジアゲハ	(調査対象種)	
	スジボソヤマキチョウ	(調査対象種)	
553820	モンキチョウ	(調査対象種)	
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)	
	モンシロチョウ	(調査対象種)	
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)	
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)	
	ベニシジミ	(調査対象種)	
	ルリシジミ	(調査対象種)	
	サカハチチョウ	(調査対象種)	
	シータテハ	(調査対象種)	
	ケバリラテハ	(調査対象種)	
	クジャクチョウ	(調査対象種)	
	ミヤマカラスアゲハ	(調査対象種)	
	ヤマキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	ケバリラテハ	(調査対象種)	
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	イチモンジセセリ	(調査対象種)	
	キアゲハ	(調査対象種)	
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)	
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)	
	ムモンアカシジミ	(調査対象種)	
	ベニシジミ	(調査対象種)	
	ルリシジミ	(調査対象種)	

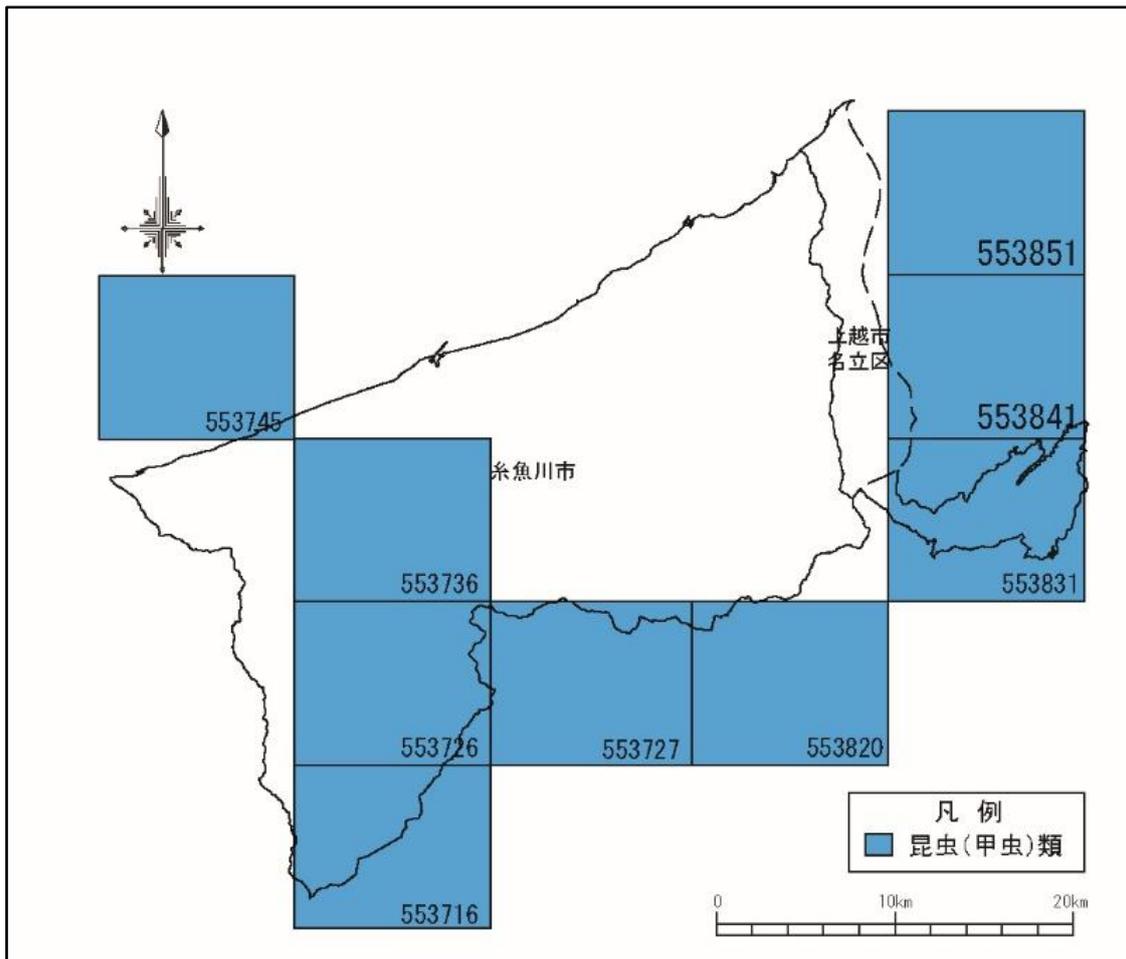
メッシュコード	種名	カテゴリ
553820	アサギマダラ	(調査対象種)
	ミドリヒヨウモン	(調査対象種)
	ギンボシヒヨウモン	(調査対象種)
	コムシジ	(調査対象種)
	ミスジチョウ	(調査対象種)
	サカハチチョウ	(調査対象種)
	クジャクチョウ	(調査対象種)
	アカタテハ	(調査対象種)
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	クロヒカゲ	(調査対象種)
	アカセセリ	絶滅危惧I類 (EN)
	イチモンジセセリ	(調査対象種)
	キアゲハ	(調査対象種)
	ミヤマカラスアゲハ	(調査対象種)
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)
	アサギマダラ	(調査対象種)
	コヒヨウモン	(調査対象種)
	ミドリヒヨウモン	(調査対象種)
	ウラギンヒヨウモン	(調査対象種)
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	クロヒカゲ	(調査対象種)
	ミスジチョウ	(調査対象種)
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	キチョウ	(調査対象種)
	モンキチョウ	(調査対象種)
	ベニシジミ	(調査対象種)
	ルリシジミ	(調査対象種)
	ヒメシジミ	(調査対象種)
	オウウラギンシジモウモン	(調査対象種)
	ミドリヒヨウモン	(調査対象種)
	メスグロヒヨウモン	(調査対象種)
	コムシジ	(調査対象種)
	サカハチチョウ	(調査対象種)
	ルリタテハ	(調査対象種)
	アカタテハ	(調査対象種)
	ヒメウラナミジャノメ	(調査対象種)
	ヒメキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	クロヒカゲ	(調査対象種)
	モンキチョウ	(調査対象種)
	エルタテハ	(調査対象種)
	クジャクチョウ	(調査対象種)
	ミヤマカラスアゲハ	(調査対象種)
	モンシロチョウ	(調査対象種)
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)
	サカハチチョウ	(調査対象種)
	ヤマキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	アサマシジミ	(調査対象種)
ケバリラテハ	(調査対象種)	
ヘリグロチャバネセセリ	(調査対象種)	
ヒメシジミ	(調査対象種)	
553821	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)
	ルリシジミ	(調査対象種)
	クジャクチョウ	(調査対象種)
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)
	ルリシジミ	(調査対象種)
	スギタニルリシジミ	(調査対象種)
	サカハチチョウ	(調査対象種)
	クジャクチョウ	(調査対象種)
	ヘリグロチャバネセセリ	(調査対象種)
	ヒメキマダラセセリ	(調査対象種)
	イチモンジセセリ	(調査対象種)
	モンキチョウ	(調査対象種)
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)
	ミドリシジミ	(調査対象種)
	ベニシジミ	(調査対象種)
	ルリシジミ	(調査対象種)
	ヒメシジミ	(調査対象種)
	ヘリグロチャバネセセリ	(調査対象種)
	コキマダラセセリ	(調査対象種)
	イチモンジセセリ	(調査対象種)
	スジボソヤマキチョウ	(調査対象種)
	モンキチョウ	(調査対象種)
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)
ベニシジミ	(調査対象種)	
ルリシジミ	(調査対象種)	
553822	ウラギンシジモウモン	絶滅危惧II類 (VU)
	ミドリヒヨウモン	(調査対象種)
	ウラギンヒヨウモン	(調査対象種)
	イチモンジチョウ	(調査対象種)
	シータテハ	(調査対象種)
	ヒメウラナミジャノメ	(調査対象種)
	ウスバシロチョウ	(調査対象種)
	ツマキチョウ	(調査対象種)
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)
	スギタニルリシジミ	(調査対象種)
	ウスバシロチョウ	(調査対象種)
	ツマキチョウ	(調査対象種)
	スジグロシロチョウ	(調査対象種)
	コツバメ	(調査対象種)
	クモマツマキチョウ	(調査対象種)
	ミヤマカラスアゲハ	(調査対象種)
	モンキチョウ	(調査対象種)
	モンシロチョウ	(調査対象種)
	エソスジグロシロチョウ	(調査対象種)
	サカハチチョウ	(調査対象種)
	ヤマキマダラヒカゲ	(調査対象種)
	ヒメシジミ	(調査対象種)
	コヒヨウモン	(調査対象種)
イチモンジチョウ	(調査対象種)	
アサマイチモンジ	(調査対象種)	
ギンイチモンジセセリ	準絶滅危惧 (NT)	

メッシュコード	種名	カテゴリ	
553821	オオルリシジミ	(調査対象種)	
	アサマシジミ	(調査対象種)	
553830	クモツマキチョウ	(調査対象種)	
553831	ルリシジミ	(調査対象種)	
	ヒメシジミ	(調査対象種)	
	ギンイチモンジセセリ	準絶滅危惧(NT)	
	コチャバナセセリ	(調査対象種)	
	ベニシジミ	(調査対象種)	
	コムシジ	(調査対象種)	
	ヒメウラナミジャノメ	(調査対象種)	
	クロヒカゲ	(調査対象種)	
	ウラゴマダラシジミ	(調査対象種)	
	ヒメウラナミジャノメ	(調査対象種)	
	クロヒカゲ	(調査対象種)	
	イチモンジチョウ	(調査対象種)	
	アサマイチモンジ	(調査対象種)	
	コムシジ	(調査対象種)	
	ヒメウラナミジャノメ	(調査対象種)	
	ヤマキマダラヒカゲ	(調査対象種)	
	ギンイチモンジセセリ	準絶滅危惧(NT)	
	オオルリシジミ	(調査対象種)	
	553850	アオスジアゲハ	(調査対象種)
		キアゲハ	(調査対象種)
クロアゲハ		(調査対象種)	
アカタテハ		(調査対象種)	



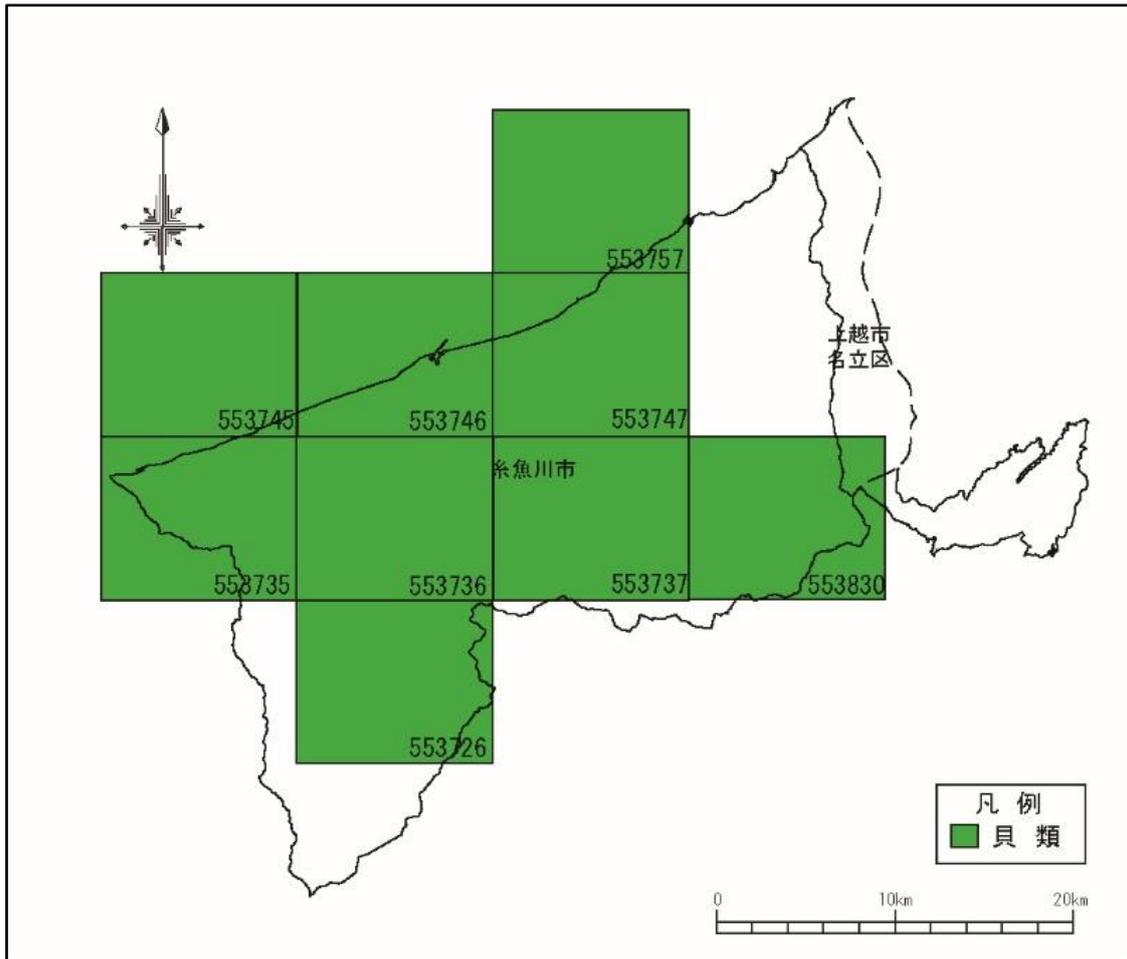
図一 17(6) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（昆虫（トンボ）類）
 （資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 昆虫（トンボ）類
 環境省自然環境局 平成14年）

メッシュコード	種名	カテゴリ
553746	ヒメクロサナエ	(調査対象種)
	サラサヤンマ	(調査対象種)
	クロスジギンヤンマ	(調査対象種)
	ギンヤンマ	(調査対象種)
	トラフトンボ	(調査対象種)
	シオカトンボ	(調査対象種)
	シオヤトンボ	(調査対象種)
	オオシオカトンボ	(調査対象種)
	ヨツボシトンボ	(調査対象種)
	ショウジョウトンボ	(調査対象種)
	キトンボ	(調査対象種)
	コシアキトンボ	(調査対象種)
	ホンサナエ	(調査対象種)
	クロサナエ	(調査対象種)
	ヒメクロサナエ	(調査対象種)
	ミルンヤンマ	(調査対象種)
	ギンヤンマ	(調査対象種)
	ハラビロトンボ	(調査対象種)
	シオカトンボ	(調査対象種)
	ショウジョウトンボ	(調査対象種)
	コシアキトンボ	(調査対象種)
	チョウトンボ	(調査対象種)
	ルリボシヤンマ	(調査対象種)
	オオルルリボシヤンマ	(調査対象種)
	マルタンヤンマ	(調査対象種)
	タカネトンボ	(調査対象種)
	ミヤマアカネ	(調査対象種)
	ナツアカネ	(調査対象種)
	アキアカネ	(調査対象種)
	マイコアカネ	(調査対象種)
	マユタテアカネ	(調査対象種)
	ネキトンボ	(調査対象種)
	ハネビロトンボ	(調査対象種)
	アオモンイトトンボ	(調査対象種)
	エノイトトンボ	(調査対象種)
	モノサシトンボ	(調査対象種)
	アオイトトンボ	(調査対象種)
	ハグロトンボ	(調査対象種)
	モイワサナエ	(調査対象種)
	ウチワヤンマ	(調査対象種)
	サラサヤンマ	(調査対象種)
	マダラヤンマ	準絶滅危惧 (NT)
	クロスジギンヤンマ	(調査対象種)
	オオシオカトンボ	(調査対象種)
	ヨツボシトンボ	(調査対象種)
	リスアカネ	(調査対象種)
	コノシメトンボ	(調査対象種)
	キトンボ	(調査対象種)
	アジアイトトンボ	(調査対象種)
	クロイトトンボ	(調査対象種)
	ルリイトトンボ	(調査対象種)
	モノサシトンボ	(調査対象種)
	コサナエ	(調査対象種)
シオヤトンボ	(調査対象種)	
コフキトンボ	(調査対象種)	
ウスバキトンボ	(調査対象種)	
モノサシトンボ	(調査対象種)	
ギンヤンマ	(調査対象種)	
コフキトンボ	(調査対象種)	
チョウトンボ	(調査対象種)	
553820	ルリボシヤンマ	(調査対象種)
	アキアカネ	(調査対象種)
	カオジロトンボ	(調査対象種)
	ルリボシヤンマ	(調査対象種)
	アキアカネ	(調査対象種)
	カオジロトンボ	(調査対象種)
553821	クロイトトンボ	(調査対象種)
	エノイトトンボ	(調査対象種)
	モノサシトンボ	(調査対象種)
	オツネイトトンボ	(調査対象種)
	アオイトトンボ	(調査対象種)
	ヒガシカワトンボ	(調査対象種)
	ミヤマアカネ	(調査対象種)
	アキアカネ	(調査対象種)
	ノシメトンボ	(調査対象種)
553830	カオジロトンボ	(調査対象種)
553840	タカネトンボ	(調査対象種)
	ヒメアカネ	(調査対象種)



図一 17(7) 富山湾沿岸（新潟県エリア）その他の貴重な動物の分布状況（昆虫（甲虫）類）
 （資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 昆虫（甲虫）類
 環境省自然環境局 平成14年）

メッシュコード	種名	カテゴリ	
553716	マメゲンゴロウ	(調査対象種)	
	カラカネハナカミキリ	(調査対象種)	
	チャイロヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ニセフタオビチビハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ムネアカヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	シラネヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ハクバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	アサマヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ブービヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ムネモンヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	オオヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	チャボハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミヤマクロハナカミキリ	(調査対象種)	
	ルリハナカミキリ	(調査対象種)	
	ブチゲハナカミキリ	(調査対象種)	
	ツマグロハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヨツスジハナカミキリ	(調査対象種)	
	フタスジハナカミキリ	(調査対象種)	
	アオバホソハナカミキリ	(調査対象種)	
	ニンフホソハナカミキリ	(調査対象種)	
	キヌツヤハナカミキリ	(調査対象種)	
	ニセフタオビチビハナカミキリ	(調査対象種)	
	オヤマヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ムネアカヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	シラネヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ハクバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	アサマヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒスイヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	フライヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	シラネヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ムネアカヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	クモマハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ハクバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	553726	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)
		キベリクロヒメハナカミキリ	(調査対象種)
ヒスイヒメハナカミキリ		(調査対象種)	
553727	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	カラカネハナカミキリ	(調査対象種)	
	キハネニセハムシハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒナリハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
553736	ナガバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	マガタマハンミョウ	(調査対象種)	
	チャイロヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	トウホクヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	フトエリマキヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
553745	ナガバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒスイヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒスイヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
553820	ナガバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒメオオクワガタ	(調査対象種)	
	アカアシクワガタ	(調査対象種)	
	コルリクワガタ	(調査対象種)	
	カラカネハナカミキリ	(調査対象種)	
	キハネニセハムシハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒナリハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ナガバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒメオオクワガタ	(調査対象種)	
	フタオビチビハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ミワヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	シラネヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	アサマヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ナガバヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
553831	コルリクワガタ	(調査対象種)	
	マガタマハンミョウ	(調査対象種)	
	チャイロヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	セスジヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ムネアカヨコモシヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	マツシタヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	アサマヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
	ヒスイヒメハナカミキリ	(調査対象種)	
マガタマハンミョウ	(調査対象種)		



図一 17(8) 富山湾沿岸（新潟県エリア）におけるその他の貴重な動物の分布状況（貝類）

（資料：第5回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 陸産及び淡水産貝類（上）
 動物分布調査報告書 陸産及び淡水産貝類（下）
 環境省自然環境局 平成14年）

メッシュコード	種名	カテゴリ
553726	ツムガタギセル (亜種)	(調査対象種)
	カガキビ (亜種)	(調査対象種)
553735	ビルスプリムシオイ (亜種)	(調査対象種)
	ウゼンゴマガイ (亜種)	(調査対象種)
	ヤマヤマタニシ (亜種)	絶滅危惧I類 (CR+EN)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オオケマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ミジンヤマタニシ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
553736	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	オオケマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ノトマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ムラヤママイマイ (亜種)	絶滅危惧I類 (CR+EN)
	オオタニシ (亜種)	準絶滅危惧 (NT)
	マルタニシ (亜種)	絶滅危惧II類 (VU)
	カワニナ (亜種)	(調査対象種)
	ツムガタモドキギセル (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	オオケマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ノトマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	キヌハダギセル (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	クイロベッコウ (亜種)	情報不足 (DD)
	ゴマガイ (亜種)	(調査対象種)
	カサキビ (亜種)	(調査対象種)
	ムラヤママイマイ (亜種)	絶滅危惧I類 (CR+EN)
	ヒカリギセル (亜種)	(調査対象種)
	ムラヤママイマイ (亜種)	絶滅危惧I類 (CR+EN)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	クチマガリスナガイ (亜種)	絶滅危惧II類 (VU)
	ツムガタギセル (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	マメシジミ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	クワイマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
ムラヤママイマイ (亜種)	絶滅危惧I類 (CR+EN)	
オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)	
553737	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
553745	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
553746	ヤマキサゴ (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ヤマキサゴ (亜種)	(調査対象種)
	ビルスプリムシオイ (亜種)	(調査対象種)
	キセルガイモドキ (亜種)	(調査対象種)
	ツムガタギセル (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	オオコウラナメクジ (亜種)	準絶滅危惧 (NT)
	ハクサンベッコウ (亜種)	情報不足 (DD)
	オオケマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	マメマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	クワイマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ゴマガイ (亜種)	(調査対象種)
	ミジンヤマタニシ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
オオケマイマイ (亜種)	(調査対象種)	
ウスカワマイマイ (亜種)	(調査対象種)	
オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)	
ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)	
553747	ヒメベッコウガイ (亜種)	(調査対象種)
553757	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
553757	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ナミギセル (亜種)	(調査対象種)
	シイボルトコギセル (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ニッポンマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ヒダリマキマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	ノトマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
	シイボルトコギセル (亜種)	(調査対象種)
	オゼマイマイ (亜種)	(調査対象種)
シイボルトコギセル (亜種)	(調査対象種)	
553830	ニホシマシジミ (亜種)	(調査対象種)

絶滅の恐れのある貴重な動物(鳥類)

(資料)

レッドデータブックにいがた 一新潟県の保護上重要な野生生物—

平成13年3月 新潟県環境生活部環境企画課

ペリカン目 ウ科

ウミウ

Phalacrocorax capillatus (Temminck & Schlegel)

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー

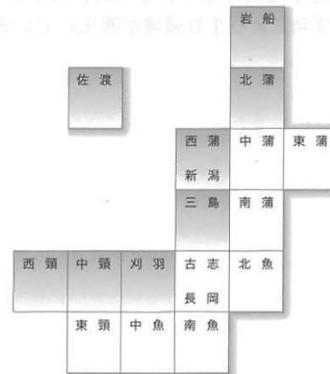
【選定理由】 減少

【形態と近似種】 全長約84cm。成鳥では体全体が緑がかった黒色で、幼鳥や若鳥では褐色味が強い。幼鳥は下面が白色で若鳥では淡褐色である。カワウに酷似している。

【分布の状況】 日本各地の海岸に留鳥として生息し、本州以北で繁殖する。本県では両津市北鶴島及び粟島の立島で、数つがい繁殖する。

【生息を脅かしている原因】 本県では繁殖に適した崖地が少なく、また漁網に掛って死亡する個体が相当数あるものと考えられる。

【特記事項】 粟島の繁殖地は国の天然記念物に指定されている。



カモ目 カモ科

コクガン

Branta bernicla orientalis Tugarinov

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー 絶滅危惧II類

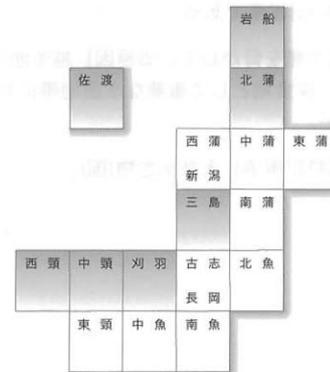
【選定理由】 環境悪化、希少

【形態と近似種】 全長約61cm。小型のガンでカルガモよりも少し大きい。脇下面是ほぼ白色で、その他は黒い。首に不規則な模様の白帯があり、嘴と足は黒い。シジュウカラガンに似るが、頬は白くない。

【分布の状況】 冬鳥として北日本へ渡来するが、渡来数はごく少ない。本県では佐渡や出雲崎港、県内各地の港湾ほか、内陸部では朝日池や瓢湖などの湖沼で観察されたことがある。

【生息を脅かしている原因】 港湾の改修など海岸の開発が生息環境悪化の原因となっている。

【特記事項】 天然記念物(国)。



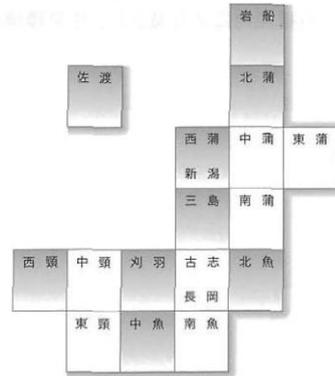
シノリガモ *Histrionicus histrionicus pacificus* Brooks

【選定理由】 環境悪化、希少

【形態と近似種】 全長約43cm。雄は体全体が灰青色で顔や体に白い斑紋がある。雌は全体が暗灰褐色で顔に3個の白濁斑がある。同じ様な環境で越冬するウミアイサは後頭部に冠羽があり、体が細いことで区別できる。

【分布の状況】 本州中部以北の岩礁地帯や小漁港へ冬鳥として渡来し、少数が本州北部の渓谷で繁殖している。本県には冬鳥として佐渡、粟島、北部の岩礁地帯、漁港などに少数が渡来するが、内陸部の小出町（魚野川）で見られたこともある。

【生息を脅かしている原因】 生息地となっている岩礁地帯の改変、港湾の改修などのほか、釣り人の立入りにより生息環境は悪化している。



ミサゴ *Pandion haliaëtus haliaëtus* (Linnaeus)

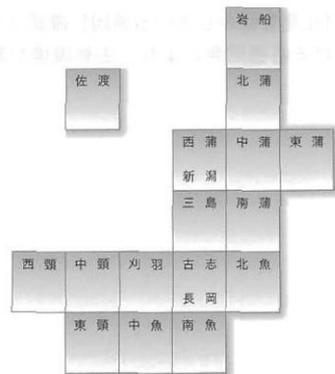
【選定理由】 環境悪化、希少

【形態と近似種】 全長約55～63cm。頭部は白く、背面は濃褐色で翼下面は白地に褐色の縦横帯があり、飛んでいる姿は白っぽく見える。

【分布の状況】 日本全土に分布する。本県では海岸や河川の周辺に生息し、秋・冬季には暖地へ移動するものが多い。主にアカマツの大木の頂きに営巣するが、山間地ではキタゴヨウに営巣する例もある。

【生息を脅かしている原因】 営巣木のアカマツの枯損や、河川の改変による餌場の消滅などが、生息環境悪化の原因となっている。

【特記事項】 営巣木の保護、餌場の保全が重要である。



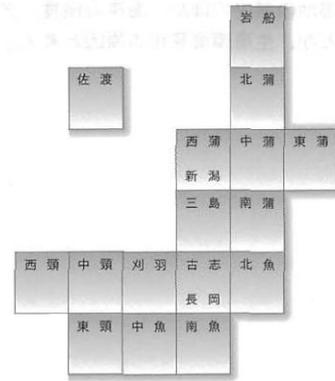
【選定理由】 環境悪化、希少

【形態と近似種】 全長約38~50cm。雄より雌の方が大きい。頭部から背面は青味がかかった灰黒色、下面は白くて黒い横斑が密に入り、顔にひげ状の黒斑がある。若鳥は背面が褐色を帯び、下面は薄い褐色で太い縦斑がある。

【分布の状況】 日本では九州以北で繁殖している。県内では佐渡、粟島をはじめ県北の山北町から県南の青海町まで岩壁のある海岸が主な繁殖地となっている。また、一部は内陸のダム湖や岩壁などでも繁殖している。渡りの時や冬期間は平野部の河川敷や水田、湖沼などにも普通に出現する。

【生息を脅かしている原因】 少ない繁殖場所の大半が景勝地の海岸にあるため、観光開発、道路建設、落石防止等の各種工事のほか、釣り人や観光客の立ち入りなどが生息を脅かしている。また、農業使用による餌動物の減少や、体内への汚染物質の蓄積なども繁殖を脅かしている原因であると考えられる。

【特記事項】 下田村八木鼻の繁殖地は県の天然記念物に指定されている。



絶滅の恐れのある貴重な動物(淡水魚類)

(資料)

レッドデータブックにいがた ―新潟県の保護上重要な野生生物―

平成13年3月 新潟県環境生活部環境企画課

トゲウオ目 トゲウオ科

イトヨ

Gasterosteus aculeatus aculeatus Linnaeus

新潟県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類
環境庁カテゴリー

【選定理由】 減少、環境悪化

【形態と近似種】 全長約10cm、背鰭には長い3本の独立した棘がある。腹鰭にも1対の長く鋭い棘がある。体側の鱗板は大きく、鰓蓋の後方から尾柄部まで連続している。遡河直後の体色は銀白色に輝き、背側は暗青色を帯びる。2～5月の繁殖期に営巣行動中の雄は、背部と虹彩は鮮やかな青色に、口から喉の部分は鮮紅色の婚姻色に彩られる。

【分布の状況】 北半球の亜寒帯から温帯にかけて広く分布し、日本海側では山口県を南限とする。春季に上越から下越、佐渡島に至る県内全域の流れの緩やかな河川に産卵のために遡上した。雄が水底に巣を作って卵や稚魚を保護することが知られているが、かつて平野部では水田にまで入り込んで営巣した。近年遡上数が激減しており、希少な存在となってきた。

【生息を脅かしている原因】 河川改修によって水草が繁茂した緩流部がなくなり、農地整備によって営巣場所がなくなった。農薬の使用や水質悪化も大きな影響を及ぼしたものとみられる。移入種のブルーギルによって、雄親が保護中の卵が食害されている水域もある。

【特記事項】 かつてイトヨ釣りは新潟平野の春の風物詩であり、イトヨは農村部の貴重な蛋白源でもあった。マーケットで安く売られているのは、他地方から持ち込まれた冷凍物である。魚野川水系には小型の陸封型が分布するが、人為的に持ち込まれた可能性が高い。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧Ⅰ類に変更

※和名をイトヨ→ニホンイトヨに変更 (2015年)

ヤツメウナギ目 ヤツメウナギ科

カワヤツメ

Lampetra (Lethenteron) japonica (von Martens)

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー

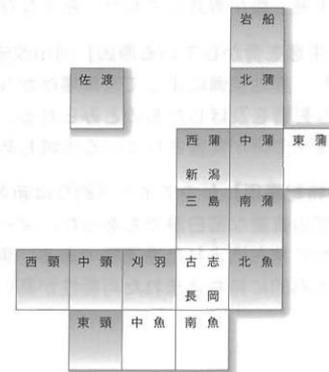
【選定理由】 減少、環境悪化

【形態と近似種】 全長約50～60cmに成長する。体は細長く、胸鰭や腹鰭がない。目の後ろに鰓孔が7対並び、吸盤状の口の中には円錐形の鋭い歯をもつ。体色は遡上直後は青みがかった銀色であるが、後に緑がかった褐色となる。幼生は数年間川底の泥の中で過ごし、その後海に下るが、海洋では魚に吸着して吸血する。川に遡上後は全く餌を摂らない。スナヤツメと似るが、幼生の段階でも筋節数が多く、尾鰭が黒色を帯びる点などで区別できる。

【分布の状況】 北海道から島根県、茨城県以北の本州に分布する。県内では、阿賀野川や信濃川などの大規模河川をはじめ、各地の中規模河川の中流域まで遡上するが、数は極端に減少してきている。

【生息を脅かしている原因】 ダムや取水堰などが海洋との往來の障害となっており、幼生期を過ごす河川環境の改変や、遡上親魚の漁獲も影響しているものと思われる。

【特記事項】 阿賀野川では冬期間に袋網(定置網)を使った専門の漁が行われている。信濃川下流部でも釜(ドウ)を使った漁があったが、資源量の減少により昭和50年代には行われなくなった。身にビタミンAを多量に含み、眼病の薬として珍重された。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧Ⅱ類に変更

ウナギ目 ウナギ科

ウナギ

Anguilla japonica Temminck et Schlegel

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー

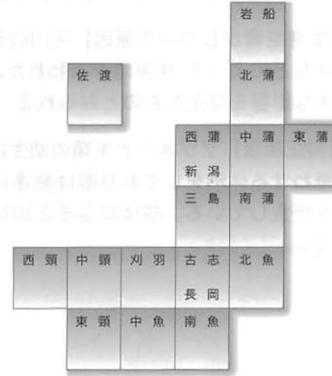
【選定理由】 減少、環境悪化

【形態と近似種】 全長約80～100cmに達し、体は円柱状で細長く、体色は暗褐色で腹面は銀白色である。腹鰭はなく、背鰭と尻鰭は尾鰭に連続する。近縁のオオウナギは背面と体側に不規則な斑紋があり、分布は南日本にかたよっていて県内には産しない。

【分布の状況】 日本全国の河川や湖沼に分布するが、新潟県、宮城県以北には少ない。県内では大部分の中規模、大規模河川に生息しているが大部分が放流されたものとみられ、近年天然遡上のシラスウナギ（ウナギの稚魚）は確認されていない。

【生息を脅かしている原因】 ダムや取水堰によって海との往来が阻害されたり、河川改修によって深みがなくなるなどの環境変化が最大の減少原因となっている。ウナギは食物連鎖の頂点に立っており、餌となる魚介類の減少や魚食魚の移入によって影響を受けたものと思われる。

【特記事項】 信濃川中流部などでは、川を下る際に発電用取水ダムに迷入し、タービンでたたかれて死亡した個体が発見されることがある。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧Ⅱ類に変更

※和名をウナギ→ニホンウナギに変更 (2015年)

スズキ目 ハゼ科

シロウオ

Leucopsarion petersii Hilgendorf

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー 準絶滅危惧

【選定理由】 減少、環境悪化、捕獲

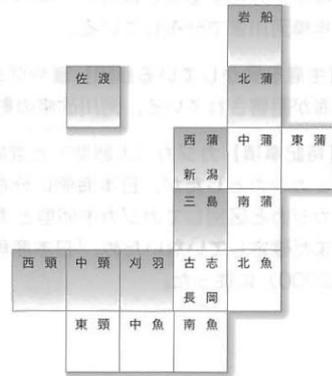
【形態と近似種】 体は細長くて全長約5cm、体色は透明で鱗はなく、内臓が透けてみえる。大平洋側に比べ、日本海側の個体が大きい傾向のあることが最近指摘されている。4～5月に川に遡上して産卵し、雌雄とも死亡する。

体が透明で名前も似通っているため、サケ目のシラウオと混同されることがある。

【分布の状況】 北海道南部から鹿児島県までの日本各地に分布。県内では岩船地方から西頸城地方まで、各地の小河川で遡上が確認されており、三面川や荒川、加治川などの中規模河川でも生息が確認されている。

【生息を脅かしている原因】 河川、特に河口域の環境悪化によって、遡上河川が減少している。また、春季に産卵遡上する親魚の漁獲も影響していると思われる。

【特記事項】 県内ではイサザやシラスと呼ばれている。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧Ⅱ類に変更

カサゴ目 カジカ科

カマキリ

Cottus kazika Jordan et Starks

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー

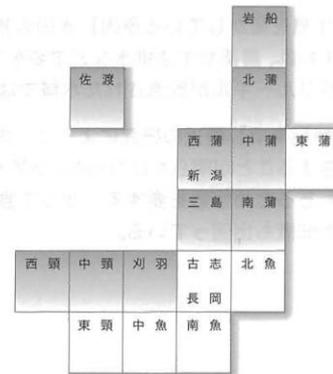
【選定理由】 減少、環境悪化

【形態と近似種】 全長20cmを越す巨大なカジカの仲間、頭部が著しく大きい。本種の小型個体は他のカジカ類に似るが、鰓蓋の後縁の4本の棘が特徴的である。背側の1本は特に大きく曲がっており、この鉤状の棘でアユを引っかけて捕らえるという説からアユカケの名もある。体側に4本の暗色横帯があり、水底の石の間にじっとしていると発見しにくい。

【分布の状況】 秋田県以西の本州、四国、九州に分布する。福井県の九頭竜川ではアラレガゴと呼ばれ、一部で天然記念物に指定されている。県内では河川の中流域や山が海に迫る小規模河川を中心に生息するが、個体数は減少傾向にある。かつて阿賀野川や信濃川では、福島県や長野県まで遡上したという。

【生息を脅かしている原因】 成熟個体は秋になると川を下り、河口付近や沿岸域で繁殖するが、付近の環境変化による影響を受けている。また、堰やダムなどの河川横断構造物によって遡河、降海が阻害されている。遡上能力が弱く、魚道があっても上れないことが多い。

【特記事項】 荒川や加治川、阿賀野川、関川などでは、途中の取水堰まで遡上しているが、その上ではほとんど確認できない。



※和名をカマキリ→カマキリ（アユカケ）に変更（2015年）

カサゴ目 カジカ科

ウツセミカジカ

Cottus reinii Hilgendorf

新潟県カテゴリー 準絶滅危惧
環境庁カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

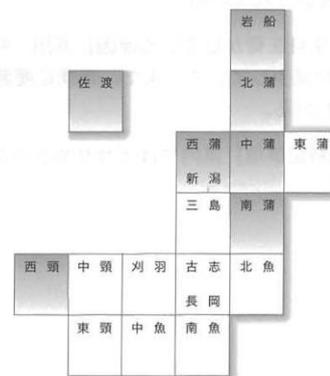
【選定理由】 減少、環境悪化

【形態と近似種】 成長すると全長15cmを越す回遊性のカジカの一つである。他のカジカ類と同様、腹鰭の鰭条は融合して碇状になっており、胸鰭が大きく目立つ。カジカ（大卵型）とよく似るが、胸鰭条数が14~16条と多く（大卵型は12~14）、眼から頬にかけて明瞭な黒条をもつ。カンキョウカジカやハナカジカとは腹鰭に目立つ横じまがないこと、カマキリとは鰓蓋の棘が1本であることなどで区別できる。

【分布の状況】 北海道から石川県に至る日本海側の河川の中流域から下流域に分布し、カジカ（大卵型）のように上流域まで分布することはない。県内では、大規模、中規模河川から佐渡島の小規模河川まで分布している。

【生息を脅かしている原因】 堰やダムなどの河川横断構造物によって遡河、降海が阻害されている。河川改修の影響も受けやすい。

【特記事項】 カジカ（大卵型）と混同されている場合が多い。本書ではウツセミカジカとしたが、日本海側に分布する回遊性のものを琵琶湖産のウツセミカジカと区別してカジカ中卵型とする説がある。カジカ類の分類については、まだ確定していないため、「日本産魚類検索 全種の同定 第二版」（中坊（編），2000）に従った。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧Ⅱ類に変更

※和名をウツセミカジカ→カジカ中卵型に変更（2015年）

【選定理由】 局限・孤立

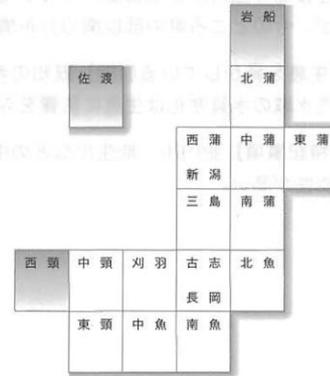
【形態と近似種】 全長8cmほど、他のハゼ類同様左右の腹鰭は癒合して吸盤状になっており、水底の石に吸いつくことができる。岩壁に吸着して急な滝を上ることもある。体の斑紋は、成熟した雄では黒味を帯びて不鮮明になる。

県内には5種のヨシノボリ類が分布しているが、本種は体側中央にとぎれた黒点列があるほか、背側の小黒点や尾鰭の近くの細いY字状の斑紋、尾鰭の中央にだけ点列があることが特徴的である。

【分布の状況】 千葉県、山形県から南西諸島にかけて分布し、県内では佐渡島の外海府の2河川と県北、県南の2河川だけから確認されている。本県が分布の北限とみられていたが、最近県北の産地に近い山形県内の小河川でもみつがっている。生息河川はいずれも山地流のまま海へ注ぐ流程の短い小河川である。

【生息を脅かしている原因】 現在のところ特に減少要因はみあたらないが、堰堤など落差のある河川構築物は、生息に影響を与えると考えられる。

【特記事項】 分布の中心は黒潮の洗う西南日本にある。県内の生息河川では、多数のルリヨシノボリが混棲しており、クロヨシノボリはごく少ない。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より絶滅危惧I類に変更

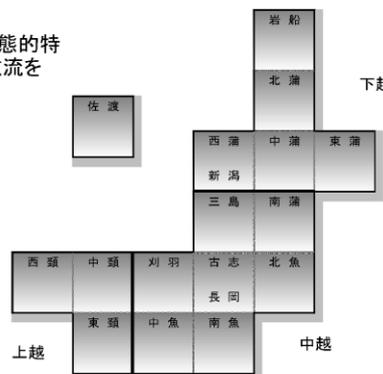
【選定理由】 減少、環境悪化、捕獲採取、その他

【形態と近似種】 全長40~60cm。体の背面に黒点が散在するが、頭部背面では小黒点がないか、あってもごくわずかである。背鰭や尾鰭には黒点がなく、体側に朱点はない。幼魚の体側には、パーマークと呼ばれる小判状の斑紋がある。

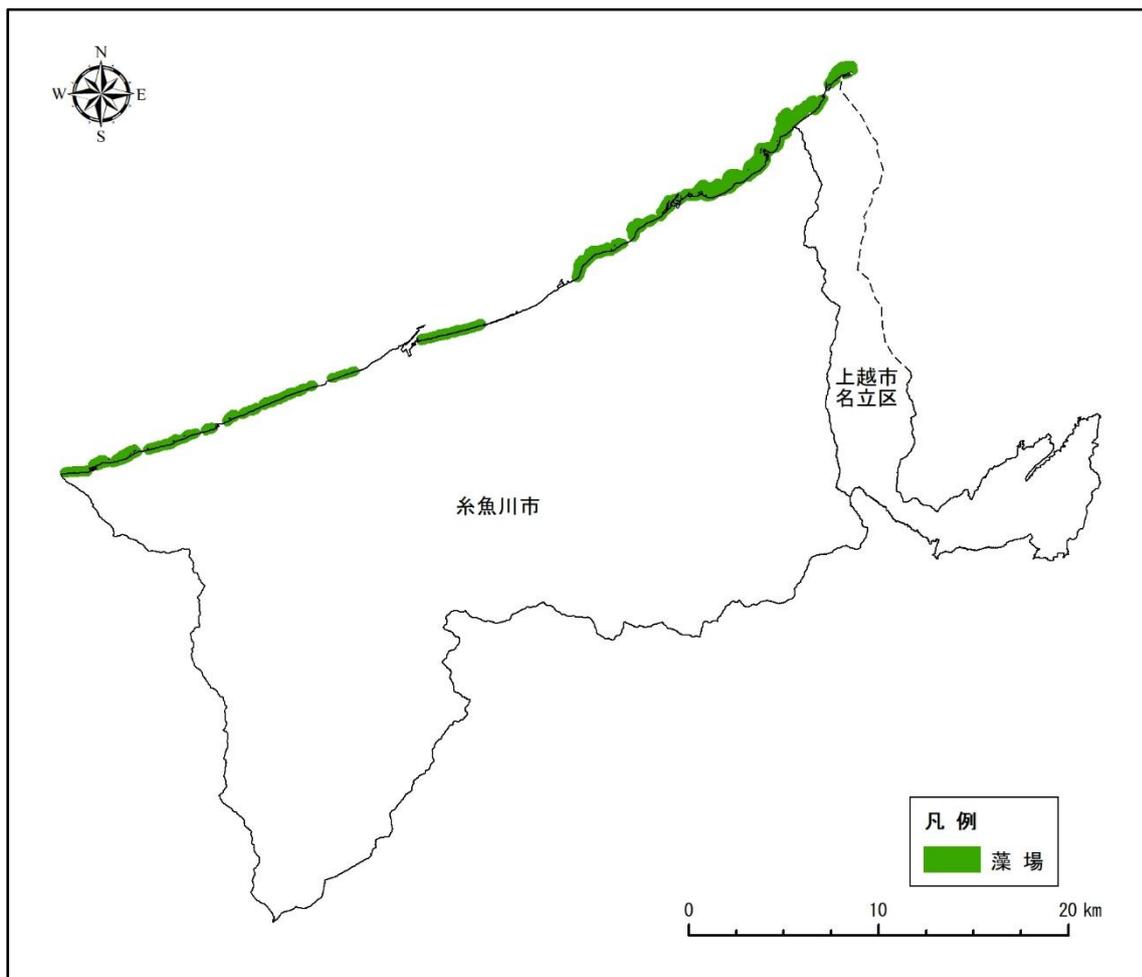
【分布の状況】 北海道、神奈川県・山口県以北の本州および九州に分布する。サクラマスの幼魚は1から2年を河川で過ごし、海に降りるが、一生を淡水域で過ごす個体(ヤマメ)もいる。新潟県では、河川の上流域から中流域に生息する。

【生息を脅かしている原因】 捕獲採取、河川の改変、移入種の侵入、その他

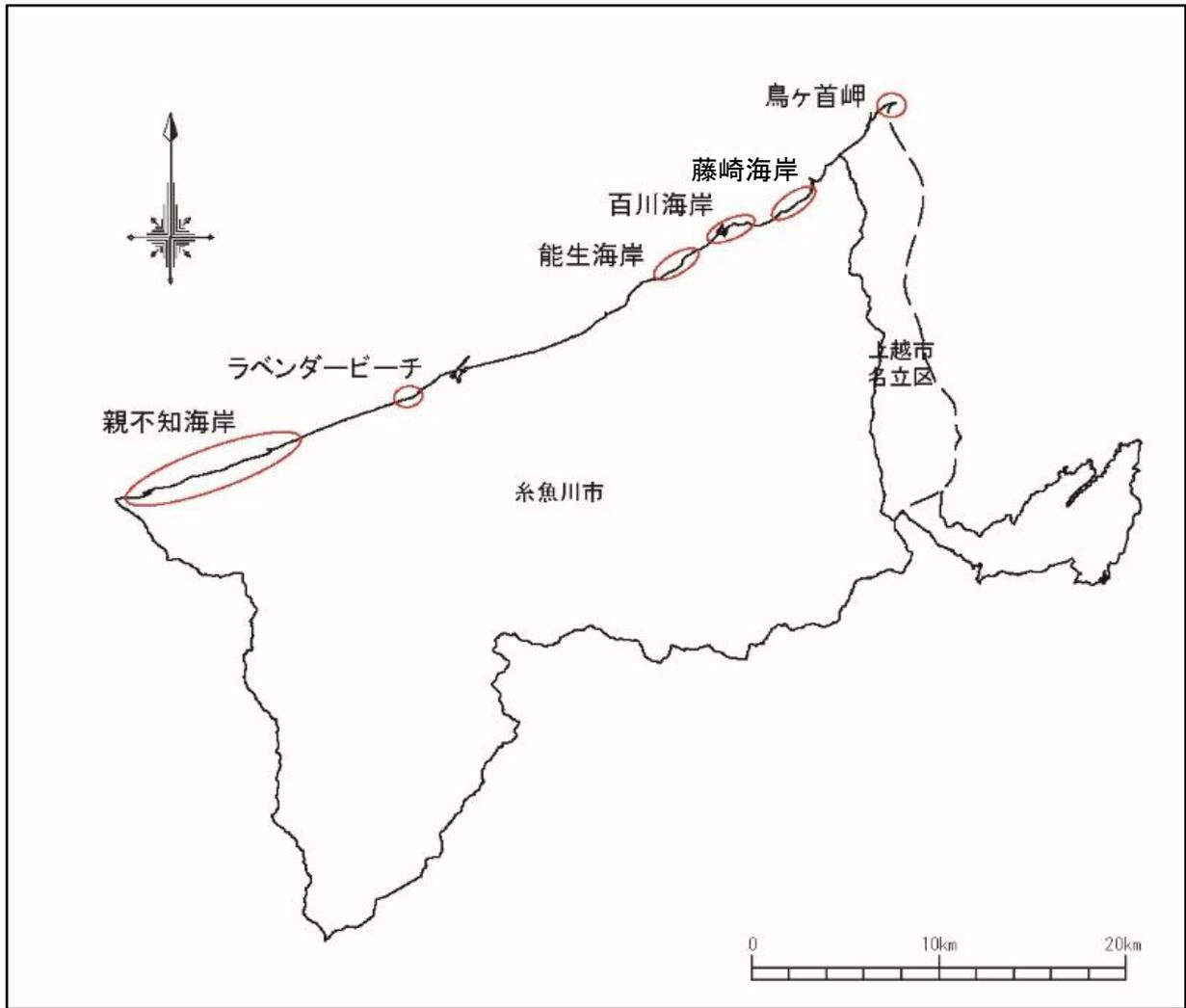
【特記事項】 生息環境の悪化や移動阻害による個体数の減少に加えて、生態的特徴が類似した放流ニジマスとの競合や、生息河川以外のヤマメやアマゴの放流を原因とした遺伝子攪乱も危惧されている。



※新潟県第2次レッドリスト(2015年10月)より新規掲載

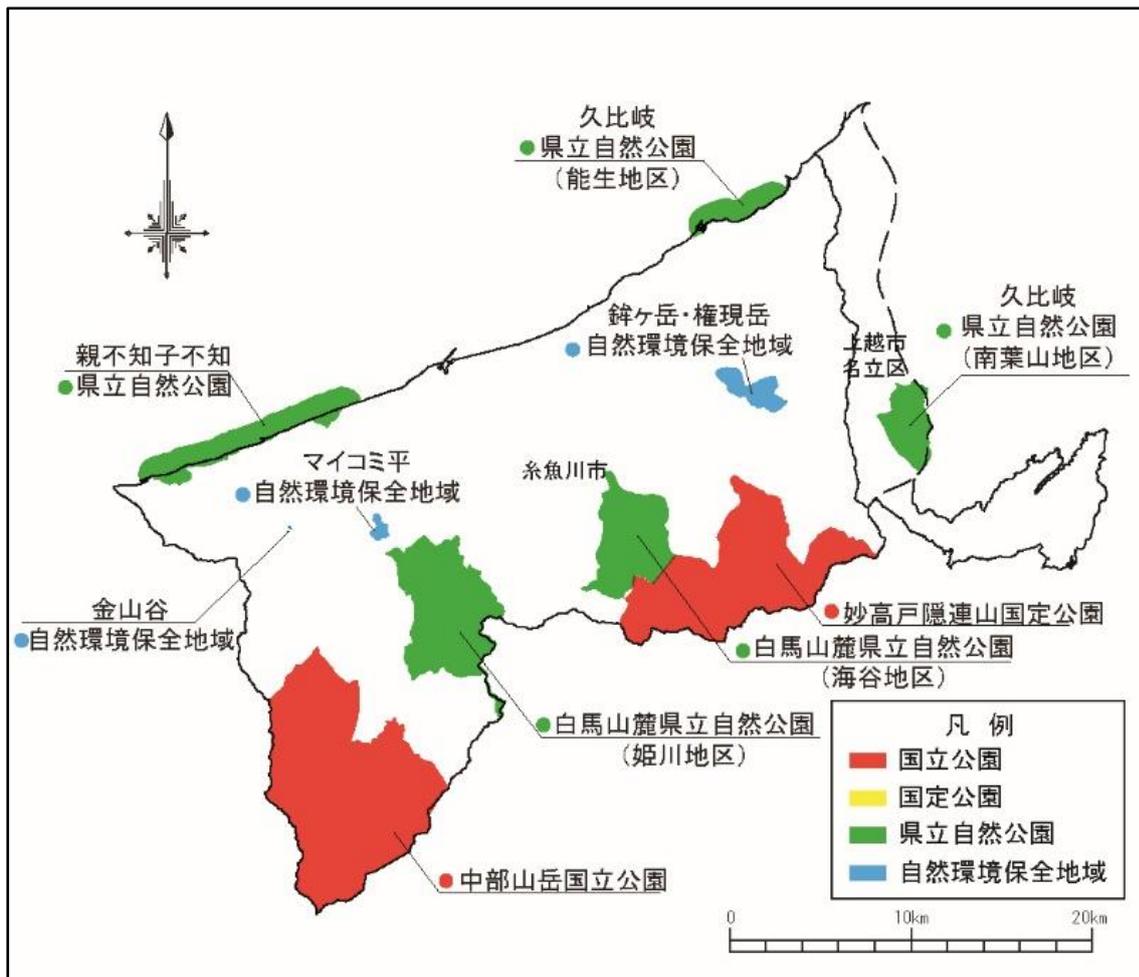


図－18 富山湾沿岸（新潟県エリア）における藻場の分布状況
 （資料：藻場調査（2018～2020年度） 環境省自然環境局）



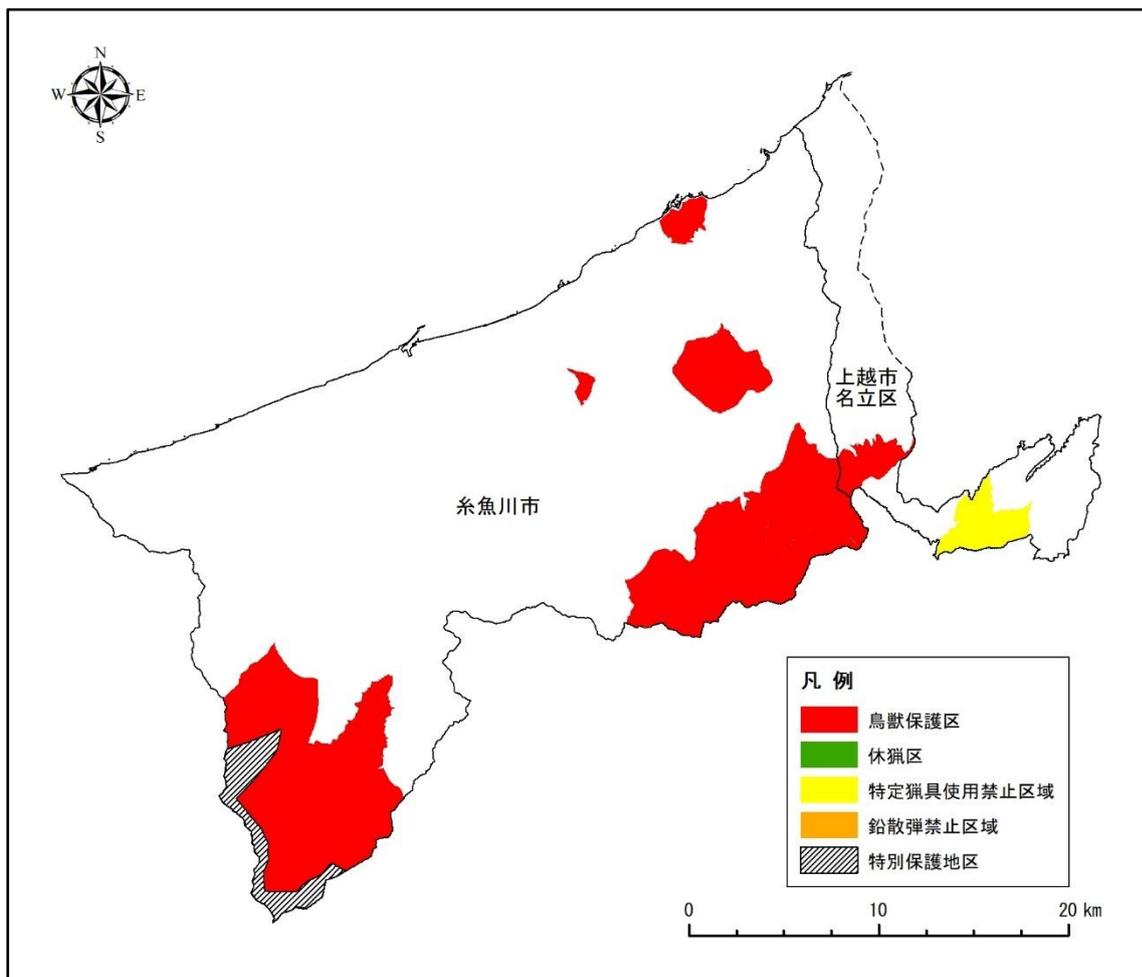
図－ 19 富山湾沿岸（新潟県エリア）における良好な海岸景観の分布状況

（資料：新潟県観光大百科 新潟県商工労働部観光課 平成 9 年
新潟県水環境保全基本方針 新潟県環境対策課 平成 11 年）

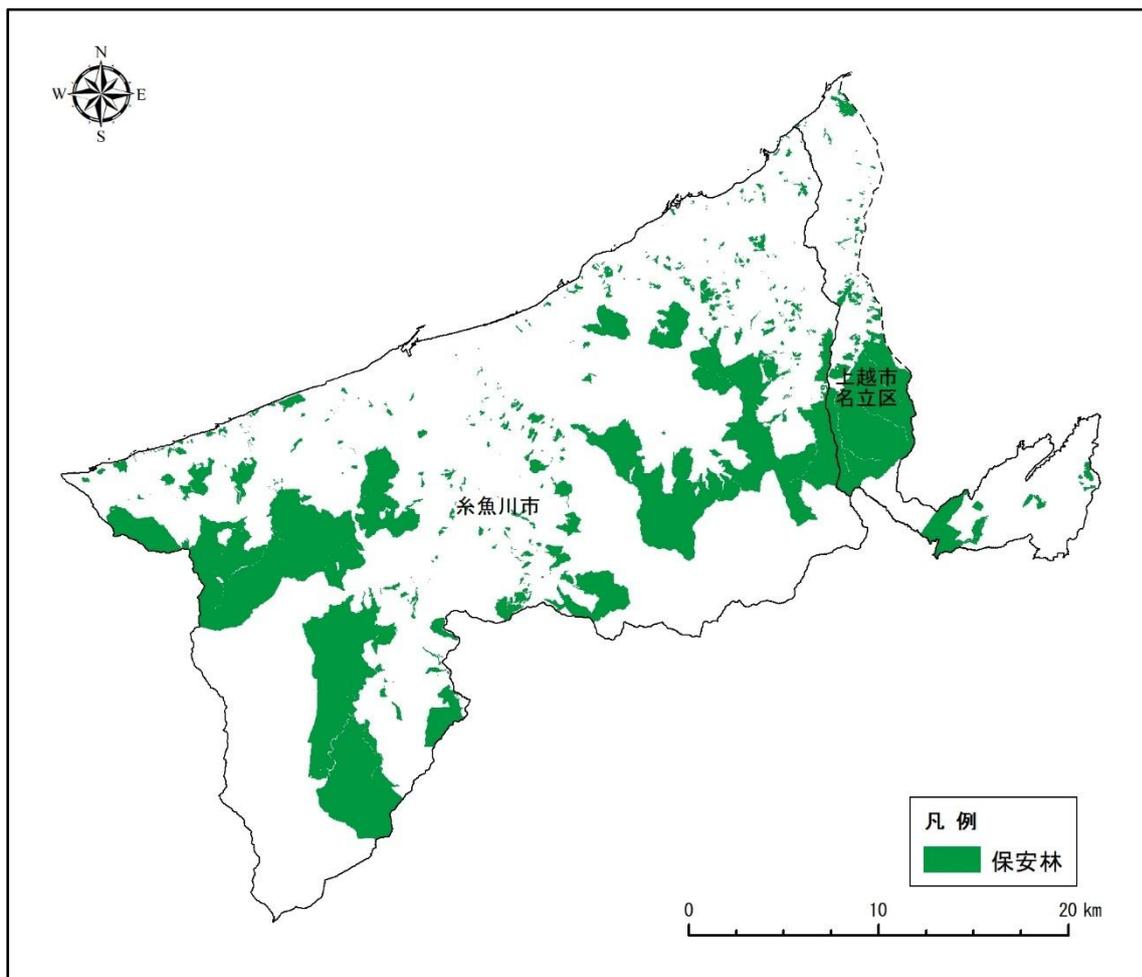


図一 20 富山湾沿岸（新潟県エリア）における自然公園等の指定状況

（資料：新潟県自然公園配置図 令和4年）



図－ 21 富山湾沿岸（新潟県エリア）における鳥獣保護区の指定状況
 （資料：新潟県鳥獣保護区等位置図 令和7年度）



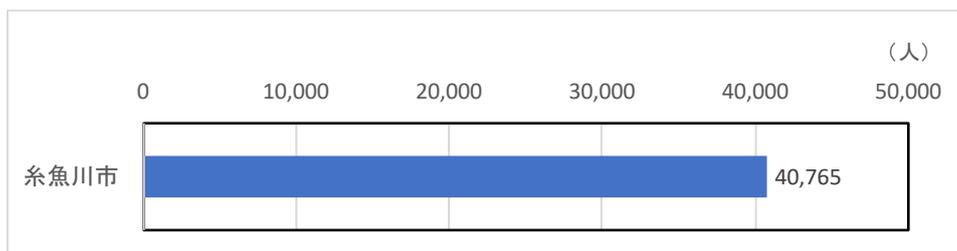
図一 22 富山湾沿岸（新潟県エリア）における保安林の指定状況

（資料：国土数値情報 森林地域データ 国土交通省国土政策局国土情報課 平成 27 年度）

表－7 国勢調査人口の推移

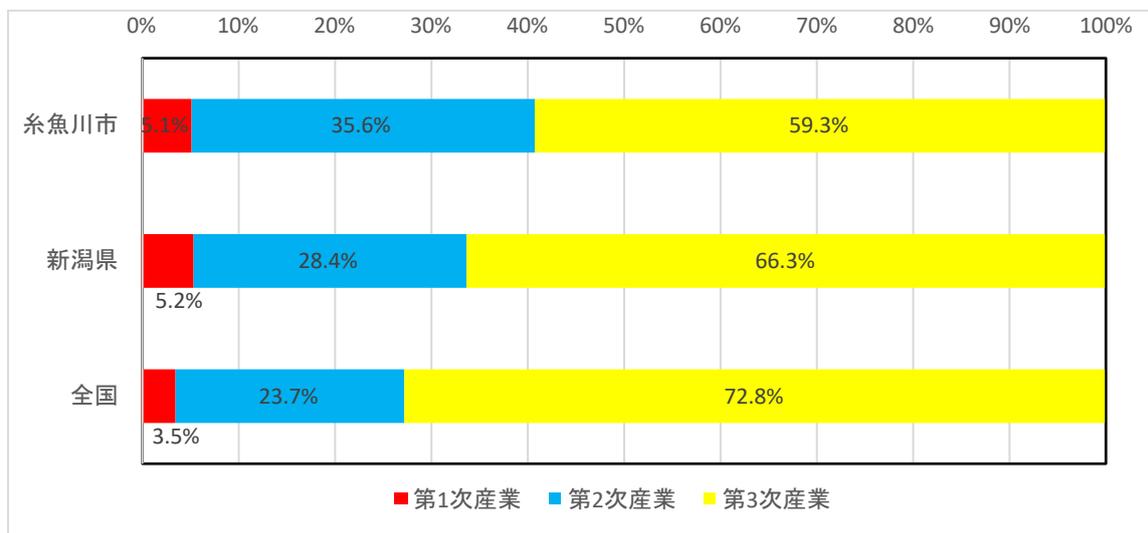
(資料：R2.10.1 国勢調査)

	国勢調査人口(人)					対H12年増減比(%)				対前回増減比(%)			
	H12	H17	H22	H27	R2	H17	H22	H27	R2	H17	H22	H27	R2
糸魚川市	53,021	49,844	47,702	44,162	40,765	-6.0%	-10.0%	-16.7%	-23.1%	-6.0%	-4.3%	-7.4%	-7.7%



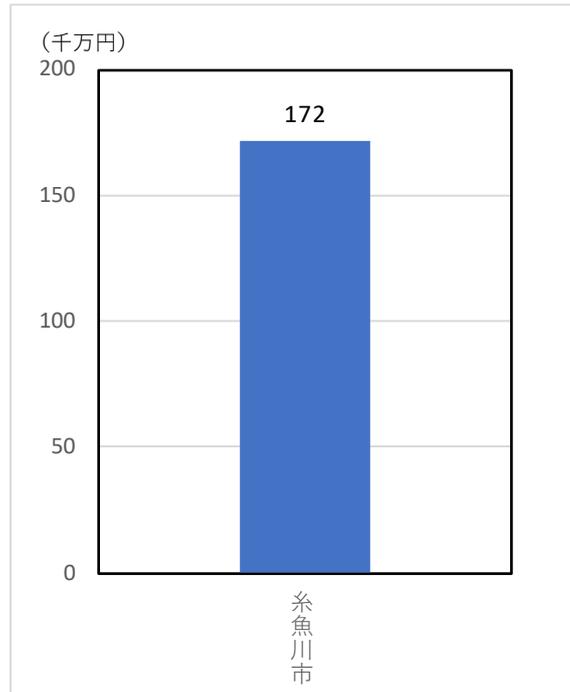
図－23 国政調査人口

(資料：R2.10.1 国勢調査)



図－24 産業別就業比率

(資料：R2.10.1 国勢調査)



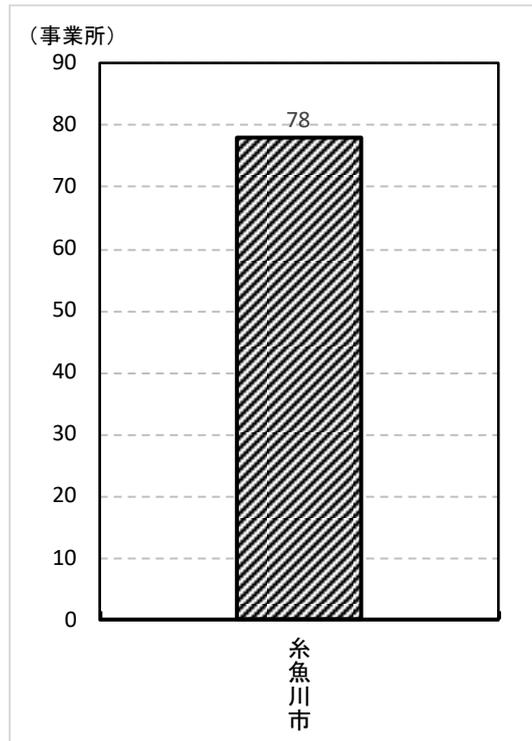
図一 25 農業粗生産額

(資料:市町村別農業産出額(推計) 農林水産省 令和5年)

表一 8 漁港別の陸揚量および金額 (属地)

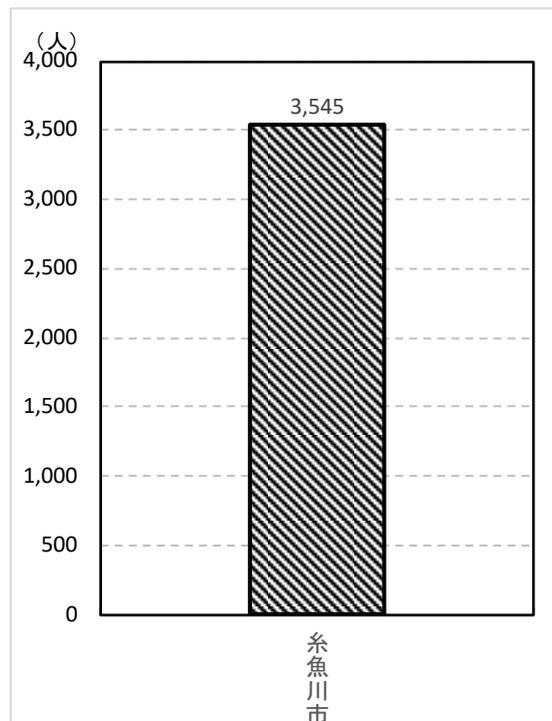
市町村名	漁港名	令和5年	
		属地陸揚量 (トン)	属地陸揚金額 (百万円)
上越市	名立	69.9	103
	計	69.9	103
糸魚川市	筒石	434.2	313
	能生	679.2	836
	鬼舞	0.0	0
	浦本	76.9	83
	大和川	0.0	0
	親不知	205.0	85
	市振	201.0	95
	計	1,596.3	1,412
富山湾沿岸計		1,666.2	1,515

(資料:令和5年港勢調査 新潟県農林水産部漁港課)



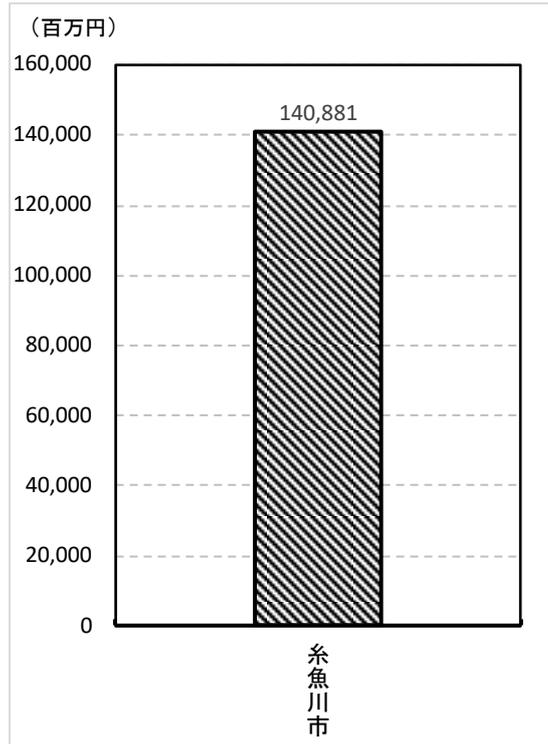
図一 26 製造業事業所数

(資料：経済センサス - 活動調査 (製造業) 令和3年)



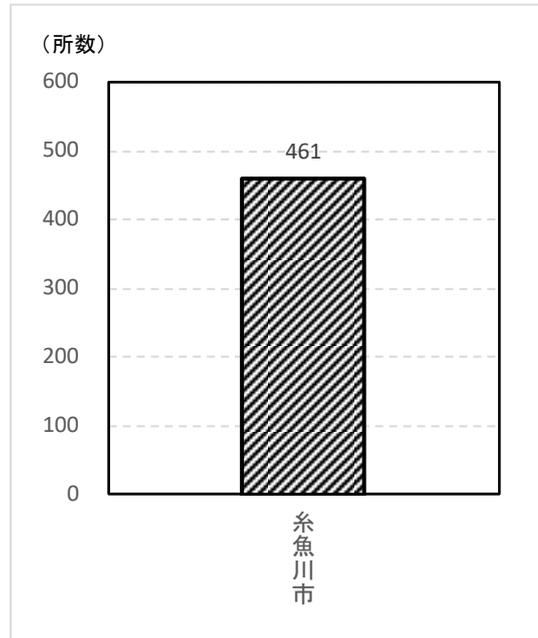
図一 27 製造業従業員数

(資料：経済センサス - 活動調査 (製造業) 令和3年)



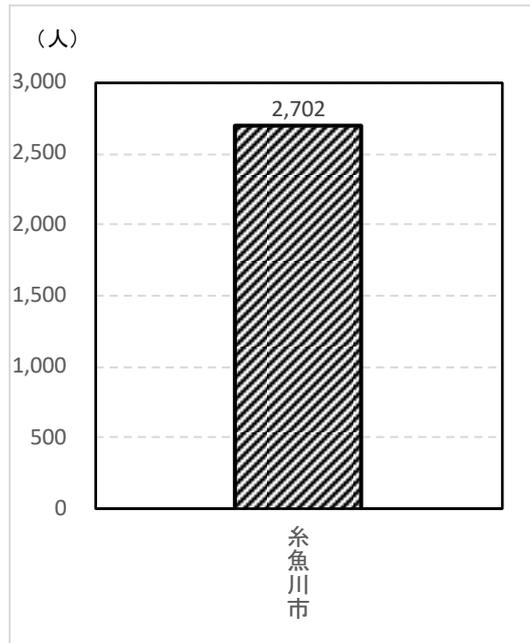
図一 28 製造品出荷額等

(資料：経済センサス - 活動調査 (製造業) 令和3年)



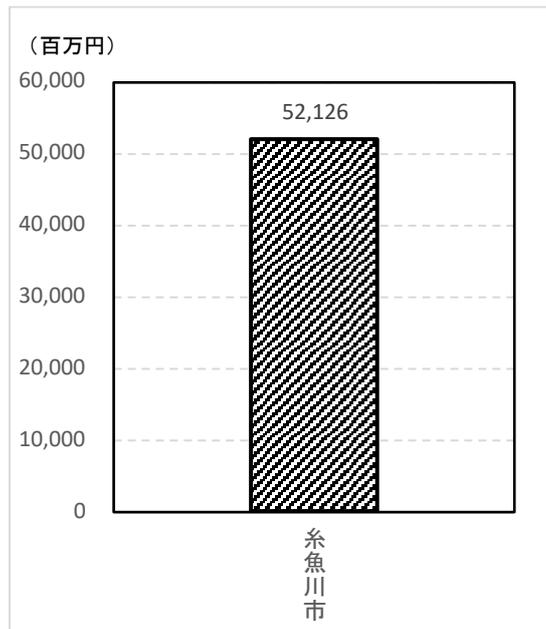
図一 29 商店数

(資料：経済センサス - 活動調査 (卸売業, 小売業) 令和3年)



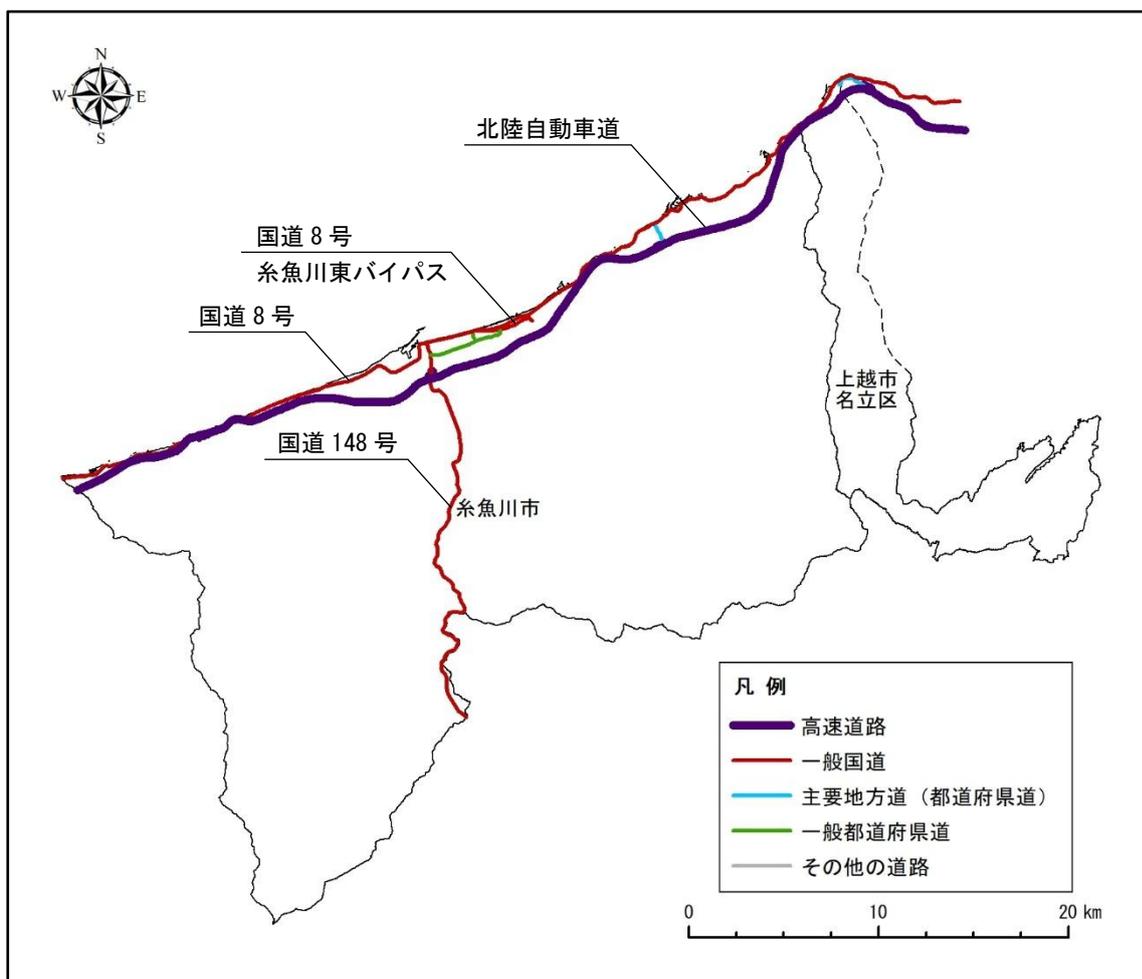
図一 30 商店従業員数

(資料：経済センサス - 活動調査 (卸売業, 小売業) 令和3年)



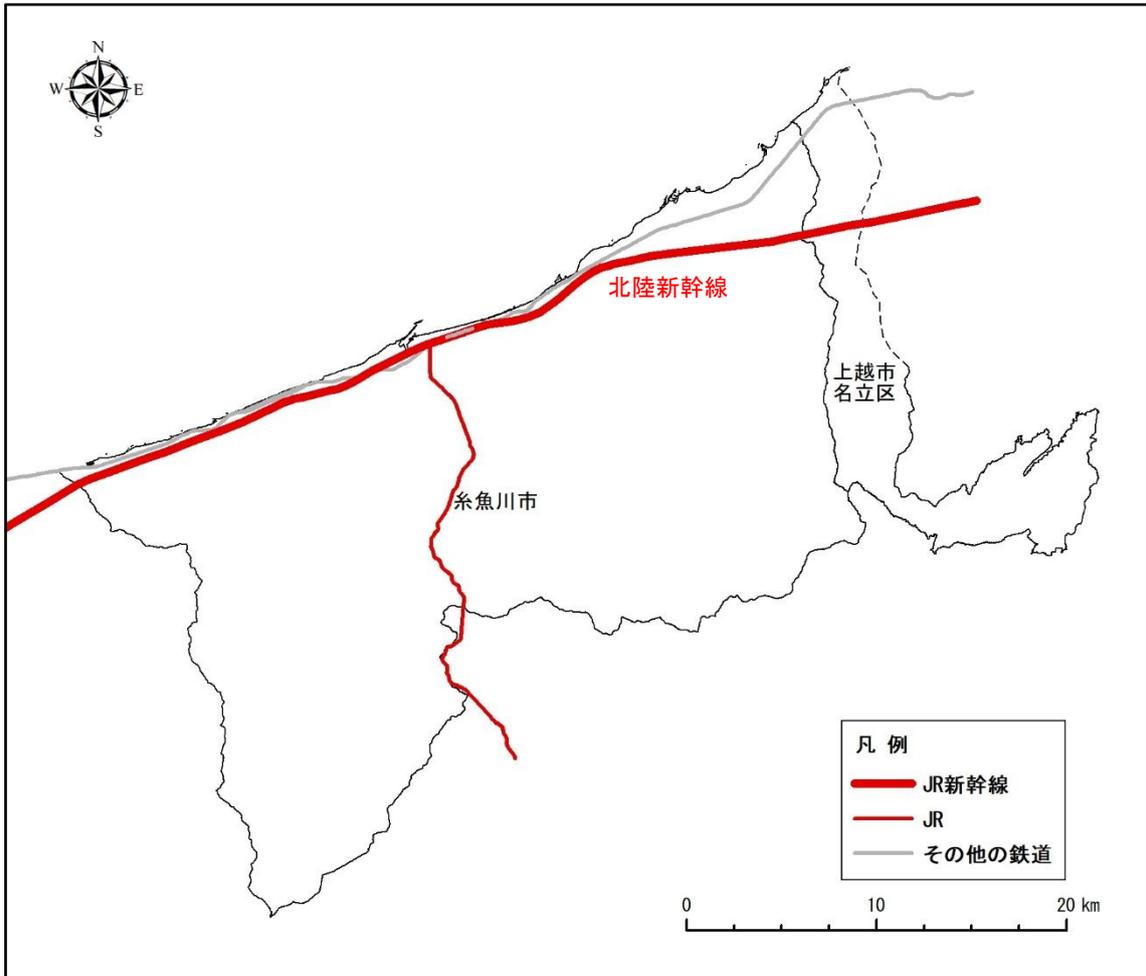
図一 31 年間販売額

(資料：経済センサス - 活動調査 (卸売業, 小売業) 令和3年)



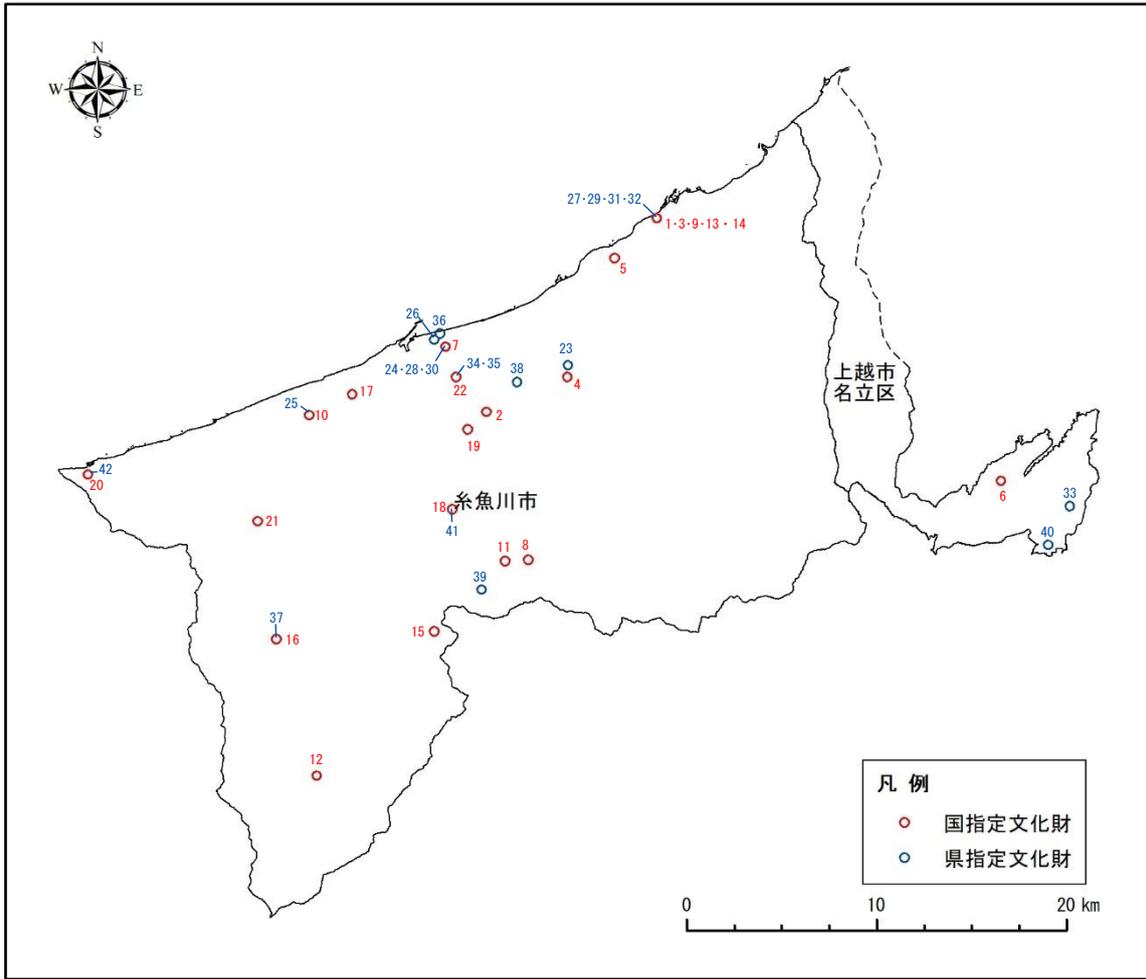
図一 32 幹線道路網図

(資料：国土数値情報 緊急輸送道路 国土交通省国土政策局国土情報課 令和 6 年)



図一 33 公共交通網図

(資料：国土数値情報 鉄道 国土交通省国土政策局 国土情報課 令和 6 年
 国土数値情報 空港 国土交通省国土政策局 国土情報課 平成令和 3 年
 国土数値情報 定期旅客航路 国土交通省国土政策局 国土情報課 平成 24 年)



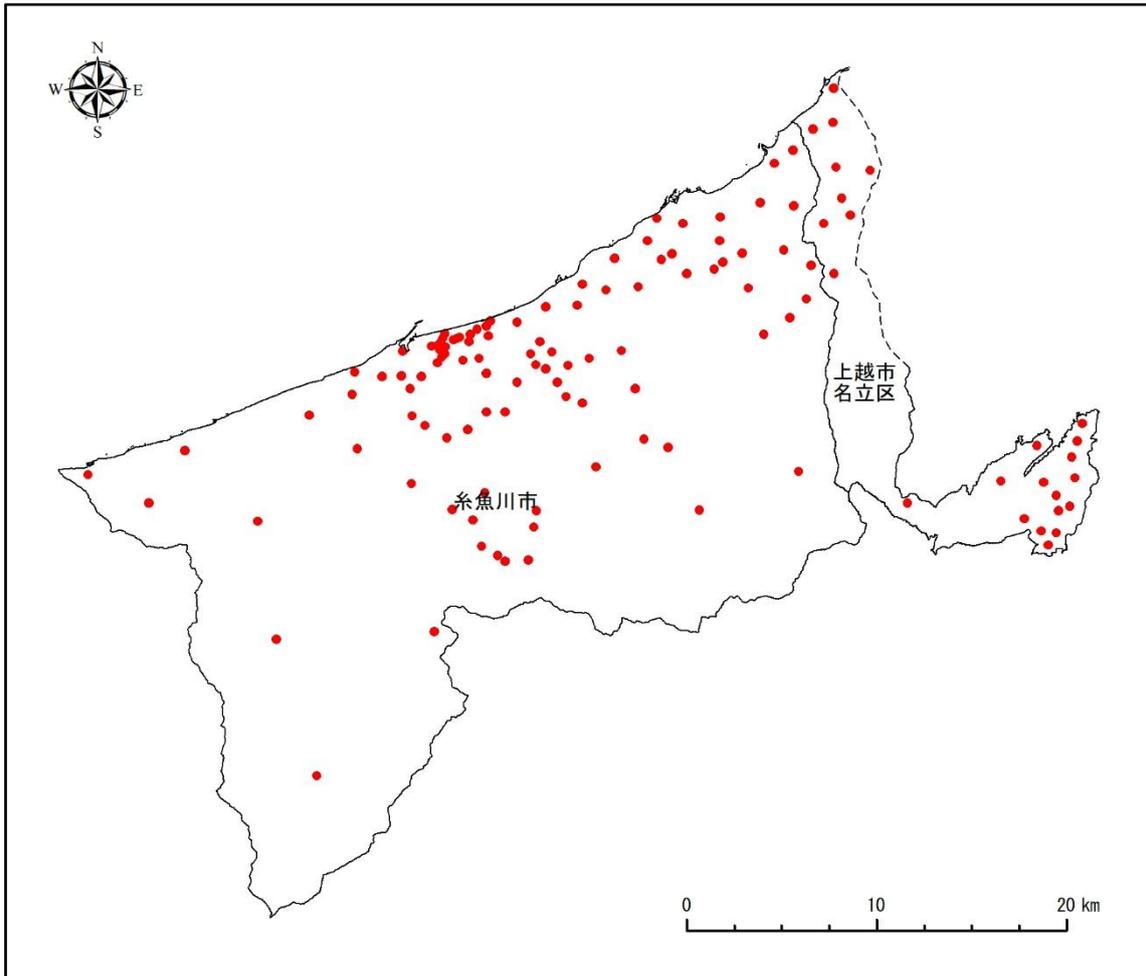
図一 34 指定文化財の分布

(資料：新潟県の文化財一覧 令和7年4月1日現在)

表－ 9 指定文化財一覧

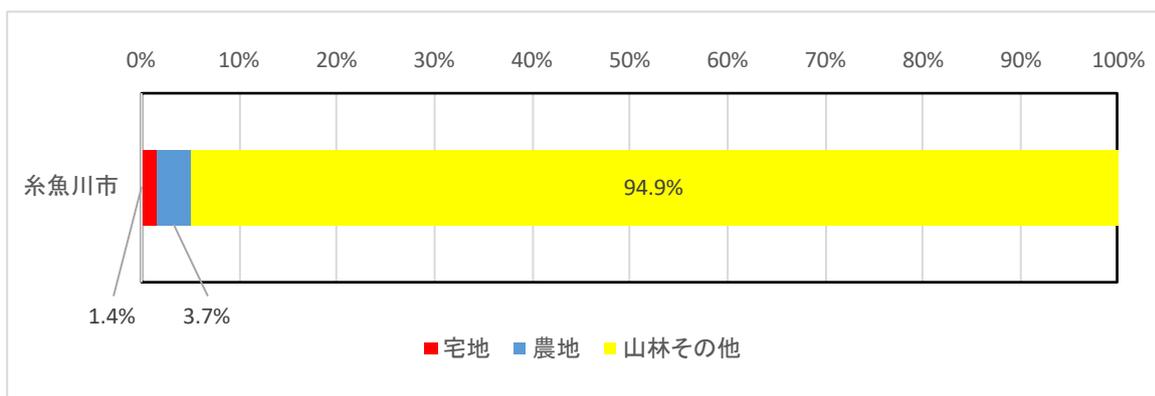
種別	種別	No	名称
国指定文化財	有形文化財	1	木造 聖観音立像
		2	木造 十一面観音立像
		3	白山神社本殿
		4	山口家住宅
		5	伊藤家住宅
	民族文化財	6	どぶね（はなきり）
		7	糸魚川・能生の舞楽
		8	根知山寺の延年
		9	能生白山神社の海上信仰資料
		10	青海の竹のからかい
		11	越後姫川谷のボッカ運搬用具コレクション
		12	糸魚川木地屋の製作用具と製品コレクション
	記念物	13	能生白山神社社叢
		14	能生ヒメハルゼミ発生地
		15	白馬連山高山植物帯
		16	小滝川硬玉産地
		17	寺地遺跡
		18	糸魚川市根知の糸魚川-静岡構造線
		19	松本街道
		20	おくのほそ道の風景地 親しらず
		21	青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊
		22	長者ヶ原遺跡
県指定文化財	有形文化財	23	木造 十一面観音立像 木造 阿弥陀如来坐像
		24	木造 奴奈川姫神像
		25	天神山姫塚経塚出土品
		26	経王寺の梵鐘
		27	梵鐘
		28	舞楽面
		29	舞楽面
		30	木造 女神坐像
		31	木造 泰澄大師坐像
		32	銅造 十一面観音立像
		33	籠峰遺跡出土品
	34	寺地遺跡出土品	
	35	田伏玉作遺跡出土品	
	記念物	36	相馬御風宅
		37	クモマツマキチョウ及びヒメギフチョウ生息地
		38	真光寺の大イチョウ
39		杉之当の大スギとシナノキ	
40		籠峰遺跡	
41	根知城跡		
42	親不知子不知		

（資料：新潟県の文化財一覧 令和7年4月1日現在）



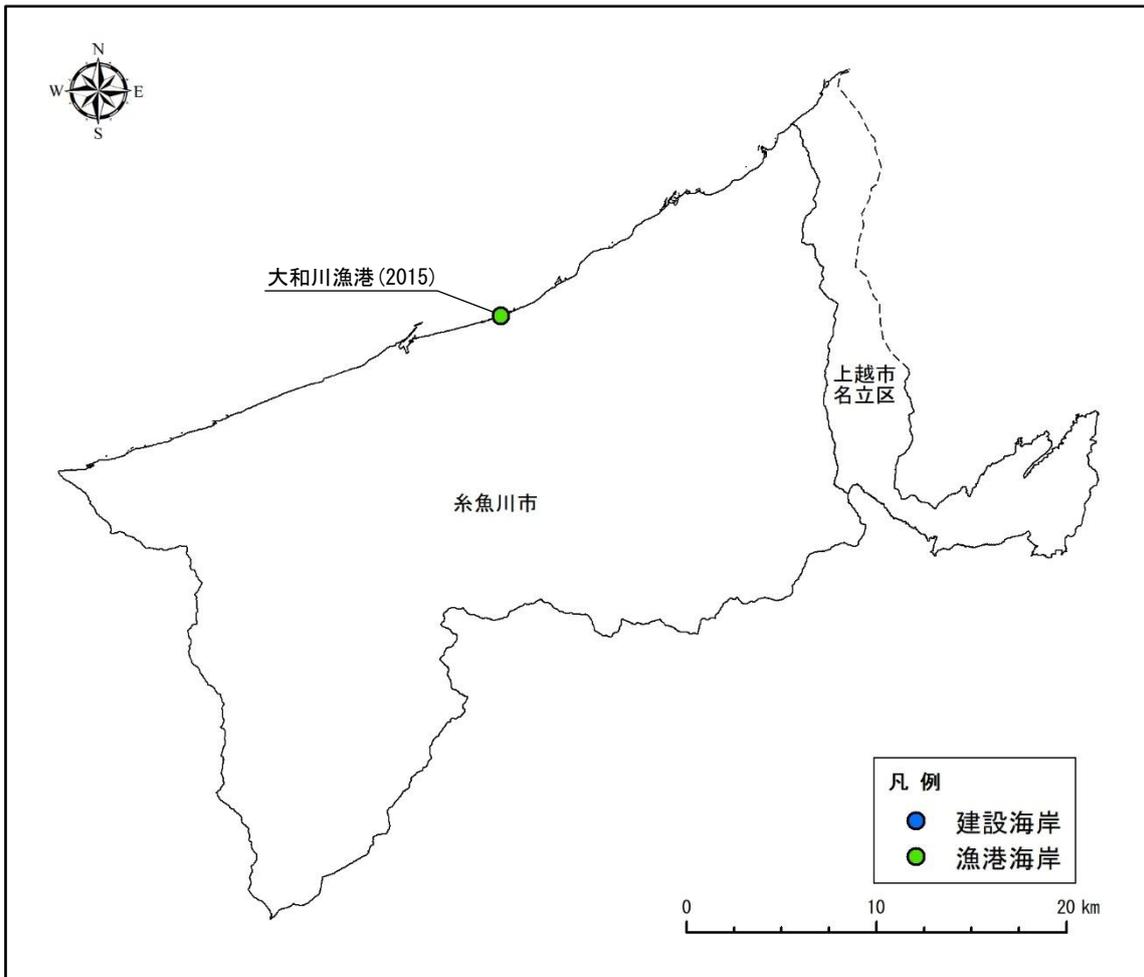
図－ 35 埋蔵文化財の分布

(資料：新潟県 HP 県内遺跡台帳 令和 7 年 2 月)



図－ 36 富山湾沿岸（新潟県エリア）における土地利用の状況

(資料：新潟県 HP 市町村の概要 令和 6 年)



図－ 37 富山湾沿岸（新潟県エリア）における海岸災害

表－ 10 富山湾沿岸（新潟県エリア）における海岸災害

年度	海岸名	市町村名	金額 (千円)	異常気象
H30 S R6	災害復旧事業無し			

(資料：水害統計 平成27年～令和6年)

表－ 11 漁港海岸災害復旧事業費の経年変化

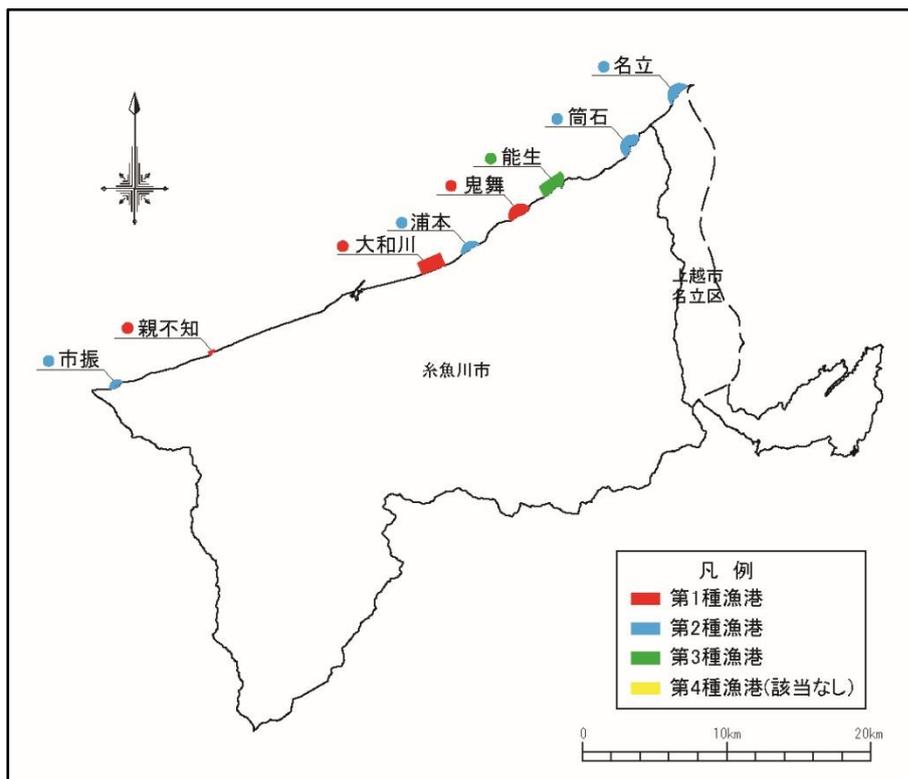
市町村名	漁港名	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	合計
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
糸魚川市	大和川	88,747	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88,747 (1回)

表－12 過去新潟県に被害をもたらした主な地震津波

地震名	発生年月日	波源（震源）		マグニチュード	
	西暦	東経(°)	北緯(°)	地震M	津波m
嘉 祥	850.11/27	139.9	39.0	7.0	2
寛 保 (渡島大島津波)	1741.8/29	139.4	41.6	6.9	3
宝 暦	1762.10/31	138.7	38.1	6.6	1
天 保 (鼠ヶ関地震津波)	1833.12/7	139.15	38.9	7.4	2
新 潟	1964.6/16	139° 11'	38° 21'	7.5	2
日本海中部	1983.5/26	139° 05'	40° 21'	7.7	3
能登半島地震	2024.1/1	137° 16.2'	37° 29.7'	7.6	1.5 (推定値) *

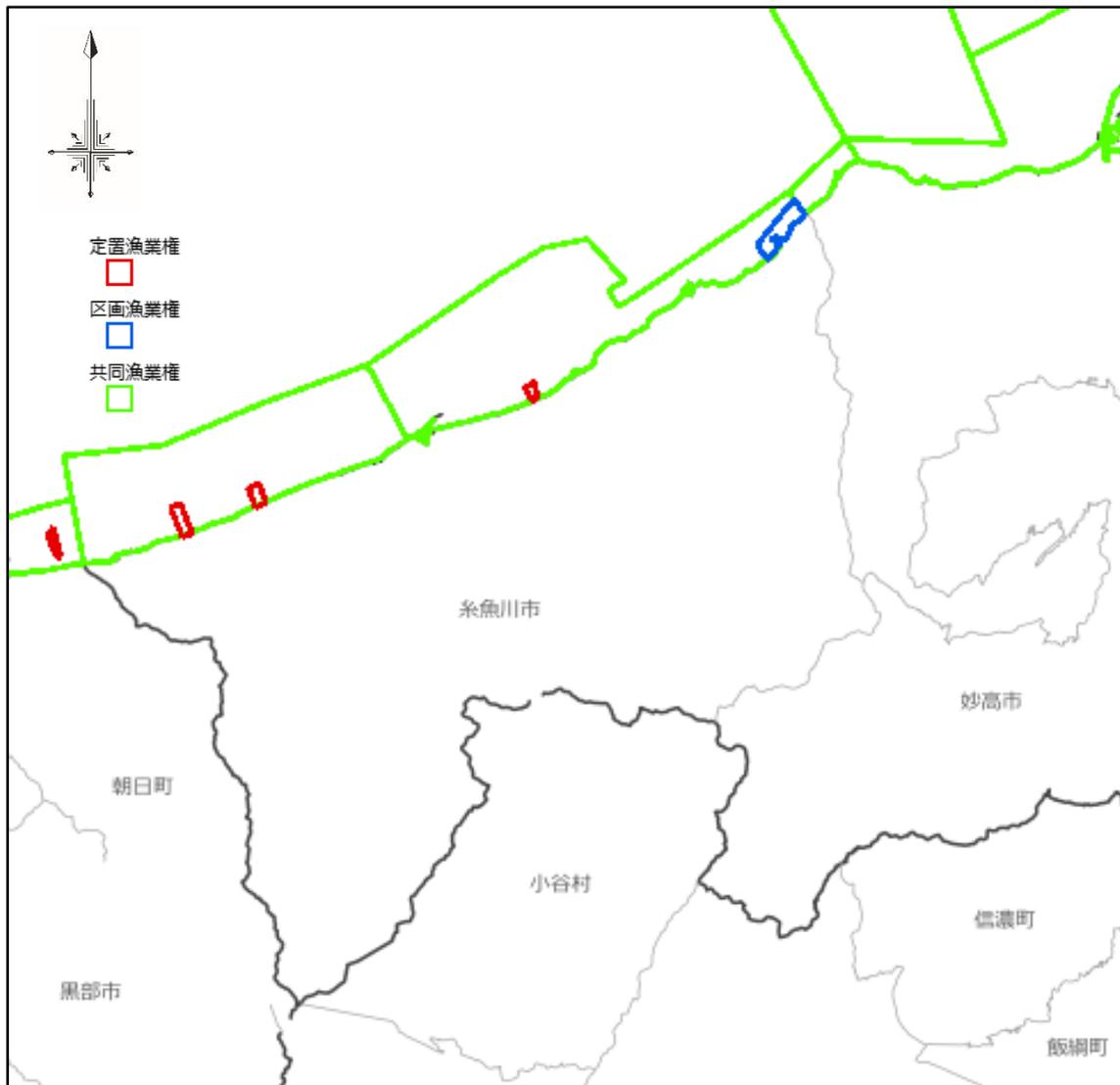
(資料：日本被害津波総覧 1985)

※：Namegaya, Y., Ioki, K., Imai, K., Kusumoto, S., Wang, Y., Horikawa, H., and Murakami, M. (2026). Field surveys of the 2024 Noto Peninsula earthquake tsunami in the areas distant from its source. Coastal Engineering Journal. [https://doi.org/10.1080/21664250.2026.2617045.](https://doi.org/10.1080/21664250.2026.2617045))



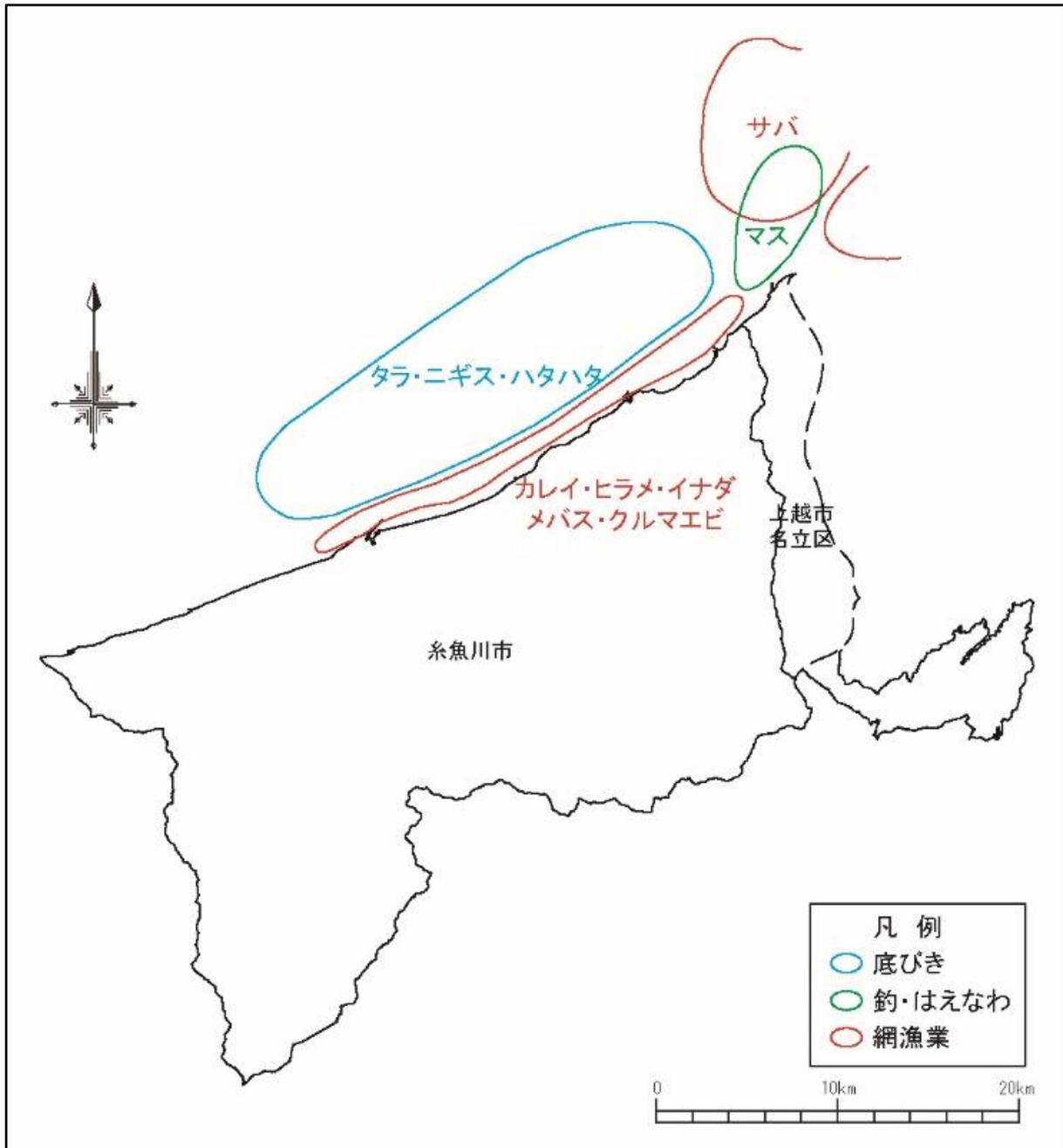
図－38 漁港位置図

(資料：国土数値情報 漁港データ 国土交通省国土政策局国土情報課 平成18年度)



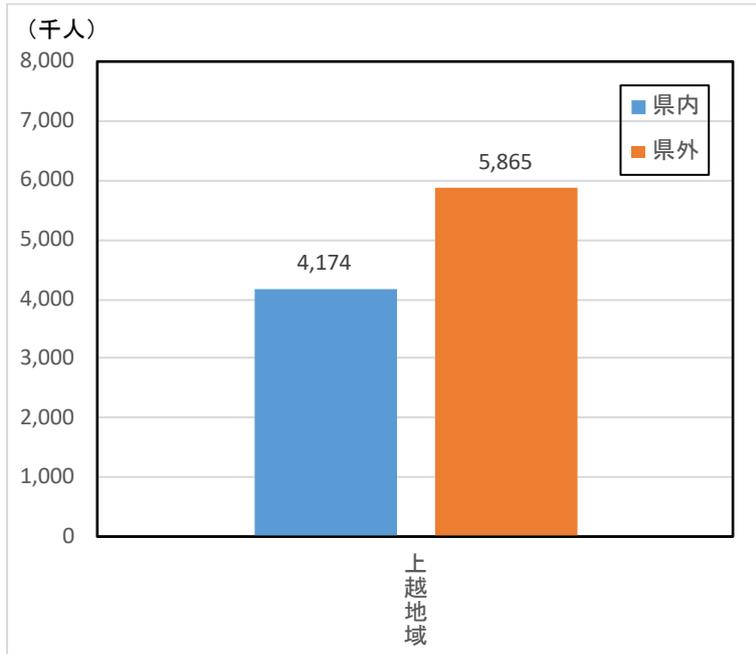
図－39 漁業権の設定状況

(資料：海しる（海洋状況表示システム）)



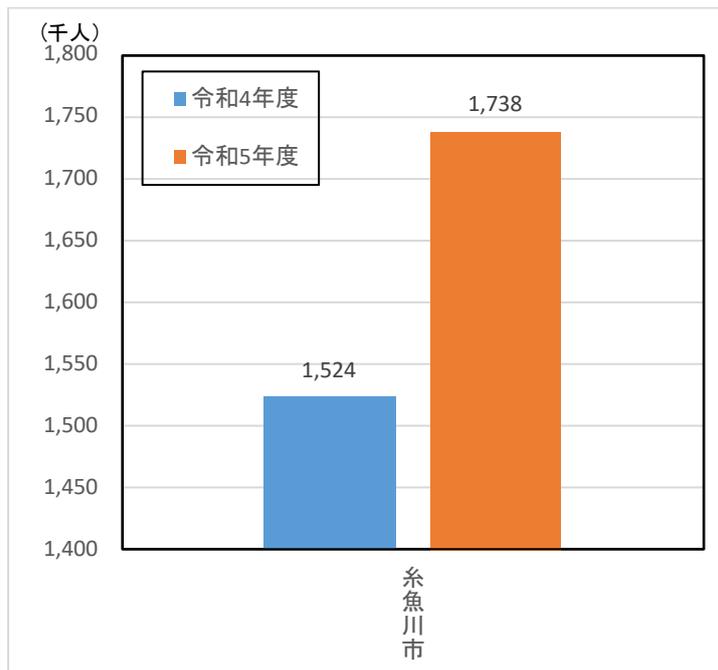
図一 40 富山湾沿岸（新潟県エリア）の漁場

（資料：新潟県沿岸漁場図 平成2年）



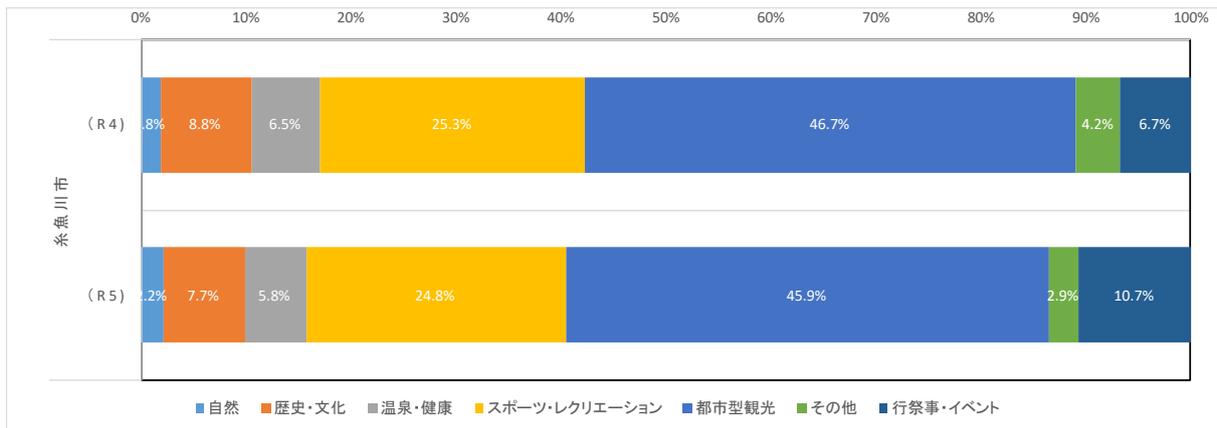
図一 41 出発地(県内・県外)別観光入り込み客数

(資料：令和5年 新潟県観光入込客統計)



図一 42 観光入り込み客数の推移

(資料：令和5年 新潟県観光入込客統計)



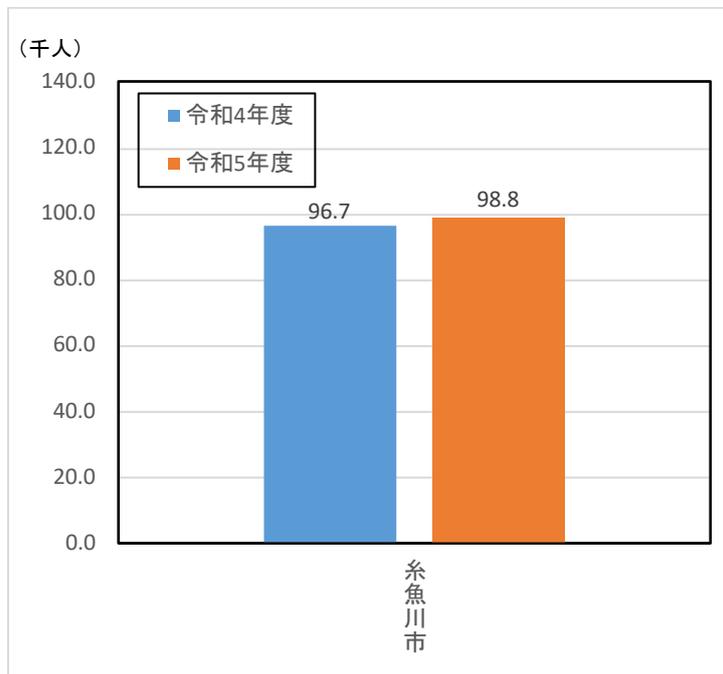
図－ 43 観光入り込み客数の目的別構成比

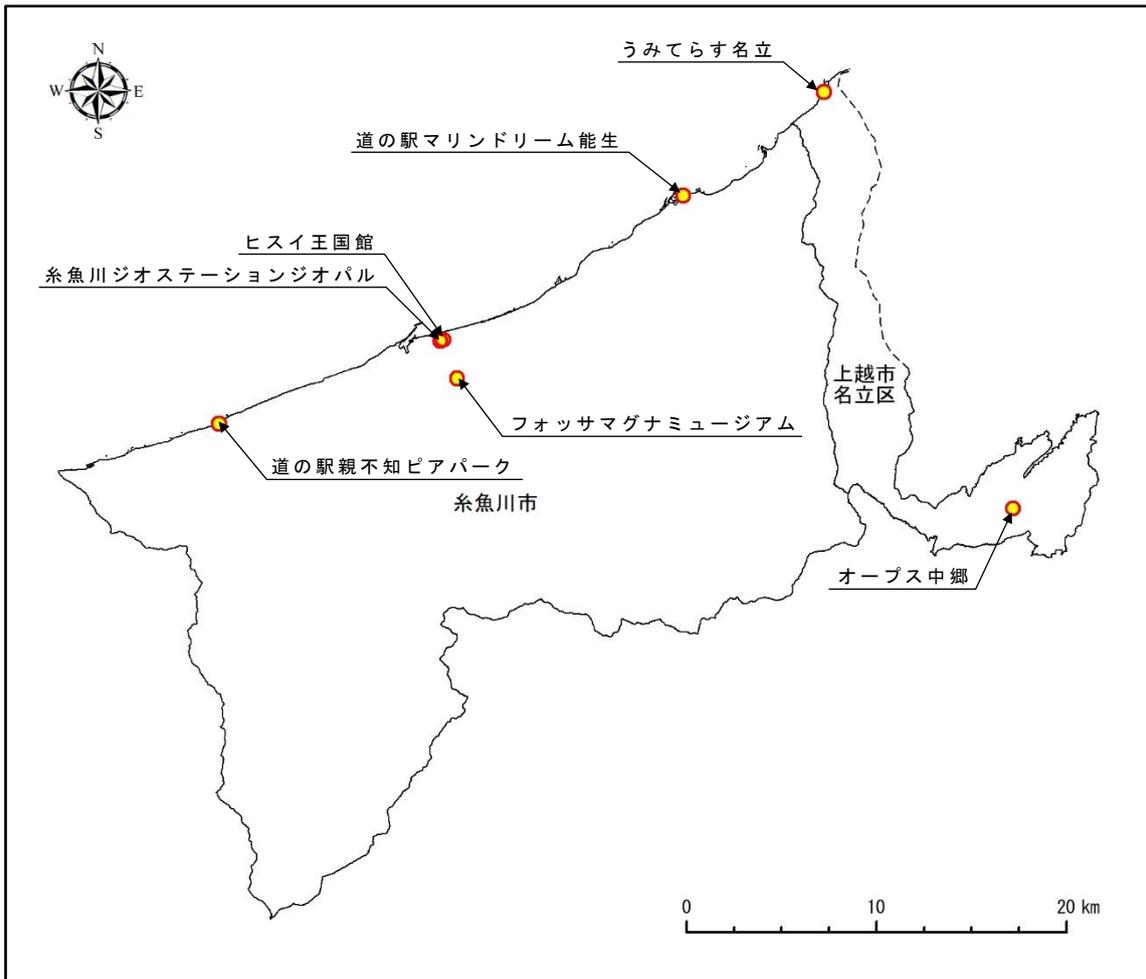
(資料：令和 5 年 新潟県観光入込客統計)

表－ 13 市町村別海水浴客入り込み状況

(資料：令和 5 年 新潟県観光入込客統計)

地域	市町村	令和4年度 (千人)			令和5年度 (千人)			対前年度比		
		総数	県内	県外	総数	県内	県外	総数	県内	県外
富山湾沿岸	糸魚川市	96.7	13.9	82.8	98.8	14.4	84.4	102.2%	103.8%	101.9%





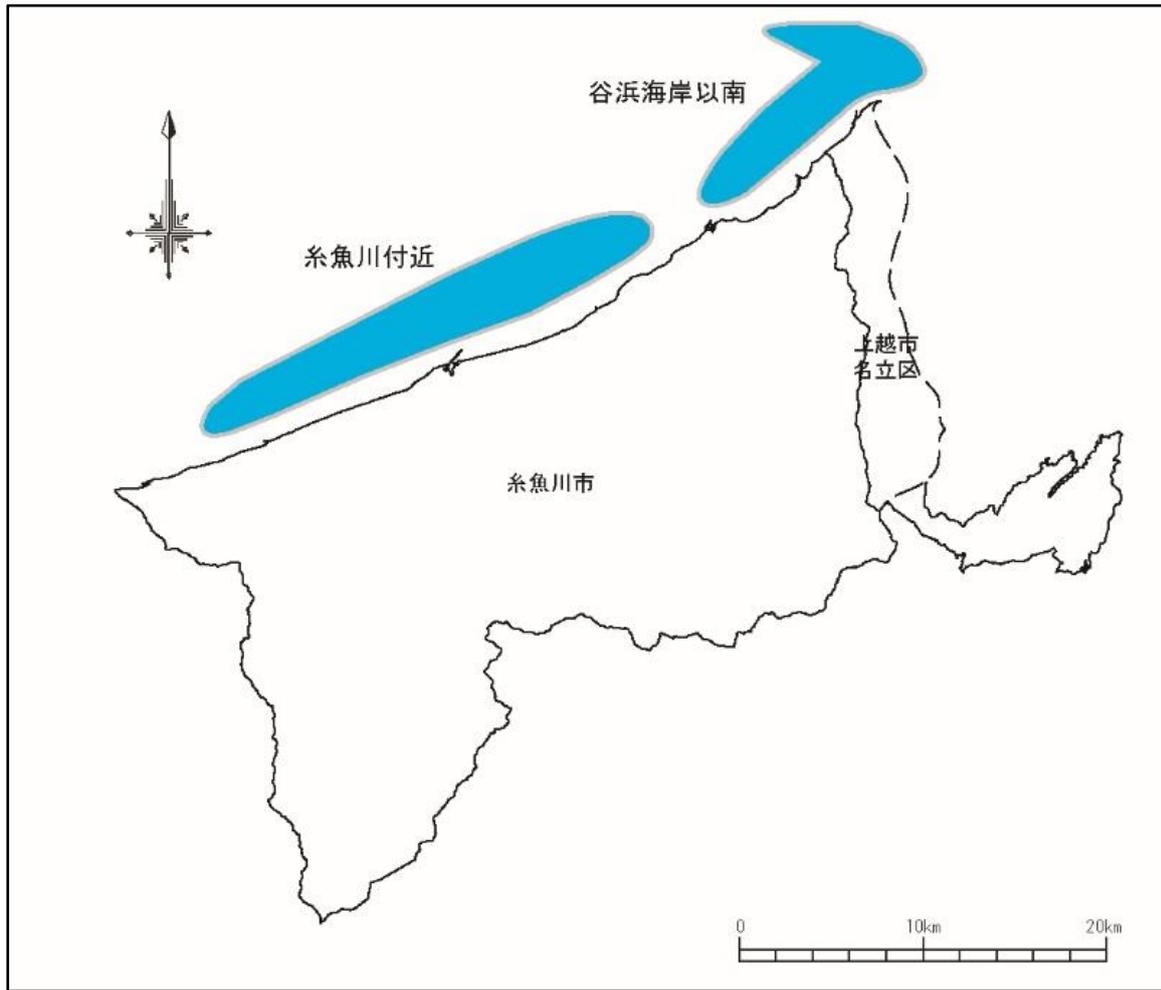
図－ 44 主な観光資源の分布

(資料：令和 5 年 新潟県観光入込客統計)

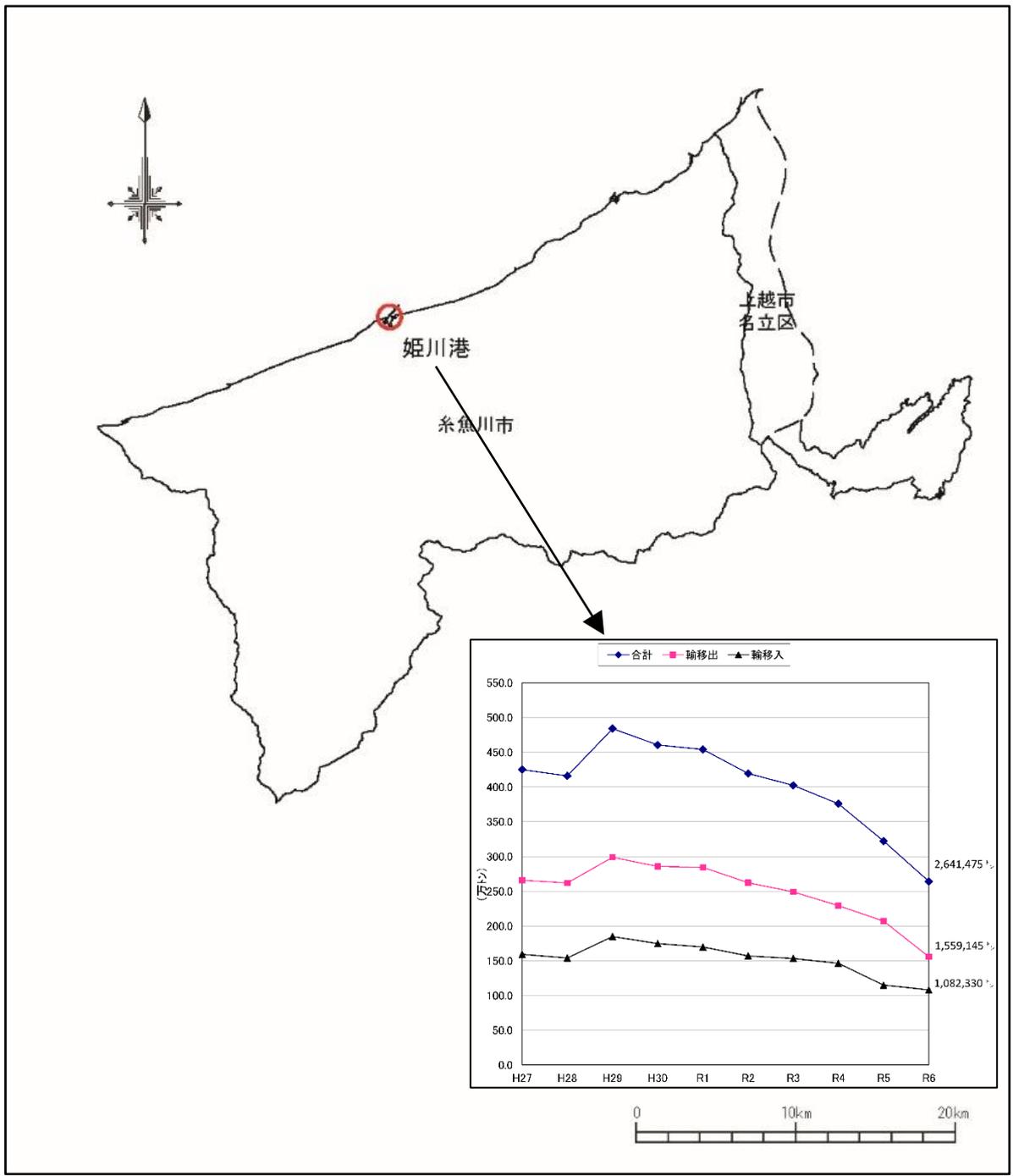
表－14 主な祭・イベント

市町村名	開催月	沿岸域を利用した祭・行事	開催月	沿岸外を利用した祭・行事
上越市	7月	糸魚川・上越・妙高 SEA TO SUMMIT	8月	不動地区ふるさと夏祭り・向山花火大会
	8月	ふるさと名立・夏まつり		
糸魚川市	8月	能生ふるさと海上花火大会	1月	能生白山神社 お筒粥の神事・献灯祭
			1月	青海の竹のからかい
			1月	はだか胴上げまつり
			3月	第24回糸魚川荒波あんこう祭り
			3月	日本海大漁浜汁まつり
			3月～4月	おうみ観桜会
			4月	天津神社春大祭（糸魚川けんか祭り）
			4月	能生白山神社春季大祭
			4月～5月	藤まつり
			5月	クラシックカーミーティング
			5月	翠風展
			5月	つちのご探検隊
			7月	早川大花火大会
			8月	糸魚川おまんた祭り
			9月	日本海クラシックカーレビュー
			10月	豊漁大感謝祭
		11月	糸魚川クラシックスポーツカーフェスタ	
		12月～3月	糸魚川荒波あんこうフェア	

（資料：にいがた観光ナビ 新潟県観光協会 HP 令和7年）

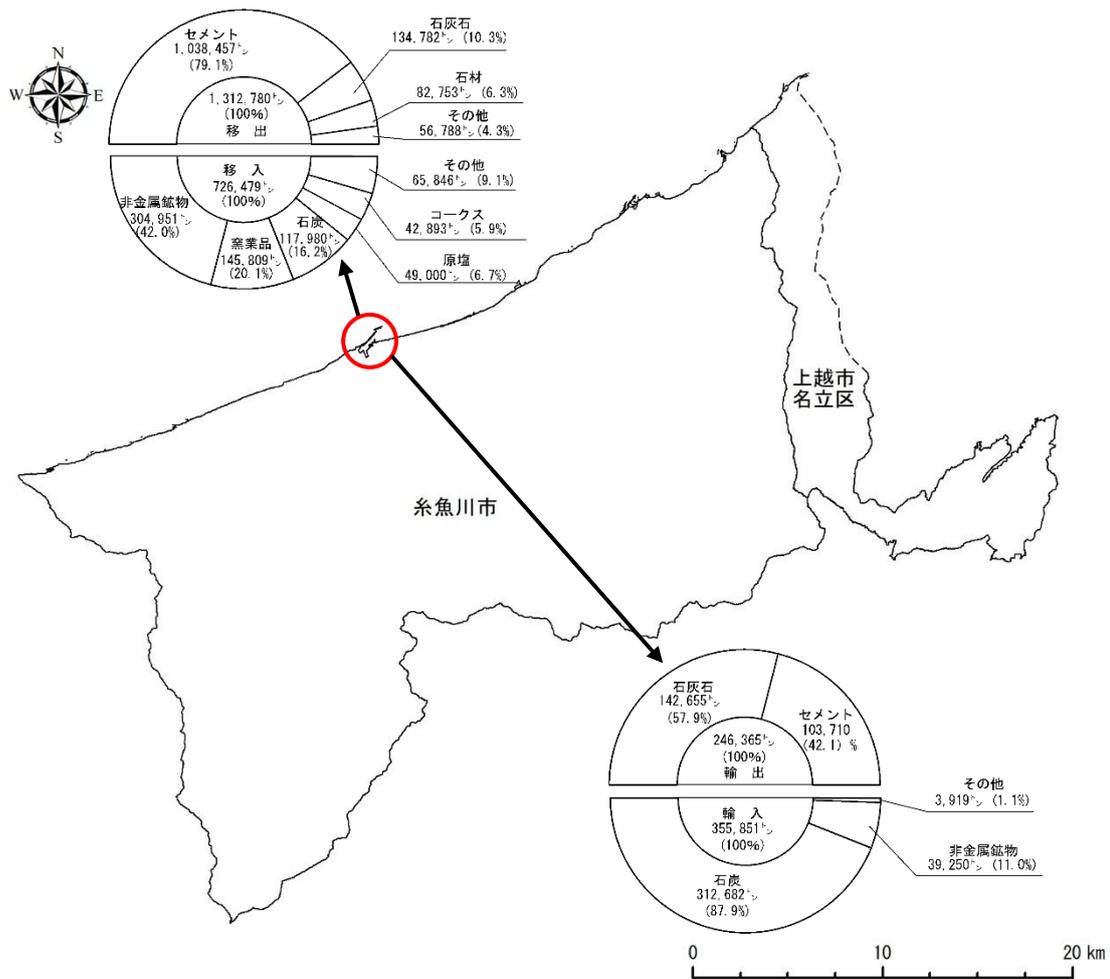


図－ 45 釣り場の分布
 (資料：新潟の海釣り 1988、新潟空からの海釣り 1984)



図一 46 各港湾の海上出入貨物量の推移

(資料：令和 6 年 港のすがた 新潟県港湾整備課)



図一 47 姫川港の品目別取扱貨物量

(資料：令和6年 港のすがた 新潟県港湾整備課)

表－ 15 沿岸域に係る法律とその概要一覧—環境保全関係

法律名	概要
環境基本法	環境保全の基本理念および環境保全に関する施策の基本事項を定める。
鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	貴重な鳥獣の保護のために、鳥獣保護区、特別保護区・銃猟禁止区域等を定める。
自然公園法	優れた自然の風景地を国民の保養、休養および強化に資するために、公園事業、国立公園、特別地域を定める。
自然環境保全体法	自然環境の保全の基本理念その他自然環境の保全に関する基本事項を定める。
都市緑地法	都市部における緑地の保全の基本理念および保全に関する基本事項を定める。
自然環境保全基本方針	自然環境の保全の基本理念その他自然環境の保全に関する基本方針を定める。
森林法	国土保全と国民経済の発展に資するために、森林の補植培養と生産力の増強にとって必要な森林、保安林等に関する基本的事項を定める。

表－ 16 沿岸域に係る法律とその概要一覧—国土保全関係

法律名	概要
海岸法	防護・環境・利用と調和のとれた総合的な海岸管理を図るために、保全区域および一般公共海岸区域の指定、海岸管理者、区域の占用、行為の制限、工事の施工等について定める。
津波防災地域づくりに関する法律	「多重防護」による「津波防災地域づくり」を推進し、津波浸水想定公表や、避難体制を整備する「警戒区域」、開発行為、建築等の制限を伴う「特別警戒区域」の指定等について定める。
災害対策基本法	防災に関し、基本理念を定め、防災計画の作成、災害予防、災害応急対策、災害復旧及び防災に関する財政金融措置その他必要な災害対策の基本を定める。
河川法	河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持するために、一級・二級河川、区域、管理者、工事、占用等を定める。
水防法	洪水または高潮に際し、公共の安全を保持するために、水防責任、洪水予報、警報等を定める。
水質汚濁防止法	国民の健康の保護のために、工場および事業場から公共用水域に排出する油および廃棄物を規制し、その処理を定める。
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	海洋汚染および海上災害の防止のために、船舶および海洋施設から海洋に排出する油および廃棄物を規制し、その処理を定める。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	生活環境の保全および公衆衛生の向上を図るために、廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔に保つことを定める。

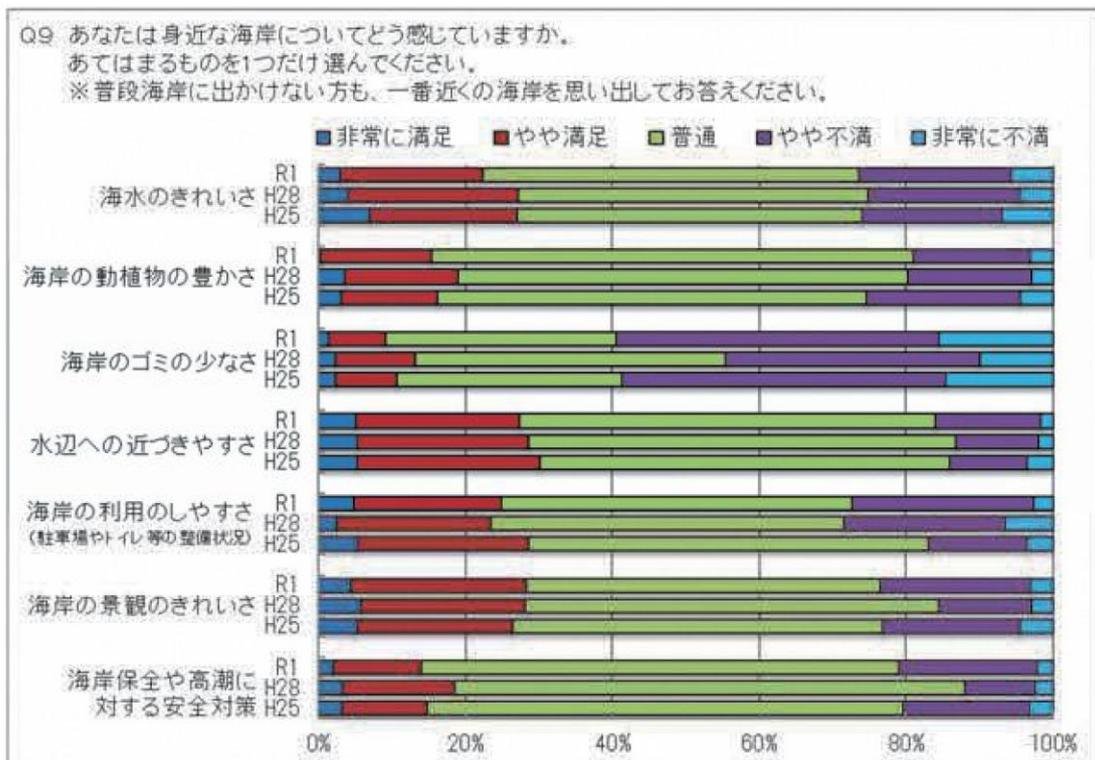
表－ 17 沿岸域に係る法律とその概要一覧―利用関係

法律名	概要
海洋基本法	海洋の平和的かつ積極的な開発及び利用と海洋環境の保全との調和を図る新たな海洋立国を実現することが重要であることにかんがみ、海洋に関する基本的な計画の策定その他海洋に関する施策の基本となる事項を定める。
港湾法	港湾の秩序ある整備と適正な運営のために開発の基本方針、港湾計画、港湾局、工事の許可、届出等を定める。
海上交通安全法	船舶交通が輻輳する海域について、交通方法の指定、海難発生時の措置を定める。
海上衝突予防法	航洋船の航行できる海洋および接続する水域について、燈火、霧中航法、航法進路信号等を定める。
漁業法	漁業生産に関する基本的制度として、漁業権制度等を定め、漁業調整機能の運用によって、水面を総合的に利用し、漁業生産力の発展と漁業の民主化を図る。
水産資源保護法	水産資源の保護培養を図り、漁業の発展に寄与するため、採集制限、漁法の制限、保護水面、工事の制限等を定める。
海洋水産資源開発促進法	沿岸水産資源の増殖等を図るため、開発区域および指定水域における海底の掘削や掘削工作物の届出等の措置を定める。
水産基本法	水産に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展を図る。
沿岸漁場整備開発法	沿岸漁場の整備および開発を図るための措置を講じる。
漁港及び漁場の整備等に関する法律	漁港漁場整備事業を総合的かつ計画的に推進し、国民生活の安定及び国民経済の発展に寄与し、豊かで住みよい漁村の振興に資することを目的とする。
砂利採取法	砂利採取業について、採取計画の認可、計画に記載する事項、認可の基準、緊急措置命令、指導等を定める。
公有水面埋立法	河、海、湖、沼等の公有水面の埋立に関する免許、出願書類に関する縦覧、意見の聴取、公示、権利者、保証等を定める。
国土利用計画法	国土の適正かつ有効な利用のために、土地利用の整備を強化し、監視区域等の指定等を可能とした。
都市計画法	多くの利用が輻輳する都市の市街地を、用途別に区域を指定して利用可能な範囲を定める。
総合保養地域整備法	自然環境に恵まれ、利用適性の高い地域を特別に指定して休養および観光レクリエーション用に開発するために制定された。

表－18 新潟県沿岸域における海岸に関する諸計画一覧

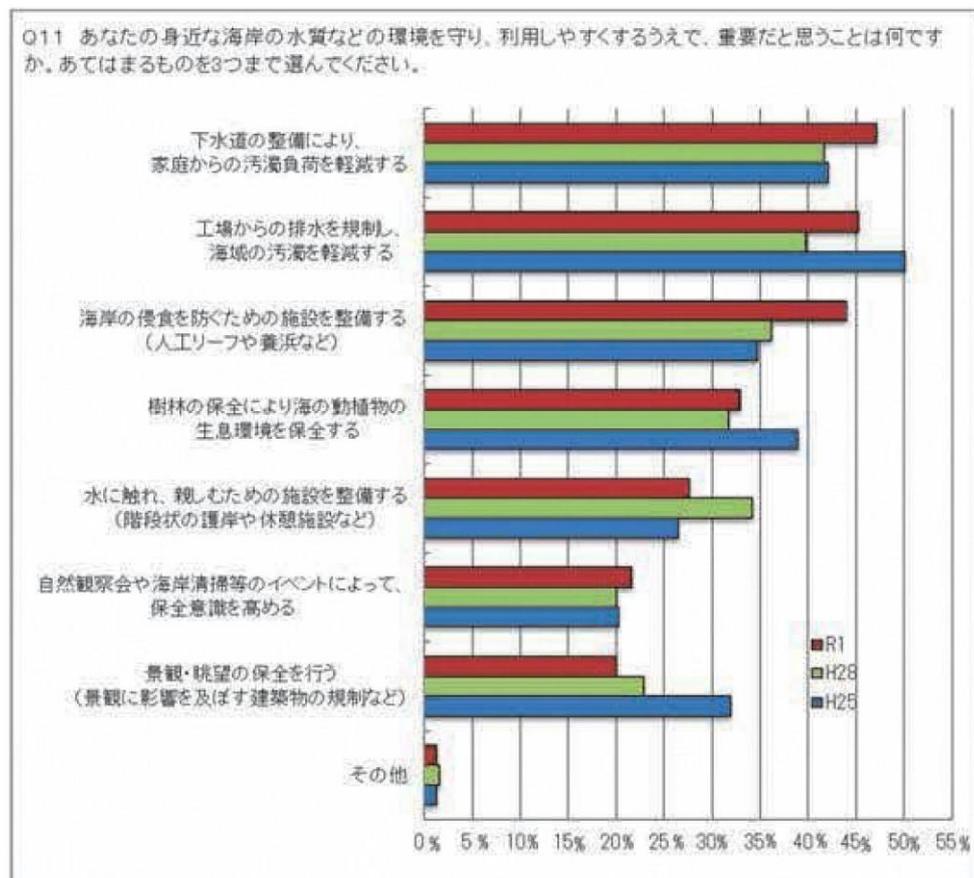
沿岸区分	海岸に関する諸計画等の名称	計画策定主体 事業主体	計画範囲
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(神林海岸)	県	村上市塩谷地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(碓石海岸)	県	村上市碓石地内
新潟北	環屋漁港環境整備事業	県	村上市環屋地内
新潟北	岩船港海岸環境整備事業	県	村上市瀬波温泉地内
新潟北	保安林総合改良事業	県	村上市瀬波ほか地内
新潟北	第2次胎内市総合計画後期基本計画	胎内市	胎内市全域
新潟北	第2次胎内市環境基本計画	胎内市	胎内市全域
新潟北	桃崎浜地区自然豊かな海と森の整備対策事業(白砂青松の創出)	県	胎内市桃崎浜地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	胎内市荒井浜地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	胎内市中村浜地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	胎内市村松浜ほか地内
新潟北	紫雲寺記念公園整備事業(健康海岸)	県	新発田市藤塚浜地内
新潟北	保育事業	県	新発田市藤塚浜地内
新潟北	聖籠町海浜総合整備事業(ふるさとづくり海岸)	県	聖籠町次第浜地内
新潟北	保育事業	県	聖籠町次第浜ほか地内
新潟北	保安林総合改良事業	県	新潟市北区松浜地内
新潟北	保育事業	県	新潟市北区島見町ほか地内
新潟北	保安林総合改良事業	県	新潟市西区四ツ郷屋地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	新潟市西区四ツ郷屋地内
新潟北	保育事業	県	新潟市西区内野上新町ほか地内
新潟北	金衛町海岸環境整備事業	県	新潟市中央区関屋地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(金衛町海岸)	県	新潟市中央区関屋地内
新潟北	金衛町海岸ふるさとづくり海岸事業	県	新潟市中央区関屋地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(関屋海岸)	県	新潟市中央区関屋地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(越前・角田海岸)	県	新潟市西蒲区角田浜～越前浜地内
新潟北	間瀬漁港漁港環境整備事業	県	新潟市西蒲区間瀬地内
新潟北	間瀬海岸環境整備事業	県	新潟市西蒲区間瀬地内
新潟北	一般国道402号獅子ヶ鼻大橋	新潟市	新潟市西蒲区間瀬地内
新潟北	新潟市みどりの基本計画	新潟市	新潟市内全域
新潟北	保安林総合改良事業	県	長岡市寺泊白岩地内
新潟北	保育事業	県	長岡市寺泊野積ほか地内
新潟北	寺泊港海岸環境整備事業	県	長岡市寺泊磯町地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	長岡市寺泊野積地内
新潟北	郷土海岸環境整備事業	県	長岡市寺泊郷本地内
新潟北	和島村オートキャンプ場周辺海岸環境整備事業(山田海岸ふるさとづくり海岸)	県	長岡市寺泊山田地内
新潟北	大和田海岸環境整備事業	県	長岡市寺泊大和田地内
新潟北	出雲崎漁港海岸環境整備事業	県	出雲崎町羽黒町地内
新潟北	社会資本整備総合交付金事業(寺泊パイパス)	県	長岡市寺泊地内
新潟北	出雲崎漁港海岸環境整備事業	県	出雲崎町尼瀬地内
新潟北	臨海自然学習村周辺海岸環境整備事業(久田海岸ふるさとづくり海岸)	県	出雲崎町久田地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(石地海岸)	県	柏崎市西山町石地地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	柏崎市松波地内
新潟北	保育事業	県	柏崎市荒浜ほか地内
新潟北	自然豊かな海と森の整備対策事業(白砂青松の創出) 荒浜地区推進計画	県	柏崎市東港町～荒浜
新潟北	港湾海岸環境整備事業(西港町)	県	柏崎市西港町地内
新潟北	海岸環境整備事業(宮川海岸)	県	柏崎市宮川地内
新潟北	港湾海岸環境整備事業(番神)	県	柏崎市番神～東の輪地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(宮川海岸)	県	柏崎市宮川地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(鮪波海岸)	県	柏崎市鮪波地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(柿崎海岸)	県	上越市柿崎区柿崎地内
新潟北	保育事業	県	上越市柿崎区上下浜ほか地内
新潟北	ふれあいのなぎさ整備事業(谷浜海岸)	県	上越市長浜地内
新潟北	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	上越市大潟区湯町ほか地内
新潟北	直江津港海岸環境整備事業	県	上越市中央4丁目地内
新潟北	郷土海岸いきいき・海の子・浜づくり	県・上越市	上越市虫生岩戸～五智地内
新潟北・富山	上越市第7次総合計画(2023-2030)	上越市	上越市全域
新潟北・富山	上越市都市計画マスタープラン	上越市	上越市全域
新潟北・富山	上越市第4次環境基本計画・上越市第2次地球温暖化対策実行計画(2023-2030)	上越市	上越市全域
富山	名立漁港海岸環境整備事業	県	上越市名立区名立小泊地内
富山	名立西の臨海浜公園造成事業(ふるさとづくり海岸)	県	上越市名立区名立大町地内
富山	筒石漁港環境整備事業	県	糸魚川市筒石地内
富山	藤崎海岸環境整備事業	県	糸魚川市藤崎地内
富山	能生漁港環境整備事業	県	糸魚川市能生小泊地内
富山	姫川港海岸環境整備事業	県	糸魚川市田海～須沢地内
富山	ふれあいのなぎさ整備事業(青海海岸)	県	糸魚川市青海地内
富山	姫川港海岸浸食対策事業(ふるさと海岸整備事業)	県	糸魚川市青海～寺地地内
富山	親不知サンセットマリナービーチ造成事業(ふるさとづくり海岸)	県	糸魚川市外波地内
佐渡	社会資本整備総合交付金事業(見立2工区)	県	佐渡市見立～北小浦地内
佐渡	社会資本整備総合交付金事業(岩首工区)	県	佐渡市岩首～松ヶ崎地内
佐渡	素浜海岸環境整備事業	県	佐渡市小比叡地内
佐渡	真野長石海岸環境整備事業	県	佐渡市長石地内
佐渡	窪田海岸環境整備事業	県	佐渡市窪田地内
佐渡	ふれあいのなぎさ整備事業(水津海岸)	県	佐渡市水津地内
佐渡	水津漁港環境整備事業	県	佐渡市水津～片野尾地内
佐渡	水津海岸ふるさとづくり海岸事業	県	佐渡市水津～片野尾地内
佐渡	小木漁港環境整備事業	県	佐渡市小木町地内
佐渡	小木漁港海岸環境整備事業	県	佐渡市小木町地内
佐渡	小木港海岸環境整備事業	県	佐渡市小木町地内
佐渡	亀脇漁港漁村整備	佐渡市	佐渡市羽茂亀脇地内
佐渡	下水道整備事業(亀脇漁港)	佐渡市	佐渡市羽茂亀脇地内
佐渡	前浜素浜海岸環境整備事業	県	佐渡市羽茂亀脇地内
佐渡	ふれあいのなぎさ整備事業(羽茂素浜海岸)	県	佐渡市羽茂亀脇地内
佐渡	羽茂漁港海岸保全事業	佐渡市	佐渡市羽茂大橋地内
佐渡	下水道整備事業(亀脇漁港)	佐渡市	佐渡市羽茂亀脇地内
佐渡	羽茂漁港改修事業	佐渡市	佐渡市羽茂三瀬地内
佐渡	防災林造成(海岸防災林造成)事業	県	佐渡市八幡地内
佐渡	真野漁港地域水産物供給基盤整備事業	佐渡市	佐渡市豊田地内
佐渡	真野漁港環境整備事業	佐渡市	佐渡市豊田地内
佐渡	南津港海岸浸食対策事業(ふるさと海岸整備事業)	県	佐渡市住吉地内
佐渡	南津港海岸環境整備事業	県	佐渡市梅津地内
佐渡	姫津港環境整備事業	県	佐渡市姫津～達者地内
佐渡	大立漁港地域水産物供給基盤整備事業	佐渡市	佐渡市大倉谷地内
佐渡	多田漁港環境整備事業	佐渡市	佐渡市多田地内
佐渡	粟島漁港環境整備事業	県	粟島浦村内浦地内

(資料：新潟県)



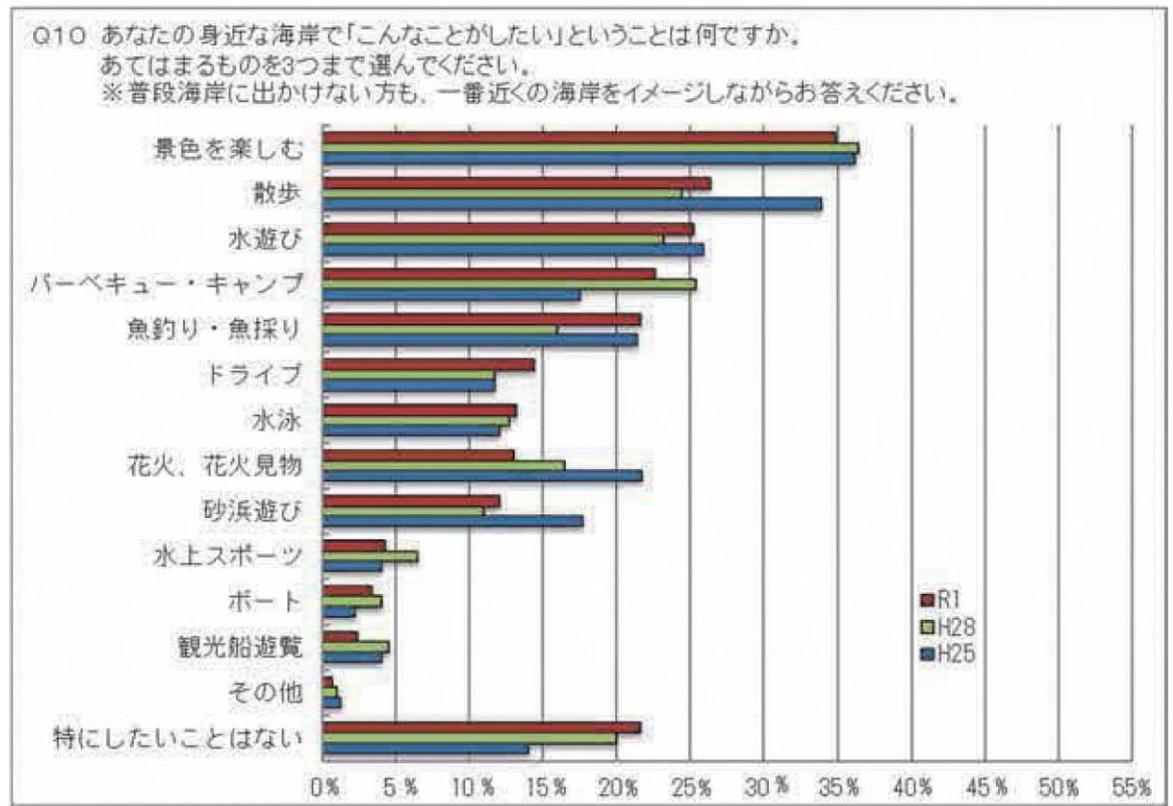
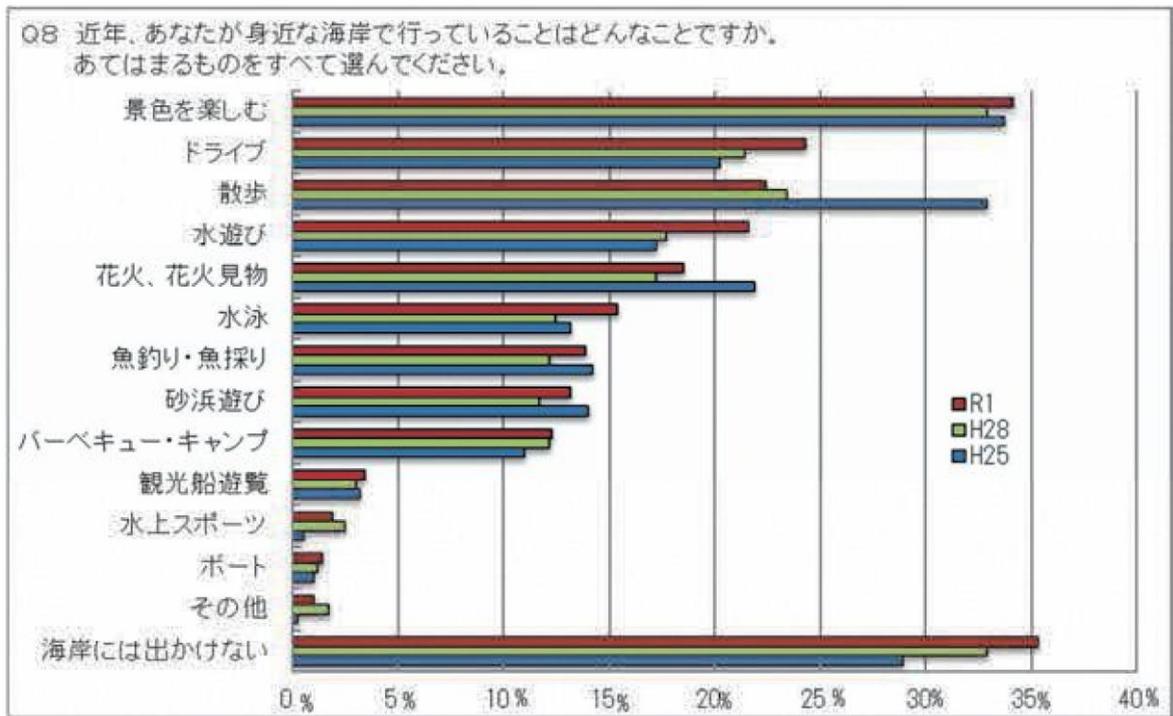
図－48 海岸に対する満足度

(資料：新潟県水環境保全基本方針 令和3年3月 新潟県)



図－49 海岸の環境保全上重要なこと

(資料：新潟県水環境保全基本方針 令和3年3月 新潟県)



図－50 現在海岸で行っていること、将来海岸でやりたいこと

(資料：新潟県水環境保全基本方針 令和3年3月 新潟県)

表 - 19 防護水準一覧

ゾーン 区分	区域番号	区域	防護水準 (T. P. m)	
			高潮・波浪	津波
糸魚川 ゾーン	1	名立海岸 (名立小泊地区)	7.5	2.5
	2	名立漁港海岸	9.0	2.5
	3	能生海岸 (名立大町地区)	5.1	2.5
	4	能生海岸 (徳合地区)	5.2	2.5
	5	筒石漁港海岸	5.2	2.5
	6	能生海岸 (筒石・藤崎・百川・小泊地区)	8.6	2.5
	7	能生漁港海岸	7.2	2.5
	8	能生海岸 (木ノ浦・能生地区)	6.5	2.5
	9	鬼舞漁港海岸	6.3	2.5
	10	糸魚川・能生海岸 (間脇・鬼伏地区)	8.9	2.5
	11	浦本漁港海岸	7.2	2.5
	12	糸魚川海岸 (中宿・間脇地区)	10.2	2.5
	13	大和川漁港海岸	10.0	2.5
	14	糸魚川海岸 (寺島・横町・大町・寺町・押上・竹ヶ花地区)	11.3	2.5
	15	姫川港海岸 (寺島海岸)	6.7	2.5
	16	姫川港海岸 (田海・須沢地区)	11.4	2.5
	17	姫川港海岸 (青海・寺地地区)	8.7	2.5
	18	青海海岸 (青海地区)	11.0	2.5
	19	親不知漁港海岸	8.3	2.5
	20	青海海岸 (親不知地区)	12.0	2.5
	21	市振漁港海岸	10.4	2.5
	22	青海海岸 (玉ノ木地区)	9.6	2.5